

2026

ヘルスケア栄養学科

シラバス

NA0001日本国憲法
NA0004心理学
NA0009健康と運動（理論と実技）A
NA0010健康と運動（理論と実技）B
NA0016コンピュータ基礎演習A
NA0017コンピュータ基礎演習B
NA0021キャリアデザイン（基礎）
NA0022キャリアデザイン（応用）
NA0023ボランティア社会学（実習を含む）
NA0024総合英語A（酒井）
NA0024総合英語A（大山）
NA0024総合英語A（大塚）
NA0025総合英語B（酒井）
NA0025総合英語B（大山）
NA0025総合英語B（大塚）
NA0029_現代社会の課題A
NA0030_現代社会の課題B
NA0032ICT概論
NA0033Q こどもとプログラミング
NA0035生命科学概論
NB0001化学
NB0002生物学
NB0003基礎の科学
NC0001公衆衛生学
NC0002社会福祉概論
NC0003健康科学概論
NC0004解剖学
NC0005栄養生理学(含運動生理学)
NC0007生化学
NC0009解剖生理学実験
NC0010生化学実験
NC0011食品学総論
NC0012食品学各論
NC0014食品衛生学
NC0015食品学実験
NC0016食品衛生学実験
NC0017基礎栄養学Ⅰ
NC0018基礎栄養学Ⅱ

NC0019 ライフステージ栄養学
NC0020 臨床栄養学概論
NC0021 ライフステージ栄養学実習
NC0022 臨床栄養学実習
NC0023 栄養教育論
NC0024 栄養指導論
NC0025 公衆栄養学概論
NC0026 栄養指導実習Ⅰ
NC0027 栄養指導実習Ⅱ
NC0030 調理学
NC0031 給食計画・実務論
NC0032 調理学実習Ⅰ(含調理学実験)
NC0033 調理学実習Ⅱ
NC0034 給食計画実習
NC0035 給食管理実習Ⅰ
NC0036 給食管理実習Ⅱ
NC0037 給食管理校外実習
NC0041 フードシステムの経済学
NC0042 フードコーディネート論
NC0050 カラーコーディネート論
NC0051 環境と健康
NC0056 食事計画論(演習を含む)
NC0058 スポーツ科学特論
NC0060 世界の料理と食文化
NC0061 栄養士実践演習
NC0062 栄養士総合演習
NC0068 食と生活
NC0070 食と生活習慣病
NC0071 ヘルスケア栄養学特別演習ⅠA
NC0072 ヘルスケア栄養学特別演習ⅠB
NC0073 ヘルスケア栄養学特別演習ⅡA
NC0074 ヘルスケア栄養学特別演習ⅡB
NC0075 スポーツと栄養
NC0076 スポーツと食事計画(演習を含む)
NC0077 Qフードマネジメント論
NC0079 Q咀嚼・嚥下概論(実習を含む)
NC0080 Q食品加工概論(実習を含む)
NC0081 栄養士基礎演習Ⅰ
NC0082 栄養士基礎演習Ⅱ

NC0083食品イノベーション基礎演習Ⅰ
NC0084食品イノベーション基礎演習Ⅱ
NC0086健康サポート基礎演習Ⅰ
NC0087健康サポート基礎演習Ⅱ
NC0088Q統合医療入門
NC0089Q栄養化学入門
NC0093食品の鑑別
NC0094官能評価
NC0095Q 情報デザイン論
ND0001栄養教諭教育論
ND0002教職概論
ND0004 教育心理学
ND0005道徳の指導法
ND0006 特別活動(教育の方法と技術を含む)
ND0007生徒指導論
ND0008Q 教育相談
ND0009教職実践演習 (栄養教諭)
ND0010栄養教育実習指導
ND0011栄養教育実習
ND0012Q 特別支援教育論
ND0013 総合的な学習
ND0014 教育原理

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0001	日本国憲法	合原 理映	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
この講義では、日本国憲法の定める基本的人権を中心に解説を行う。日本国憲法に保障されるさまざまな基本的人権の性質、保障内容だけでなく、保障に至る歴史的な背景なども取り上げていきたい。それと同時に、権利をめぐる裁判や時事的問題についても学ぶことにより、日本国憲法が社会においてどのように具体化しているのかについても解説する。本講義のねらいは、日本国憲法の基本的な知識を習得すると同時に、日々の生活の中にも憲法に関連する問題が存在していることを気づく目を養うことである。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	日本国憲法の基礎知識を理解する	確認テスト	70	5	日本国憲法の基本的な内容について正確に理解している（4回行う確認テストの合計点が90点以上の成績）			
				4	日本国憲法の基本的な内容を概ね正確に理解している（4回行う確認テストの合計点が80点以上）			
				3	日本国憲法の基本的な内容を理解している（4回行う確認テストの合計点が70点以上）			
				2	日本国憲法の基本的な内容を最低限度で理解している（4回行う確認テストの合計点が60点以上）			
				1	日本国憲法の基本的な内容をほとんど理解していない（4回行う確認テストの合計点が60点未満）			
向上心・責任感	社会におけるさまざまな憲法上の問題に関心を持ち、積極的に意見を表示できる	受講態度	30	5	憲法問題に関心を持ち、積極的に意見を提示する。			
				4	憲法問題に関心を持ち、意見を提示する。			
				3	憲法問題に関心を持っているが、あまり意見を提示しない。			
				2	憲法問題にあまり関心を持たず、意見も提示しない。			
				1	憲法問題に全く関心を持たず、意見も全く提示しない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第7版）』有斐閣アルマ（2025）								
参考書：								
【その他】								
授業時間中に行う確認テストについては、返却時にフィードバックを行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目								

ヘルスケア栄養学科 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 憲法とは何か	事前学習： 憲法の意味についてネットで調べてみる。 事後学習： 授業で説明された憲法の意味と自分が調べた内容との相違点を確認する。	4
2 基本的人権の保障(1) 基本的人権とは。誰に保障されるのか	事前学習： 教科書Theme 1を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
3 基本的人権の保障(2) 外国人の人権保障	事前学習： 教科書Theme 2を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
4 プライバシーの権利	事前学習： 教科書Theme 3を読む。確認テスト(1) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
5 自己決定権	事前学習： 教科書Theme 4を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
6 法の下での平等	事前学習： 教科書Theme5・6を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
7 信教の自由	事前学習： 教科書Theme 7を読む。確認テスト(2) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
8 表現の自由(1)	事前学習： 教科書Theme8を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
9 表現の自由(2)	事前学習： 教科書Theme 9を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
10 営業の自由	事前学習： 教科書Theme 10を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
11 生存権	事前学習： 教科書Theme 11を読む。確認テスト(3) 事後学習： kakunintesuto	4
12 教育を受ける権利	事前学習： 教科書Theme 12を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
13 被疑者・被告人の権利	事前学習： 教科書Theme 13を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
14 国会とはどのような機関か	事前学習： 教科書Theme 16・17を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
15 裁判所	事前学習： 教科書Theme 19・20を読む。確認テスト(4) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0004	心理学	白岩 等	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
一般に心理学というと、悩みを抱えている人を助けたり、コミュニケーションや犯罪捜査に役立ったりする印象があるが、それらは心理学の一部であり、実際にはもっと広がりのある学問である。これまでの心理学関係の専門科目などで、思っていたよりも心理学は面白くないと感じた人もいないかもしれない。本講義では、主に身近な現象や生活を心理学で読み解きながら、簡単な実験等を通して心理学の面白さに気づき、知識と考察を深めていくことをねらいとする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	心理学における基礎的な知識を持ち、社会生活の中で活用できる。	定期試験	70	5	定期試験の得点が8割以上			
				4	定期試験の得点が7割以上			
				3	定期試験の得点が6割以上			
				2	定期試験の得点が5割以上			
				1	定期試験の得点が5割未満			
コミュニケーション力	心理学に対し興味を持ち、より深く学ぼうとする。	受講態度	30	5	心理学に対して積極的に興味を持ち、深く学ぼうとする意欲がかなり高い。			
				4	心理学に対して積極的に興味を持ち、深く学ぼうとする意欲が高い。			
				3	心理学に対する興味を持ち、学ぶ意欲がある。			
				2	心理学に対する興味が低く、学ぶ意欲も低い。			
				1	心理学に興味がない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： サトウタツヤ・渡邊芳之『心理学入門』（有斐閣）								
参考書： 授業時に適宜紹介する								
【その他】								
・課題等についてフィードバックする。								
・実務家教員による授業。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 心理学とは何か エピソードから心理学を考える。	事前学習： シラバスを読み、心理学についての自分なりのイメージを持つ。 事後学習： 興味を持ったテーマについて調べる。	4
2 臨床心理学① カウンセリングの歴史と実際	事前学習： カウンセリングに対するイメージについて調べる。 事後学習： 臨床心理学がどのように社会で用いられているか復習する。	4
3 臨床心理学② さまざまな心理療法	事前学習： 心理的に治療について、自分なりにイメージする。 事後学習： 個々の側面からアプローチする心理療法について復習する。	4
4 性格と個人差の心理学 血液型性格判断はどこまで正しいか	事前学習： 性格は変わるものなのか、変わらないものなのか考える。 事後学習： 性格がどのようにとらえられているか復習する。	4
5 社会的行動の心理学① どうしたら相手を説得できるのか	事前学習： 相手をどのように説得しているかについて考える。 事後学習： 行動の原因や意図について復習する。	4
6 社会的行動の心理学② 人間に及ぼす集団の力	事前学習： どんなどきに人は攻撃したり、傷つけたりしやすいのか調べる。 事後学習： どのように集団が人間を変えることがあるのか復習する。	4
7 発達心理学① 発達とは何か	事前学習： 発達とは何か自分なりの意見をまとめておく。 事後学習： 授業で触れた発達の理論について復習する。	4
8 発達心理学② 人間の発達のありさま	事前学習： こどもがどのように育つのか思い出す。 事後学習： 自身がこれから先どのように発達していくのか復習する。	4
9 心理学的アセスメント 心をどのようにして測るのか	事前学習： 身近にある「〇〇力」はどのように測っているのか考える。 事後学習： 操作的定義、信憑性と妥当性について復習する。	4
10 知覚・認知・記憶の心理学① 人は環境をどのようにとらえているのか	事前学習： 環境をとらえるのは目なのか能なのかについて考える。 事後学習： 人が環境をどのようにとらえているかを復習する。	4
11 知覚・認知・記憶の心理学② 記憶の仕組みと認知バイアス	事前学習： 自分が持っている一番古い記憶を書き出す 事後学習： 記憶の仕組みと認知バイアスについて復習する	4
12 行動と学習の心理学 行動とは何か レスポンデント条件付け・オペラント条件付け	事前学習： 行動とは何か、学習とは何かについて、自分なりに考える。 事後学習： 行動と学習について復習する。	4
13 親密な関係における暴力 なぜ、DVやデートDVは起きるのか	事前学習： 親密な関係の中でなぜ暴力が起きるのかを考える。 事後学習： DVやデートDVについて復習する	4
14 心理学の歴史 心理学がどのように生まれ、批判され、発展してきたか	事前学習： 教科書の該当部分を読んでおく 事後学習： 心理学の歴史について復習する	4
15 まとめ	事前学習： これまでのプリントや教科書を読んでおく 事後学習： 新たに分かったこと、疑問点などをまとめる	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0009	健康と運動（理論と実技）A	西村 光太郎	前期	必修	講義・実技	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>本授業では、スポーツ実技と理論を通して、健康的な生活を送るための方法を考え実践できる能力を培うことを目的とする。スポーツ実技では、生涯にわたってスポーツが継続的にできるような、スポーツのルールや基本動作から学んでいく。スポーツの理論では、日々の生活をより健康的に過ごせるよう、生活と関わりが深い睡眠とストレスを中心に学ぶ。また、実技・講義ともにグループワークを中心に授業が構成されるため、コミュニケーション能力の向上や、協調性を身につけることができる。以上の実技と理論を学び、生涯に渡ってスポーツを実践できる能力と、日々の生活をより健康的に過ごせる知識を身につけることを目標とする。</p>								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人基礎力を高めるための目標設定と振り返りによる実践確認ができる	レポート	60	5	授業内レポートが毎回提出され、授業内容の振り返りが十分できしっかり記述できる			
				4	授業内レポートが毎回提出され、授業内容の振り返りが十分でき記述できる			
				3	授業内レポートがほぼ毎回提出され、授業内容の振り返りが十分でき記述できる			
				2	授業内レポートが時々提出され、授業内容の振り返りができしっかり記述できる			
				1	授業内レポートが時々提出され、授業内容の振り返りができ記述できる			
社会人基礎スキル	運動と健康について知り、将来について考え行動することができる	レポート	10	5	トレーニングの効果を知り、自分に合った運動処方を作成し、運動処方の知識を修得している			
				4	トレーニングの効果を知り、運動処方を作成し、運動処方の知識を習得している			
				3	運動処方を作成し、運動処方の知識を習得している			
				2	運動処方は作成するが、運動処方の知識が不足である			
				1	運動処方が作成できない			
コミュニケーション力	スポーツの基本技術を知り、周りの人たちとコミュニケーションをとり実践することができる	確認テスト	20	5	スポーツのルールを十分に理解し、基本技術を修得し、人に上手に伝えることができる			
				4	スポーツのルールを十分に理解し、基本技術をおおよそ習得し、人に伝えることができる			
				3	スポーツのルールを理解し、基本技術がおおよそ習得しているが、人に伝えることができない			
				2	スポーツのルールを理解しているが、基本技術が習得できていない			
				1	スポーツのルールが理解できず、基本技術が習得できていない			
コミュニケーション力	スポーツの準備・実践・片付けを他者との関わりの中で行うことができ、チームの中の役割を発見できる	受講態度	10	5	授業に意欲的に取組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる			
				4	授業に意欲的に取組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる			
				3	授業に取組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる			
				2	授業に取組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる			
				1	授業に取組み、他者と関わることができる			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用しない								
参考書： 適時、授業内で紹介する								
【その他】								
ルール確認テスト・レポートのフィードバックを行う								
実技では安全のために適した服装・態度を求める。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	ガイダンス (理論) レポート提出	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業の振り返りを行う	4時間
2	体力・身体組成 測定 プレ レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
3	バスケットボール 歴史・基本トレーニング レポート提出	事前学習: バスケットボールについて調べる 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
4	バスケットボール ルール レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
5	バスケットボール ゲーム1 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
6	バスケットボール ゲーム2 実技テスト レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
7	バドミントン 基本 ルール レポート提出	事前学習: バドミントンについて調べる 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
8	バドミントン シングルス レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
9	バドミントン ダブルス① レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
10	バドミントン ダブルス② レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
11	バドミントン テスト ゲーム 実技・ルールテスト レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
12	体力・身体組成 測定 ポスト レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
13	体力変化の考察 (理論) レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 自分の体力について考察する	4時間
14	トレーニングの科学 (理論) レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 学んだことを生活の中で確認する	4時間
15	運動処方 (理論) レポート提出	事前学習: これまで学んだ基礎知識を確認しておく 事後学習: 学んだことを実践する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0010	健康と運動（理論と実技）B	西村 光太郎	後期	必修	講義・実技	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
本授業では、スポーツ実技と理論を通して、健康的な生活を送るための方法を考え実践できる能力を培うことを目的とする。スポーツ実技では、生涯にわたってスポーツが継続的にできるような、スポーツのルールや基本動作から学んでいく。スポーツの理論では、日々の生活をより健康的に過ごせるよう、生活と関わり深い睡眠とストレスを中心に学ぶ。また、実技・講義ともにグループワークを中心に授業が構成されるため、コミュニケーション能力の向上や、協調性を身につけることができる。以上の実技と理論を学び、生涯に渡ってスポーツを実践できる能力と、日々の生活をより健康的に過ごせる知識を身につけることを目標とする。								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人基礎力を高めるための目標設定と振り返りによる実践確認ができる	レポート	60	5	授業内レポートが毎回提出され、授業内容の振り返りが十分できしっかり記述できる			
				4	授業内レポートが毎回提出され、授業内容の振り返りが十分でき記述できる			
				3	授業内レポートがほぼ毎回提出され、授業内容の振り返りが十分でき記述できる			
				2	授業内レポートが時々提出され、授業内容の振り返りができしっかり記述できる			
				1	授業内レポートが時々提出され、授業内容の振り返りができ記述できる			
コミュニケーション力	スポーツの準備・実践・片付けを他者との関わりの中で行うことができ、チームの中で役割を発見できる	受講態度	10	5	授業に意欲的に取組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる			
				4	授業に意欲的に取組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる			
				3	授業に取組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる			
				2	授業に取組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる			
				1	授業に取組み、他者と関わることができる			
コミュニケーション力	健康について知りよりよい将来について考え、責任をもって行動することができる	レポート	20	5	身体組成と体力の変化から心身ともに自分をよく知り、役割の責任を十分に果たすことができる			
				4	身体組成と体力の変化から心身ともに自分を知り、役割の責任を果たすことができる			
				3	身体組成と体力の変化から身体的に自分を知っているが役割の分担が不十分である			
				2	身体組成と体力の変化を知っているが、行動が不十分である			
				1	身体組成と体力の変化に気づかず、行動が不十分である			
コミュニケーション力	スポーツの基本技術・ルールを知り、向上心を持って実践することができる	確認テスト	10	5	ニュースポーツの知識と技術を十分に修得している			
				4	ニュースポーツの知識と技術を大体習得している			
				3	ニュースポーツの知識と技術を少し修得している			
				2	ニュースポーツの知識と技術が少し不足している			
				1	ニュースポーツについて習得できていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用しない								
参考書： 適時、授業内で紹介する								
【その他】								
ルール確認テスト・レポートのフィードバックを行う								
実技では安全のために適した服装・態度を求める。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1	世界のスポーツ 身体組成計測 (理論) レポート提出	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 業の振り返りと課題を設定する	4時間
2	スポーツと社会 (理論) グループワーク 情報収集	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
3	スポーツと社会 (理論) グループ発表	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
4	ボールストレッチ レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
5	ソフトバレーボール レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
6	インディアカ レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
7	ドッチビー レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
8	アルティメット レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
9	フットサル レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
10	ユニホック レポート提出	事前学習: りを覚えてくる 事後学習: 業の振り返りと反省	1時間
11	ポッチャ レポート提出	事前学習: 定した課題を確認する 事後学習: 業の振り返りと課題を設定する	1時間
12	ニュースポーツ①リクエスト レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
13	ニュースポーツ②リクエスト レポート提出	事前学習: 常生活を振り返る 事後学習: んだことを生活の中で確認する	1時間
14	ニュースポーツ③リクエスト レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 分の身体について考察する	1時間
15	自分を知る 身体組成計測 (理論) レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 自己について考察する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0016	コンピュータ基礎演習A	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
IT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、マナーを習得することを図る。主にメールにおける文書作成法・マナー・メーカーの使い方、さらにインターネット社会に必要なセキュリティに関する知識を深め、安全に個人・組織の活動を安全に行う実践力を養う。またワードによる文書作成、特殊印刷、セキュリティに配慮した文書の保存方法などを中心に体験してもらうことによって、自ら応用していく力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールや基礎知識を身につける	確認テスト	40	5	確認テストにおいて90%以上の正答率			
				4	確認テストにおいて80%以上の正答率			
				3	確認テストにおいて70%以上の正答率			
				2	確認テストにおいて60%以上の正答率			
				1	確認テストにおいて59%以下の正答率			
実践力	インターネットセキュリティに関する知識を身につける。	確認テスト	15	5	授業で行われる小テストで90%以上をクリア。			
				4	授業で行われる小テストを80%以上のクリア。			
				3	授業で行われる小テストを70%以上のクリア。			
				2	授業で行われる小テストを60%以上のクリア。			
				1	授業で行われる小テストを59%以下のクリア。			
向上心・責任感	ICT機器を利用したドキュメントを作成できる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。			
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。			
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。			
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。			
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 利用せず								
参考書： PC室のLANなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演は撮影は許可する。								
【その他】								
課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 「コンピュータと社会～第4次産業革命 (Society 5.0、データ駆動型社会、AI、Iot)～」 オリエンテーション 確認テスト	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 メーラーの利用方法 確認テスト	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 メール文書の作成法 確認テスト	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 セキュリティ (組織編) 確認テスト	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 セキュリティ (個人編) 確認テスト	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 ワード:ビジネス文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 ワード:ビジネス文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 ワード:アンケート文書の作成① 確認テスト	事前学習： 第5, 6, 7回の演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 ワード:アンケート文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 ワード:アンケート文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第8, 9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 ワード:スタイルを利用した文書の作成① 確認テスト	事前学習： 第8, 9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 ワード:スタイルを利用した文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 ワード:スタイルを利用した文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14 ワード:差し込みなど特殊印刷① 確認テスト	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0017	コンピュータ基礎演習B	阿久津 毅	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
IT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、社会人として必要なスキルを習得することを図る。また、エクセルの一般的な四則演算や関数を利用して代表値の計算、偏差などのデータ処理を行い、度数分布表作成し、ヒストグラムなどのグラフ化するなどアンケート調査の報告を例題にビジュアル的な要素を含めてドキュメントを作成する能力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	コンピュータに係る計算や基礎知識を有する	確認テスト	30	5	確認テストにおいて90%以上の正答率			
				4	確認テストにおいて80%以上の正答率			
				3	確認テストにおいて70%以上の正答率			
				2	確認テストにおいて60%以上の正答率			
				1	確認テストにおいて59%以下の正答率			
実践力	アプリの機能を利用して、データの処理やグラフを作成することができる。	作品	30	5	ドキュメント内の課題を90%以上のクリア。			
				4	ドキュメント内の課題を80%以上のクリア。			
				3	ドキュメント内の課題を70%以上のクリア。			
				2	ドキュメント内の課題を60%以上のクリア。			
				1	ドキュメント内の課題を59%以下のクリア。			
向上心・責任感	ICT機器を利用したデータ処理ができる	確認テスト	40	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。			
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。			
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。			
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。			
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 利用せず								
参考書： PC室のLANなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演の撮影を許可する。								
【その他】 【履修条件】 コンピュータ基礎演習AにてGPA1.0以上を獲得していること								
課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演を行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 エクセルの基本 確認テスト	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 エクセルの基本の書式 確認テスト	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 エクセルの四則演算 確認テスト	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 エクセルの関数利用 LEVEL1 確認テスト	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 エクセルの関数利用 LEVEL2 範囲指定 確認テスト	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 エクセルの関数利用 LEVEL4 条件付き 確認テスト	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 エクセルの関数利用 LEVEL5 複数条件付き 確認テスト	事前学習： 第4, 5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 エクセル 条件付き書式 確認テスト	事前学習： 前回までの演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 エクセル 大量データの扱い ① 確認テスト	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 エクセル 大量データの扱い ② 確認テスト	事前学習： 第9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 エクセル グラフ作成 ① 確認テスト	事前学習： 第9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 エクセル グラフ作成 ② 確認テスト	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 エクセル グラフ作成 ③ 確認テスト	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14 エクセルのセキュリティ 確認テスト	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0021	キャリアデザイン(基礎)	加藤 智樹	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 「キャリアデザイン」とは、将来のなりたい姿やこうありたいという自己を実現するために、主に職業人生を主体的に構想し設計することである。多様化する社会にあつて、自分なりの生き方を模索するために自己理解を行い、学ぶことや働くことの意義を考察する。あわせて、社会人として必要なマナーについても学ぶ。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を身につけ、習得した知識・技術が今後の人生にどのように繋がっていくのかを理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	大学生・社会人としての教養・マナーを身につける	受講態度	50	5	基本的な知識を積極的に身につけようと努力し、十分な結果を出す。			
				4	基本的な知識を積極的に身につけようと努力し、おおむね結果を出す。			
				3	基本的な知識を身につけようと努力し、おおむね結果を出す。			
				2	基本的な知識を身につける姿勢が消極的である。			
				1	基本的な知識が身につけていない。			
向上心・責任感	自己理解を深め、課題をまとめられる。	レポート	50	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を提出できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を提出できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を提出できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出できる。			
				1	課題を提出できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 必要に応じて資料プリントを配布(電子ファイルの場合もある) 参考書： 必要に応じて紹介する								
【その他】 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと レポートの内容と締め切りについては講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 キャリアデザインとは/社会人として必要な知識と技術1① (進路、人生設計、人とは、など)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 社会人として必要な知識と技術② (会社組織、雇用、職業倫理、就職活動などpart1)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 社会人として必要な知識と技術③ (会社組織、雇用、職業倫理、就職活動などpart2)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 社会人として必要な知識と技術④ (コミュニケーション、マナー、一般教養①)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 社会人として必要な知識と技術⑤ (コミュニケーション、マナー、一般教養②)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 社会人として必要な知識と技術⑥ (コミュニケーション、マナー、一般教養③)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 社会人として必要な知識と技術⑦ (コミュニケーション、マナー、一般教養④)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 社会人として必要な知識と技術⑧ (コミュニケーション、マナー、一般教養⑤)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 社会人として必要な知識と技術⑨ (コミュニケーション、マナー、一般教養⑥)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 社会人として必要な知識と技術⑩ (コミュニケーション、マナー、一般教養⑦)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 社会人として必要な知識と技術⑪ (プレゼンテーション技法)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 社会人として必要な知識と技術⑫ (生命倫理、チーム医療など①)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 社会人として必要な知識と技術⑬ (生命倫理、チーム医療など②)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 総括と振り返り/レポート作成①	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総括と振り返り/レポート作成②	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0022	キャリアデザイン（応用）	加藤智樹	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
「キャリアデザイン（応用）」では、社会人としての必要な教養やマナーなどを学ぶとともに、社会に出て突き当たる問題をテーマとして取り上げ、その解決策を自ら考えることにより実践的な力を身につける。また、シンキング/チームワークのような社会人基礎力を身につけ多様化する社会での自分なりの生き方を模索するための自己理解と学びおよび就業の意義を考察する。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を身につけ、習得した知識・技術が今後の人生にどのように繋がっていくかを理解する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人としての教養やマナーを学ぶとともに、社会人基礎力を身につける。	受講態度	50	5	基本的な知識を積極的に身につけようと努力し、十分な結果を出す。			
				4	基本的な知識を積極的に身につけようと努力し、おおむね結果を出す。			
				3	基本的な知識を身につけようと努力し、おおむね結果を出す。			
				2	基本的な知識を身につける姿勢が消極的である。			
				1	基本的な知識が身につけていない。			
向上心・責任感	自分のキャリアに関する問題に主体的に取り組み、自分自身を高め、責任ある行動をとることができる。	レポート	50	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を提出できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を提出できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を提出できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出できる。			
				1	課題を提出できない。			
【教科書・参考書】								
教科書： 必要に応じて資料プリントを配布（電子ファイルの場合もある）								
参考書： 必要に応じて紹介する								
【その他】 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと レポートの内容と締め切りについては講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 キャリアデザイン(基礎)の学びを振り返る	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 社会人基礎カ応用編 ① 社会人に必要な教養(ビジネス用語①)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 社会人基礎カ応用編 ② 社会人に必要な教養(ビジネス用語②)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 社会人基礎カ応用編 ③ 社会人に必要な教養(国語・語彙力・論理力①)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 社会人基礎カ応用編 ④ 社会人に必要な教養(国語・語彙力・論理力②)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 社会人基礎カ応用編 ⑤ 社会人に必要な教養(国語・語彙力・論理力③)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 社会人基礎カ応用編 ⑥ 社会人に必要な教養(科学的思考力・疫学・統計学①)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 社会人基礎カ応用編 ⑦ 社会人に必要な教養(科学的思考力・疫学・統計学②)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 社会人基礎カ応用編 ⑧ 社会人に必要な教養(情報処理・ICTの活用①)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 社会人基礎カ応用編 ⑨ 社会人に必要な教養(情報処理・ICTの活用②)	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 プレゼンテーションスキル① プレゼンテーション準備	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 プレゼンテーションスキル② プレゼンテーション実践	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 プレゼンテーションスキル③ プレゼンテーション実践	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 総括と振り返り/レポート作成①	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総括と振り返り/レポート作成②	事前学習: 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習: 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0023	ボランティア社会学（実習を含む）	片桐 恵子	前期	選択	講義・実習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 身近な地域社会に対する問題意識を持ち、ボランティア精神（社会的な課題解決の為、個人の自発的な意思に基づき、原則無報酬で公益を求める態度や姿勢）を身に付けることをねらいとする。このため、授業内では学生個々の問題意識を育むために、ボランティア活動計画を作成しその上で、地域で活動・活躍しているボランティア団体で実習を行う。また、関心の持ちやすいテーマ（子ども、子育て家庭、社会的養護など）については、ボランティアで実習での振り返りやDVD視聴を踏まえ、グループディスカッションを通し学生個々の問題意識を発展させる力を養う。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ボランティアの意義・目的を理解し、社会に貢献できる態度を身に付ける	レポート	30	5	講義内容の理解を問うレポートが極めて適切に作成されていて、提出期限が守られている。			
				4	講義内容の理解を問うレポートが適切に作成されていて、提出期限が守られている。			
				3	講義内容の理解を問うレポートがいくつか作成されていて、提出期限が守られている。			
				2	講義内容の理解を問うレポートが適切に作成されておらず、提出期限が守られていない。			
				1	講義内容の理解を問うほとんどのレポートが作成されておらず、提出期限が守られていない。			
コミュニケーション力	他者を尊重し、協力的な態度で問題の発見、解決ができる	受講態度	20	5	グループワークに積極的に参加し、他者の話を尊重し、自分の言葉で考察、発表することができる。			
				4	グループワークに参加し、他者の話を尊重し、自分の言葉で考察、発表することができる。			
				3	グループワークに参加し、他者の話を尊重し、発表することができる。			
				2	グループワークに参加しているものの、消極的である。			
				1	グループワークに参加せず、発表することができていない。			
向上心・責任感	ボランティア活動計画に基づき、向上心・責任感のあるボランティア活動を実践できる	受講態度	50	5	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の3つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				4	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の2つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				3	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の1つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				2	ボランティア活動を行い、活動報告を行うことができる。			
				1	ボランティア活動を行うことができる。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 適宜レジュメ、資料配布 参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】 活動報告のフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 本科目の意義と目的	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
2 ボランティアの歴史と課題	事前学習： 地域社会の問題を発見し、課題を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
3 地域課題の共有とボランティア活動計画	事前学習： 地域社会の身近な問題や課題を発見する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
4 ボランティア活動の範囲と地域共生社会	事前学習： 身近なボランティア活動を支える制度や公共機関を調べる 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
5 グループで計画したボランティア活動	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
6 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
7 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
8 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
9 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
10 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
11 個人で計画したボランティア活動	事前学習： 個人で計画したボランティア活動の実施準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
12 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
13 ボランティア活動の報告会の準備	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
14 ボランティア活動の報告会(グループ)	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
15 ボランティア活動の報告会(個人)	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0024	総合英語A	酒井 志麻	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 基本的な文法や語彙を復習しつつ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に上達させることを目指す。 日本語話者が間違えやすい表現などを重点的に学び、実践の場で役立つ英語の知識を獲得する。 ペアワークなどを通して、他者と英語で会話をする姿勢を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	学修した英文法や語彙を理解して身につけ、英文読解や英作文に活用することができる	確認テスト	45	5	学期中に学修した内容を十分に理解して身につけ、応用することができる。(1回実施)			
				4	学期中に学修した内容を理解して身につけ、ある程度応用することができる。(1回実施)			
				3	学期中に学修した内容をある程度理解し、身につけている。(1回実施)			
				2	学期中に学修した内容を理解しているが、身につけていない。(1回実施)			
				1	学期中に学修した内容を理解できていない。(1回実施)			
社会人基礎ス キル	各単元で学んだ文法や語彙を理解し、身につけている	確認テスト	30	5	授業で学んだ英文法と語彙を完全に習得している。(6回実施)			
				4	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得している。(6回実施)			
				3	授業で学んだ英文法と語彙をある程度習得している。(6回実施)			
				2	授業で学んだ英文法と語彙を少し習得している。(6回実施)			
				1	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得していない。(6回実施)			
コミュニケー ション力	授業の目標を達成するために、他者と協力して課題に取り組める	受講態度	25	5	授業の内容や講師の指示を正確に理解し、他者と協力して意欲的に課題に取り組めた。			
				4	授業の内容や講師の指示をほぼ理解し、他者と協力して課題に取り組めた。			
				3	授業の内容や講師の指示を聞き、ある程度は他者と協力して課題に取り組めた。			
				2	授業の内容や講師の指示への理解が不足し、他者と協力して課題に取り組むことが難しかった。			
				1	授業の内容や講師の指示を聞き取れず、他者と協働して課題に取り組むことができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 森田彰、飯尾牧子、橋本健広、佐竹幸信、角田麻里、Taron Plaza『TARGET! intermediate 総合英語のターゲット演習【中級】』（金星堂） 参考書： 授業内で適宜提示する								
【その他】 単語や文法の確認テスト、学期末の確認テストは次回の授業でフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション、Unit1: Let's Clean Up! 英語で自己紹介、リスニング	事前学習: 英語で簡単な自己紹介ができるように準備しておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
2 Unit1: Let's Clean Up! 文法の確認と練習	事前学習: Unit1 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
3 Unit2: Human Society 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit1の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
4 Unit2: Human Society 文法の確認と練習	事前学習: Unit2 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
5 Unit3: Express Yourself with Emoji! 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit2の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
6 Unit3: Express Yourself with Emoji! 文法の確認と練習	事前学習: Unit3 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
7 Unit4: Good Sleep, Good Health 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit3の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
8 Unit4: Good Sleep, Good Health 文法の確認と練習	事前学習: Unit4 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
9 Unit5: Job Interview Success 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit4の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
10 Unit5: Job Interview Success 文法の確認と練習	事前学習: Unit5 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
11 Unit6: Dress Your Own Way 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit5の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
12 Unit6: Dress Your Own Way 文法の確認と練習	事前学習: Unit6 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
13 Unit7: New Ways to Travel 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit6の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
14 前期末確認テスト、Unit7: New Ways to Travel 文法の確認と練習	事前学習: 前期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 授業内容の復習をする	1
15 確認テストのフィードバック、前期の復習とまとめ	事前学習: 前期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 前期の授業内容、確認テストで間違えた箇所の復習をする	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0024	総合英語A	大山 健一	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 「学校文法論」を理論的にかつ実践的に習得することを目的とします。品詞と文法を焦点に当て、英語コミュニケーションに関連する英語4技能（5領域）向上を目指します。言語学的方法により、言語コミュニケーションスキルを学びます。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	食・栄養分野に携わる社会人としての必要な教養・マナーを身につけることができる	レポート	50	5	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を十分に理解している			
				4	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解している			
				3	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をある程度理解している			
				2	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をほとんど理解していない			
				1	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解していない			
コミュニケーション力	問題解決に向けて協力して行動することができる	受講態度	50	5	指示を正確に聞き取り、他者と協力して、十分に協働学習に取り組んだ			
				4	指示をほぼ聞き取り、他者と協力して、協働学習に取り組んだ			
				3	指示を聞き取り、他者と協力して、ある程度は協働学習に取り組んだ			
				2	指示が十分に聞き取れず、他者との協働学習が不十分だった			
				1	指示が聞き取れず、他者との協働学習ができなかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 倉田誠・Smith, C. ・横山仁視・石川保茂・松田早恵『New Strategies for Stronger English Skills』（金星堂） 参考書： 授業時に随時実施								
【その他】 課題等のフィードバックは授業時に随時実施								

ヘルスケア栄養学科 1年次

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	オリエンテーション 授業の進め方	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
2	事前指導 英語4技能と2能力	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
3	冠詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
4	冠詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
5	不可算名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
6	不可算名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
7	比較(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
8	比較(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
9	前置詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
10	前置詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
11	動名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
12	動名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
13	不定詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
14	不定詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
15	まとめ 総括	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0024	総合英語A	大塚 節生	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 1人1人が積極的に授業に参加し、楽しみながら学んでいく為に、ロール・プレイを中心に、双方向授業を展開していく。大学教養レベルの英語能力（読む・書く・話す・聴くの4技能）を身に付ける。また、単元ごとに関連する文法や英文も扱うことで、4技能をバランスよく向上させていく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	授業目標を達成するためにグループで協力し学習できる。	受講態度	10	5	講師からの指示を正確に聴き取り、他者と協力して、十分に協力学習 (Cooperative Learning) に取り組んだ。			
				4	講師からの指示をほぼ聴き取り、他者と協力して、協力学習に取り組んだ。			
				3	講師からの指示を聴き取り、他者と協力して、ある程度は協力学習に取り組んだ。			
				2	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習が不十分だった。			
				1	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習ができなかった。			
社会人基礎スキル	学習した英語句や文法を、確認テストに応用することができる。	確認テスト	40	5	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストが十分にできている。			
				4	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストができている。			
				3	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストがある程度できている。			
				2	既習内容（英文法、英語句）をある程度理解しているが、確認テストに応用できていない。			
				1	既習内容（英文法、英語句）の理解が不十分で、実践状況での応用もできていない。			
社会人基礎スキル	基礎英文法、語句の意味や使い方などを正確に理解し、実践的な状況での英語をライティングやリーディングに応用することができる。	確認テスト	50	5	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を十分に理解している。			
				4	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解している。			
				3	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）をある程度理解している。			
				2	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を殆ど理解していない。			
				1	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： Kadoyama, Teruhiko and Live ABC Editor 著(2021); Live Escalate Book 1: Base Camp; SEIBIDO 参考書： DK著; English for Everyone: Practice Book Level 1 Beginner								
【その他】 筆記試験のフィードバックを行う。また、毎回、授業中、担当教員との会話練習を通して、学生1人1人の会話力を評価していく（必要ならば、スピーキング・テストを実施する予定）。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・アサインメント等の説明 Unit 1: Meeting New People (pp.10-15)	事前学習: テキストの内容 (p.13) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.13) を繰り返し音読をする!	1
2 Unit 1: Meeting New People (pp.16-19)	事前学習: テキストのリーディング (p.16) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.16) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
3 Unit 2: School Life (pp.20-25)	事前学習: テキストの内容 (p.23) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.23) を繰り返し音読をする!	1
4 Unit 2: School Life (pp.26-29)	事前学習: テキストのリーディング (p.26) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.26) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
5 Unit 3: Seeing A Doctor (pp.30-35)	事前学習: テキストの内容 (p.33) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.33) を繰り返し音読をする!	1
6 Unit 3: Seeing A Doctor (pp.36-39)	事前学習: テキストのリーディング (p.36) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.36) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
7 Unit 4: Expressing Yourself (pp.40-45)	事前学習: テキストの内容 (p.43) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.43) を繰り返し音読をする!	1
8 確認テスト	事前学習: テスト対策を十分しておく! 事後学習: 間違った部分や出来なかった部分を復習しておく!	1
9 Unit 4: Expressing Yourself (pp.46-49)	事前学習: テキストの内容 (p.46) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.46) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
10 Unit 5: Getting Around (pp.50-55)	事前学習: テキストの内容 (p.53) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.53) を繰り返し音読をする!	1
11 Unit 5: Getting Around (pp.56-59)	事前学習: テキストの内容 (p.56) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.56) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
12 Unit 6: Talking about the Time (pp.60-65)	事前学習: テキストの内容 (p.63) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.63) を繰り返し音読をする!	1
13 Unit 6: Talking about the Time (pp.66-69)	事前学習: テキストの内容 (p.66) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの単語 (p.66) を書ける様に練習する!	1
14 確認テスト	事前学習: Unit 1からUnit 6の英文を繰り返し読んでおく! 事後学習: 分からなかった問題を出来る様にしておく!	1
15 まとめと会話練習・必要なら講師アンケートを実施	事前学習: 前期で学習した項目の不明点を確認しておく。 事後学習: 授業中に確認した内容を復習しておく。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0025	総合英語B	酒井 志麻	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 基本的な文法や語彙を復習しつつ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に上達させることを目指す。 日本語話者が間違えやすい表現などを重点的に学び、実践の場で役立つ英語の知識を獲得する。 ペアワークなどを通して、他者と英語で会話をする姿勢を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	学修した英文法や語彙を理解して身につけ、英作文やスピーキングに応用することができる	確認テスト	45	5	学期中に学修した内容を十分に理解して身につけ、応用することができる。(1回実施)			
				4	学期中に学修した内容を理解して身につけ、ある程度応用することができる。(1回実施)			
				3	学期中に学修した内容をある程度理解し、身につけている。(1回実施)			
				2	学期中に学修した内容を理解しているが、身につけていない。(1回実施)			
				1	学期中に学修した内容を理解できていない。(1回実施)			
社会人基礎スキル	各単元で学んだ文法や語彙を理解し、身につけている	確認テスト	30	5	授業で学んだ英文法と語彙を完全に習得している。(6回実施)			
				4	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得している。(6回実施)			
				3	授業で学んだ英文法と語彙をある程度習得している。(6回実施)			
				2	授業で学んだ英文法と語彙を少し習得している。(6回実施)			
				1	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得していない。(6回実施)			
コミュニケーション力	授業の目標を達成するために、他者と協力して課題に取り組める	受講態度	25	5	授業の内容や講師の指示を正確に理解し、他者と協力して意欲的に課題に取り組めた。			
				4	授業の内容や講師の指示をほぼ理解し、他者と協力して課題に取り組めた。			
				3	授業の内容や講師の指示を聞き、ある程度は他者と協力して課題に取り組めた。			
				2	授業の内容や講師の指示への理解が不足し、他者と協力して課題に取り組むことが難しかった。			
				1	授業の内容や講師の指示を聞き取れず、他者と協働して課題に取り組むことができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 森田彰、飯尾牧子、橋本健広、佐竹幸信、角田麻里、Taron Plaza『TARGET! intermediate 総合英語のターゲット演習【中級】』（金星堂） 参考書： 授業寧で適宜提示する								
【その他】 単語や文法の確認テスト、学期末の確認テストは次回の授業でフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 Unit8: Sports Anytime, Anywhere 文法の確認と練習、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit8 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
2 Unit9: How Do You Enjoy Music? 文法の確認と練習、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit9 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
3 Unit10: Choose What Color to Paint 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit8, Unit9の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
4 Unit10: Choose What Color to Paint 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit10 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
5 Unit11: The Future of Food 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit10の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
6 Unit11: The Future of Food 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit11 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
7 Unit12: To Gain Experience in Business 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit11の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
8 Unit12: To Gain Experience in Business 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit12 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
9 Unit13: Science We Should Know 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit12の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
10 Unit13: Science We Should Know 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit13 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
11 Unit14: Apps That Change Your Life 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit13の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
12 Unit14: Apps That Change Your Life 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit14 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
13 Unit15: If We Did Nothing for the Environment… 単語と文法の確認テスト、文法の確認とスピーチ練習	事前学習: Unit14の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をして、後期末確認テストに備える	1
14 後期末確認テスト(文法、語彙、スピーチ)	事前学習: 後期の授業内容をすべて復習する。スピーチの練習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
15 確認テストのフィードバック、後期の復習とまとめ	事前学習: 後期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 後期の授業内容、確認テストで間違えた箇所の復習をする	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0025	総合英語B	大山 健一	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 「学校文法論」を理論的にかつ実践的に習得することを目的とします。品詞と文法を焦点に当て、英語コミュニケーションに関連する英語4技能（5領域）向上を目指します。言語学的方法により、言語コミュニケーションスキルを学びます。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	食・栄養分野に携わる社会人としての必要な教養・マナーを身につけることができる	レポート	50	5	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を十分に理解している			
				4	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解している			
				3	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をある程度理解している			
				2	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をほとんど理解していない			
				1	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解していない			
コミュニケーション力	問題解決に向けて協力して行動することができる	受講態度	50	5	指示を正確に聞き取り、他者と協力して、十分に協働学習に取り組んだ			
				4	指示をほぼ聞き取り、他者と協力して、協働学習に取り組んだ			
				3	指示を聞き取り、他者と協力して、ある程度は協働学習に取り組んだ			
				2	指示が十分に聞き取れず、他者との協働学習が不十分だった			
				1	指示が聞き取れず、他者との協働学習ができなかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 倉田誠・Smith, C. ・横山仁視・石川保茂・松田早恵『New Strategies for Stronger English Skills』（金星堂） 参考書： 授業時に随時実施								
【その他】 課題等のフィードバックは授業時に随時実施								

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	オリエンテーション 授業の進め方	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
2	事前指導 英語4技能と2能力	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
3	分詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
4	分詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
5	名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
6	名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
7	接続表現(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
8	接続表現(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
9	動詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
10	動詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
11	動詞(3) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
12	動詞(4) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
13	助動詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
14	助動詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
15	まとめ 総括	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0025	総合英語B	大塚 節生	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 前期に学修した内容を受け、後期も1人1人が楽しみながらロール・プレイを中心とした双方向の授業に参加していく。大学教養レベルの英語能力（読む・書く・話す・聴くの4技能）を確実に身に付けていきながら、テキストの単元ごとにある文法やパッセージも扱うことで、4技能をバランスよく向上させていく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	授業目標を達成するためにグループで協力し学習できる。	受講態度	10	5	講師からの指示を正確に聴き取り、他者と協力して、十分に協力的学習（Cooperative Learning）に取り組んだ。			
				4	講師からの指示をほぼ聴き取り、他者と協力して、協力的学習に取り組んだ。			
				3	講師からの指示を聴き取り、他者と協力して、ある程度は協力的学習に取り組んだ。			
				2	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力的学習が不十分だった。			
				1	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力的学習ができなかった。			
社会人基礎スキル	学習した英語句や文法を、確認テストに応用することができる。	確認テスト	40	5	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストが十分にできている。			
				4	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストができている。			
				3	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストがある程度できている。			
				2	既習内容（英文法、英語句）をある程度理解しているが、確認テストに応用できていない。			
				1	既習内容（英文法、英語句）の理解が不十分で、実践状況での応用もできていない。			
社会人基礎スキル	基礎英文法、語句の意味や使い方などを正確に理解し、実践的な状況での英語をライティングやリーディングに応用することができる。	確認テスト	50	5	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を十分に理解している。			
				4	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解している。			
				3	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）をある程度理解している。			
				2	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を殆ど理解していない。			
				1	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： Kadoyama, Teruhiko and Live ABC Editor 著(2021); Live Escalate Book 1: Base Camp; SEIBIDO 参考書： DK著; English for Everyone: Practice Book Level 1 Beginner								
【その他】 筆記試験のフィードバックを行う。また、毎回、授業中、担当教員との会話練習を通して、学生1人1人の会話力を評価していく（必要ならば、スピーキング・テストを実施する予定）。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・アサインメント等の説明 Unit 7: Eating Out (pp.74-79)	事前学習: テキストの内容 (p.77) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.77) を繰り返し音読をする!	1
2 Unit 7: Eating Out (pp.80-83)	事前学習: テキストのリーディング (p.80) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.80) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
3 Unit 8: At the Supermarket (pp.84-89)	事前学習: テキストの内容 (p.87) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.87) を繰り返し音読をする!	1
4 Unit 8: At the Supermarket (pp.90-93)	事前学習: テキストのリーディング (p.90) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.90) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
5 Unit 9: Hobbies (pp.94-99)	事前学習: テキストの内容 (p.97) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.97) を繰り返し音読をする!	1
6 Unit 9: Hobbies (pp.100-103)	事前学習: テキストのリーディング (p.100) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.100) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
7 Unit 10: Shop Till You Drop (pp.104-109)	事前学習: テキストの内容 (p.107) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.107) を繰り返し音読をする!	1
8 確認テスト	事前学習: テスト対策を十分にしておく。 事後学習: 間違った部分や出来なかった部分を復習しておく。	1
9 Unit 10: Shop Till You Drop (pp.110-113)	事前学習: テキストの内容 (p.110) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.110) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
10 Unit 11: Going on Vacation (pp.114-119)	事前学習: テキストの内容 (p.117) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.117) を繰り返し音読をする!	1
11 Unit 11: Going on Vacation (pp.120-123)	事前学習: テキストの内容 (p.120) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.120) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
12 Unit 12: Sports (pp.124-129)	事前学習: テキストの内容 (p.127) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.127) を繰り返し音読をする!	1
13 Unit 12: Sports (pp.130-133)	事前学習: テキストの内容 (p.130) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの単語 (p.130) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
14 確認テスト	事前学習: Unit 7からUnit 12の英文を繰り返し読んでおく。 事後学習: 分からなかった問題を出来る様にしておく。	1
15 まとめと会話練習・必要なら講師アンケートを実施	事前学習: 前期で学習した項目の不明点を確認しておく。 事後学習: 授業中に確認した内容を復習しておく。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0029	現代社会の課題A	加藤 智樹	集中	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 大学コンソーシアム市川の5大学連携科目。かつて下総国の国府が置かれた歴史のある町である一方、東京近郊に位置するため現代社会のさまざまな課題が見えてくるのが市川市である。現代社会の抱える諸問題を市川市の実情に照らして考察していく。現代社会の課題Aでは「市川学Ⅰ」を開講する。いずれかの科目15時間を履修し単位を修得することで、本学「現代社会の課題A」に読み替える。講師及び講座内容が決定後、大学コンソーシアム市川としてシラバスを公開する。 なお、昨年度に開講された市川学Bについても同様とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題をまとめる。	受講態度	50	5	各講師の要求レベルを完全に満たす。			
				4	各講師の要求レベルをおおむね満たす。			
				3	各講師の要求レベルに達する。			
				2	各講師の要求レベルにやや届かない。			
				1	各講師の要求レベルに届かない。			
社会人基礎スキル	地域社会におけるさまざまな課題を理解する。	レポート	50	5	学習内容を充分にふまえたレポートを作成する。			
				4	学習内容をおおむねふまえたレポートを作成する。			
				3	学習内容をふまえたレポートを作成する。			
				2	学習内容を充分にふまえたレポートではない。			
				1	レポートが作成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 担当講師がそれぞれ指示する。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
2 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
3 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
4 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
5 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
6 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
7 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
8 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
9 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
10 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
11 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
12 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
13 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
14 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
15 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0030	現代社会の課題B	加藤 智樹	集中	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>大学コンソーシアム市川の5大学連携科目。かつて下総国の国府が置かれた歴史のある町である一方、東京近郊に位置するため現代社会のさまざまな課題が見えてくるのが市川市である。大学コンソーシアム市川では、現代社会の抱える諸問題を市川市の実情に照らして考察していく。現代社会の課題Bでは「市川学Ⅱ」を開講する。15時間を履修し単位を修得することで、本学「現代社会の課題B」に読み替える。講師及び講座内容が決定後、大学コンソーシアム市川としてシラバスを公開する。 なお、昨年度に開講された市川学Aについても同様とする。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題をまとめる。	受講態度	50	5	各講師の要求レベルを完全に満たす。			
				4	各講師の要求レベルをおおむね満たす。			
				3	各講師の要求レベルに達する。			
				2	各講師の要求レベルにやや届かない。			
				1	各講師の要求レベルに届かない。			
社会人基礎スキル	地域社会におけるさまざまな課題を理解する。	レポート	50	5	学習内容を充分にふまえたレポートを作成する。			
				4	学習内容をおおむねふまえたレポートを作成する。			
				3	学習内容をふまえたレポートを作成する。			
				2	学習内容を充分にふまえたレポートではない。			
				1	レポートが作成できない。			
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 担当講師がそれぞれ指示する。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介する。</p>								
【その他】								
提出物のフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
2 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
3 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
4 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
5 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
6 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
7 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
8 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
9 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
10 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
11 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
12 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
13 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
14 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
15 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0032	ICT概論	阿久津 毅	後期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 現代社会においては、フィンテックに代表されるようにICT技術が各分野で活用されている。本授業では、人工知能やロボティクスなど各分野で利用されている事例を紹介しながら授業を進めていく。またニュースなどで取り上げられている事例も適宜取り上げていく。そのうえで、事例の理解に必要なアルゴリズムなどプログラムに関する基礎知識、セキュリティに関する最新情報を学び、今後の社会生活に必要な社会人としての思考力を養っていくことを目的とする。また、授業にはICT機器を利用した参加型授業を行うことがある。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ICT社会に必要な基礎知識を身につけ自分の意見を論じることが出来る。	レポート	20	5	自分の意見を論理的に正しい文章表現にて表現することが出来る。			
				4	自分の意見を論理的または正しい文章表現にて表現することが出来る。			
				3	自分の意見を表現することが出来る。			
				2	自分の意見を表現することが出来ない。			
				1	自分の意見をもたない。			
向上心・責任感	メディアを活用し、最新の情報を取得し、授業内容を深めることが出来る。	受講態度	80	5	授業の内容を理解し、新たな情報を加え情報を持つことが出来る。			
				4	授業の内容を理解し、情報を持つことが出来る。			
				3	授業以外の情報を自ら積極的に持つことが出来る。			
				2	授業以外の情報を持つことが出来る。			
				1	情報をもたない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 利用せず 参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可								
【その他】 授業内容について、Microsoft365を利用したFormsなどによる意見・感想を出してもらい、そのデータをもとに、次回授業においてフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 インターネット通信について	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
2 IOT (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
3 IOT (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
4 AIでなくなる仕事、残る仕事 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
5 AIでなくなる仕事、残る仕事 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
6 AIでなくなる仕事、残る仕事 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
7 AIでなくなる仕事、残る仕事 (5)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
8 AIでなくなる仕事、残る仕事 (6)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
9 ロボットとは (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
10 ロボットとは (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
11 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
12 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
13 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
14 コンピュータセキュリティ	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
15 まとめ	事前学習： 1 4 回までの授業の復習 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0033Q	こどもとプログラミング	菅沼恵子	集中	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）教育で、探求と創造のサイクルを生み出す分野横断的な学びを体験することによって、実践的な問題に対処する総合的な視野を身につけることができます。あわせて、AI時代に必要なプログラミング的思考の基本を理解します。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	グループ学習においてチームで働く力、前向きに踏み出す力が身につく	受講態度	60	5	積極的に参加し、90%以上の成果が出る			
				4	積極的に参加し、80%以上の成果が出る			
				3	参加し、70%以上の成果が出る			
				2	やや消極的な参加ではあるが、60%以上の成果が出る			
				1	消極的な参加で、成果が出ない			
実践力	簡単なプログラムでアート作品やゲームを作る過程で総合的な視点をもつ実践力が身につく	作品	20	5	作品の完成度が90%以上			
				4	作品の完成度が80%以上			
				3	作品の完成度が70%以上			
				2	作品の完成度が60%程度			
				1	作品の完成度が60%未満			
向上心・責任感	グループワークにおける自己の役割を理解し、責任を果たす力が身につく	レポート	20	5	レポートとしての完成度が90%以上			
				4	レポートとしての完成度が80%以上			
				3	レポートとしての完成度が70%以上			
				2	レポートとしての完成度が60%程度			
				1	レポートとしての完成度が60%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用せず								
参考書： 配布資料								
【その他】								
制作物について発表、講評を行う。レポートのフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 プログラミングって何?	事前学習： プログラミングの意味、イメージについて考える 事後学習： 順番のある活動についてまとめる	4
2 アンブラグドプログラミング	事前学習： マス目迷路案を考える 事後学習： 失敗とやり直しから改善点をまとめる	4
3 Pythonを使ったお絵かきの基本	事前学習： Pythonの特徴について調べる 事後学習： 授業で未完成の部分を行う	4
4 Pythonを使ったお絵かきの応用	事前学習： 事前準備を行う 事後学習： 授業で未完成の部分を行う	4
5 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ1	事前学習： Scratchについて調べる 事後学習： 授業で未完成の部分を行う	4
6 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ2	事前学習： 事前準備を行う 事後学習： 授業で未完成の部分を行う	4
7 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ3	事前学習： 事前準備を行う 事後学習： 授業で未完成の部分を行う	4
8 ゲームの完成と発表	事前学習： 事前準備を行う 事後学習： 自己評価をする	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0035	生命科学概論	加藤 智樹	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
「生命」とは？「生きている」とは？生命についての身近なニュース・話題をとりあげ、生物学的・解剖生理学的な基礎知識を学びながら、生命や生命倫理について理解し、生命科学についての探求心を養う。自分自身も「生命体」であることを認識し、生きている意味・意義について調べ、まとめられる能力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	大学生・社会人としての教養・マナーを身につける	レポート	50	5	基本的な知識を積極的に身につけようと努力し、十分な結果を出す。			
				4	基本的な知識を積極的に身につけようと努力し、おおむね結果を出す。			
				3	基本的な知識を身につけようと努力し、おおむね結果を出す。			
				2	基本的な知識を身につける姿勢が消極的である。			
				1	基本的な知識が身につけていない。			
向上心・責任感	自己理解を深め、課題をまとめられる。	レポート	50	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を提出できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を提出できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を提出できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出できる。			
				1	課題を提出できない。			
【教科書・参考書】								
教科書： 必要に応じて資料プリントを配布(電子ファイルの場合もある)								
参考書： 必要に応じて紹介する								
【その他】 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと レポートの内容と締め切りについては講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 はじめに/生命の最小単位・細胞①	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 生命の最小単位・細胞②	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 DNA・遺伝子・タンパク合成①	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 DNA・遺伝子・タンパク合成②	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 生態系・生命と進化①	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 生態系・生命と進化②	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 生態系・生命と進化③	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 生態系・生命と進化④	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 生態系・生命と進化⑤	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 生態系・生命と進化⑥	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 生命倫理・医療倫理①	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 生命倫理・医療倫理②	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 生命倫理・医療倫理③	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 まとめと振り返り① (最終レポート作成)	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 まとめと振り返り② (最終レポート作成)	事前学習： 授業内容に関する用語を各自調べておく 事後学習： 授業内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NB0001	化学	守田 麻由子	前期	必修	講義	2	×	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>人体には原子や分子から生体高分子までさまざまな物質があり、外部からの栄養素と化学反応して人間の活動の原動力となる。この講義では最小単位の原子から、徐々に物質を大きく捉え、高分子化合物まで学ぶ。また、人体で生じる化学反応や酸化還元などの現象を理解する。人体の内部で起きている事象を化学の視点から理解できるようにする。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	基礎的な化学の知識を身につける。	確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
	化学が食品の機能や人体の構造においてどのように役立ち、関わっているか理解する。	確認テスト	20	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	物質の化学特性を理解し、食品や人体との関わりを理解する。	確認テスト	30	5	課題の評価点が90%以上			
				4	課題の評価点が70%以上90%未満			
				3	課題の評価点が50%以上70%未満			
				2	課題の評価点が30%以上50%未満			
				1	課題の評価点が30%未満			
	物質の化学特性を理解し、食品や人体との関わりを理解する。	レポート	20	5	課題に対し、科学的根拠に基づいて食品や人体との関わりを論理的に述べられている。			
				4	課題に対し、食品や人体との関わりを論理的に述べられている。			
				3	課題に対し、食品や人体との関わりが述べられている。			
				2	課題の内容が理解できている。			
				1	課題について、述べられていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 有井康博『食と栄養を学ぶための化学』（化学同人）								
参考書： 小野廣紀『基礎トレーニングドリル』（化学同人）、プリント配布								
【その他】								
確認テストおよびレポートの返却、授業内での解説によるフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 化学とは	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
2 物質とは:原子と分子、元素の種類と性質	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
3 化学結合	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
4 物質量とモル	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
5 物質の状態変化:水の化学	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
6 熱化学:エネルギー	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
7 酸と塩基 確認テスト	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
8 酸化と還元:化学反応とは	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
9 反応速度と化学平衡	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
10 非金属元素と典型金属元素、遷移金属元素:ミネラル 確認テスト	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
11 有機化学とは:炭化水素から高分子化合物まで	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
12 炭水化物	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
13 脂質	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
14 アミノ酸とタンパク質 確認テスト	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4
15 その他の有機化合物:核酸、ビタミン	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 講義で学んだことを整理し、内容をノートにまとめる	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NB0002	生物学	加藤 智樹	前期	必修	講義	2	○	1
[授業のねらい及び身につく能力] 食物栄養分野および医療福祉分野を学ぶ上で必要となる生物学的な知識を学び、細胞・組織を中心に構造と機能について理解する。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目にどのように繋がっていくのかを理解する。								
[学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法]								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食物栄養分野および医療福祉分野を学ぶ上で必要となる生物学的な知識を学ぶ	確認テスト	50	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	習得した知識が今後学んでいく専門科目にどのように繋がっていくのかを理解する	レポート	50	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題に積極的に取り組みが8割未満である。			
[教科書・参考書] 教科書: 古庄律 他 「ヒトと栄養の基礎を学ぶやさしい生物学—地球誕生から細胞・遺伝子まで—」(建帛社) 参考書: 坂井建雄 「系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能 I 解剖生理学 第11版」(医学書院) 小野章史編著 「めざせ!栄養士・管理栄養士 まずはここからナビゲーション 第3版」(第一出版)								
[その他] 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習をしてから授業に臨み、授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと。確認テストの実施日程は講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 食料栄養と医療福祉を学ぶための生物学 はじめに/生物・無生物/原核細胞・真核細胞	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 細胞の構造と機能① 細胞膜・細胞内小器官/DNAとタンパク質/代謝とエネルギー①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 細胞の構造と機能② 細胞膜・細胞内小器官/DNAとタンパク質/代謝とエネルギー②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 細胞の構造と機能③ 細胞膜・細胞内小器官/DNAとタンパク質/代謝とエネルギー③	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 まとめ①(1回～4回の復習) 確認テスト①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 組織と器官(人体を例に)① 消化器系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 組織と器官(人体を例に)② 呼吸器系・循環器系①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 組織と器官(人体を例に)③ 循環器系②・血液系・泌尿器系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 組織と器官(人体を例に)④ 運動器系・神経系①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 恒常性の維持(人体を例に)① 内分泌(ホルモン)系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 まとめ②(6回～10回の復習) 確認テスト②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 種の保存 生殖器系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 恒常性の維持(人体を例に)② 神経系②(自律神経系)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 免疫(生体防御の仕組み)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総復習(1回～14回の復習) 確認テスト③	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NB0003	基礎の科学	飛松 聡	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 栄養士において栄養素量の算出や塩分濃度、廃棄率などの計算は必須の能力である。また、専門科目ではそれらの計算能力を使った知識、技術の修得を行っていく。そのため、本科目においては基本的な計算能力の振り返り、または苦手意識の克服を行い、円滑に専門科目を修得するための基盤を構築する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	専門科目修得に必要な計算や 関連する知識を身につける	確認テスト	70	5	専門科目修得に必要な計算や関連する知識が8割以上理解できている。			
				4	専門科目修得に必要な計算や関連する知識がほぼ7割理解できている。			
				3	専門科目修得に必要な計算や関連する知識がほぼ6割理解できている。			
				2	専門科目修得に必要な計算や関連する知識の理解が5割以下である。			
				1	専門科目修得に必要な計算や関連する知識がほとんど身につけていない。			
向上心・責任 感	授業で学んだ知識と技術を活用して、 課題に積極的に取り組む	受講態度	30	5	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、課題に積極的に取り組むことができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を活用して、課題に積極的に取り組むことができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用して、課題に取り組むことができる。			
				2	授業で出された課題への取り組みが消極的である。			
				1	授業で出された課題への取り組みがほとんどできていない。			
【教科書・参考書】 教科書： 小野 廣紀他「栄養士・管理栄養士をめざす人の基礎トレーニングドリル」化学同人 参考書：								
【その他】 課題提出後と確認テスト終了後にフィードバックを行う。 授業では、SJCeラーニングも利用する。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 はじめに（eラーニングの確認）	事前学習： eラーニングを進める 事後学習： 授業内容の復習	4時間
2 重さと単位	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
3 図形、面積、体積、容積	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
4 計算の決まり	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
5 少数の計算 確認テスト	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
6 分数の計算	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
7 平均、単位量当たりの大きさ	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
8 割合の計算	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
9 比の計算	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
10 比重の計算 確認テスト	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
11 調理で用いる計算（調味%）	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
12 調理で用いる計算（廃棄、発注）	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
13 電卓を用いた計算①	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
14 電卓を用いた計算② 確認テスト	事前学習： 前回の授業で出された事前課題に取り組む 事後学習： 授業内で出された課題に取り組む	4時間
15 まとめ	事前学習： これまでの授業内容を振り返る 事後学習：	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0001	公衆衛生学	加藤 智樹	後期	必修	講義	2	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕								
公衆衛生学は、地域社会の活動を通じて疾病を予防し、健康寿命の延伸や肉体的・精神的健康の増進をはかる科学である。公衆衛生学の社会における役割、我が国における健康についての問題やその対策、制度について理解を深める。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がっていくのかを理解する。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につける	受講態度	20	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題に積極的に取り組みが8割未満である。			
専門的知識・技術	公衆衛生学の社会における役割、我が国における健康についての問題やその対策、制度について理解を深める。	確認テスト	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がっていくのかを理解する。	レポート	40	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
〔教科書・参考書〕								
教科書: 中村信也『Nブックス 5訂 公衆衛生学』(建帛社)								
参考書: 安藤雄一、他「公衆衛生がみえる 2022—2023」(メディックメディア)								
〔その他〕 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習してから授業に臨み、授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと。確認テストの実施日程は講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 公衆衛生とは何か/公衆衛生の発展過程/健康の定義/病因論	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 健康増進の施策/生活習慣病と疾病予防①(悪性腫瘍)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 まとめ①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 健康増進の施策/生活習慣病と疾病予防②(糖尿病/脳血管障害/その他)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 医療倫理/臓器移植	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 感染症と感染予防	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 学校保健/母子保健	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 成人保健/高齢者保健	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 産業保健	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 障がい者保健	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 まとめ②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 健康危機管理/環境衛生	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 寿命/生命科学/人口	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 疫学と研究デザイン	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総復習(1回～14回の復習)	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0002	社会福祉概論	篠沢 薫	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>本科目では、社会福祉の基礎的知識を学び、現代における社会問題や個人の課題の解決に向けた援助のあり方を考察し提案する力を身につけることをねらいとする。また、栄養士として人間生活の土台を支えるために、社会福祉の領域と栄養士業務との関わり合いについても考えながら人間理解につなげる力を身につける。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	社会福祉の基礎的知識を身につける。	確認テスト	70	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
思考力	社会福祉に関わる取り組みが求められる背景を理解し、現代における社会問題等に対する福祉的な考え方を身につける。	受講態度	30	5	授業内容を理解した上で説明ができ、授業の欠席が2回以下である。			
				4	授業内容を理解した上である程度の説明ができ、授業の欠席が3回である。			
				3	授業内容を理解した上で説明しようとする意欲があり、授業の欠席が4回である。			
				2	授業内容を理解し、授業の欠席が5回である。			
				1	授業内容を理解しておらず、授業の欠席が6回以上である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 「七訂 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉」岩松珠美・三谷嘉明編 みらい (2025)</p> <p>参考書： 適宜資料を配布する。</p>								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
<ul style="list-style-type: none"> ・課題等のフィードバックを授業内で行う。 ・栄養士課程の必修科目である。 								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 食と社会福祉	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 社会福祉とは	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 社会福祉の意味と対象	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 生活と社会保障① (社会保障の全体像と社会保険制度)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 生活と社会保障② (社会保障関連制度)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 公的扶助	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 高齢者の福祉	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 子どもと家庭の福祉	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 障害者の福祉	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 地域の福祉	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 利用者本位の社会福祉	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 社会福祉における援助方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 社会福祉施設	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 保健・医療・福祉分野における多職種連携	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 社会福祉に関する現状と課題 (知識の定着、概念の理解、確認テスト)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 確認テストで分からなかった部分は教科書や参考資料を読む。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NC0003	健康科学概論	加藤 智樹	後期	選択	講義	2	○	1
[授業のねらい及び身につく能力] 生活習慣病や自己免疫疾患などの発病メカニズムについて学び、予防と健康管理について知る。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一般指導員認定資格にどのように繋がっていくかを理解する。								
[学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法]								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一般指導員認定資格にどのように繋がっていくかを理解する。	レポート	50	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
専門的知識・技術	生活習慣病や自己免疫疾患などの発病メカニズムについて学び、予防と健康管理について知る。	レポート	50	5	人体の構造・機能・病態と健康管理に関する知識を用いて仕上げ、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	人体の構造・機能・病態と健康管理に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	人体の構造・機能・病態と健康管理に関する知識をレポートにおおよそ記載することができる			
				2	健康管理に関する一般知識をレポートに記載している			
				1	レポートに必要な知識が記載されていない			
【教科書・参考書】								
教科書: 「健康管理士一般指導員テキスト」(日本成人病予防協会)								
参考書: 随時紹介する								
[その他] 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習をしてから授業に臨み、授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								
健康管理士一般指導員の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 健康の概念	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 生活習慣病の基礎知識①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 生活習慣病の基礎知識②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 まとめ①(1回～5回の復習)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 生活習慣病の基礎知識③	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 生活習慣病の基礎知識④	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 生活習慣病の基礎知識⑤	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 栄養と健康/病気と栄養/運動と栄養①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 栄養と健康/病気と栄養/運動と栄養②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 まとめ①(1回～5回の復習)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 時間栄養学/食育	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 食の安全と環境	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 体を守る薬の役割/東洋医学	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 心の健康管理	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総復習(1回～14回の復習)	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0004	解剖学	加藤 智樹	前期	選択	講義	2	○	1
[授業のねらい及び身につく能力] 食物栄養分野や医療福祉分野における専門科目の基礎知識として重要な「人体の構造(形態)と機能(はたらき)」について理解する。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目にどのように繋がっていくのかを理解する。								
[学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法]								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食物栄養分野や医療福祉分野における専門科目の基礎知識として重要な「人体の構造(形態)と機能(はたらき)」について理解する。	定期試験	50	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	習得した知識が今後学んでいく専門科目にどのように繋がっていくのかを理解する	レポート	50	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題に積極的に取り組みが8割未満である。			
【教科書・参考書】								
教科書： 志村二三夫他編「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版」(羊土社)								
参考書： 坂井建雄「系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能 I 解剖生理学 第11版」(医学書院) 渡辺皓編集「新訂版図解ワンポイント 解剖学 第2版」(サイオ出版)「NEXTシリーズ解剖生理学」(講談社)								
[その他] 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習をしてから授業に臨み、授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと。確認テストの実施日程は講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								
健康管理士一般指導員の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 解剖学基本用語/人体を構成する四大組織/運動器① (骨・関節系)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 運動器②(筋系)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 まとめと確認テスト①(1回～2回)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 消化器系①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 消化器系②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 呼吸器系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 循環器系・血液系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 泌尿器系内分泌(ホルモン)系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 まとめと確認テスト②(3回～8回)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 内分泌(ホルモン)系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 生殖器系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 神経・感覚器系①	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 神経・感覚器系②	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 免疫系	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総復習(1回～14回の復習) 確認テスト	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0005	栄養生理学(含運動生理学)	栗岡優希	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 本科目では解剖学、生化学および基礎栄養学等あらゆる科目の内容を踏まえて、様々な栄養素が関連する臓器でどのような生理過程を経て体内で利用されるかについて総括的に学ぶ。また、運動に伴って生じる生体内での生理反応と栄養の関連についての知識を習得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	生理学的事柄と食事・栄養素、運動との関連について、基本的な知識を習得することができる	確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
	生理学的事柄と食事・栄養素、運動との関連について、基本的な知識を習得することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	栄養に関わる生理反応を目的に合わせて説明でき、対象を取り巻く環境に考慮した食の在り方を考察できる	レポート	40	5	テーマに合った内容について論理的整合性を持って多角的に考察し、明確に記載している			
				4	テーマに合った内容について多角的に考察し、明確に記載している			
				3	テーマに合った内容について考察を記載している			
				2	栄養に関する内容について自分の考えを記載している			
				1	書式に従って記載している			
	栄養に関わる生理反応を目的に合わせて説明でき、対象を取り巻く環境に考慮した食の在り方を考察できる	定期試験	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
【教科書・参考書】								
教科書： 授業内で適宜、配布する								
参考書： 高松薫、山田哲雄編「Nブックス三訂運動生理・栄養学」（建帛社）								
【その他】								
確認テスト等のフィードバックを行う 必ず予習をしてから授業に臨むこと(毎回の授業の最後に次回授業に関する教科書の該当箇所を連絡)								
栄養士課程の必修科目 健康管理士一般指導員の必修科目								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
授業説明(今まで学んできた内容との関連について)	事前学習: 既修得科目のうち代謝、人体の構造に関連する教科書を復習する	
1 人間と動物との栄養生理機能の比較 1	事後学習: 講義内容を振り返る	
2 人間と動物との栄養生理機能の比較 2	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
3 人間と動物との栄養生理機能の比較 3	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
4 発達や加齢に伴う栄養生理機能 1 (1~3) 確認テスト①	事前学習: 配布物の該当箇所を読む、第1回から第3回までの総復習をする	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
5 発達や加齢に伴う栄養生理機能 2	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
6 発達や加齢に伴う栄養生理機能 3	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
7 発達や加齢に伴う栄養生理機能 4	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
8 発達や加齢に伴う栄養生理機能 5 (5~8) 確認テスト②	事前学習: 配布物の該当箇所を読む、第5回から第8回までの総復習をする	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
9 運動と栄養生理 健康・体力づくりの意義と効用 1	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
10 運動と栄養生理 健康・体力づくりの意義と効用 2	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
11 運動と栄養生理 運動・トレーニングと身体の応答 1	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
12 運動と栄養生理 運動・トレーニングと身体の応答 2	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
13 運動と栄養生理 トレーニングと食生活 1	事前学習: 配布物の該当箇所を読む	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
14 運動と栄養生理 トレーニングと食生活 2 (9~14) 確認テスト③	事前学習: 配布物の該当箇所を読む、第9回から第14回までの総復習をする	
	事後学習: 講義内容を振り返る	
15 まとめ	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする	
	事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0011	生化学	守田 麻由子	後期	選択	講義	2	×	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
生体成分や機能生体を構成する成分について、その化学構造と機能、遺伝子の発現と調節などを学び、正常な人体の仕組みとその維持について分子レベルおよび遺伝子レベルで理解を深め、専門的知識を身につける。また、栄養に関する化学物質を中心に代謝の相互関連、恒常性の維持についての理解を深める。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品・栄養分野での生化学の 基本的・専門的知識を身につ ける。	確認テスト	30	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	栄養に関わる物質について、 構造や機能、体内での相互関 係、恒常性との関わりを理解 する。	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
		レポート	10	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 菫田勝 編『栄養科学イラストレイテッド生化学 第4版』（羊土社）								
参考書： 授業内で適宜指示する								
【その他】								
確認テストおよび課題の返却、授業内での解説によるフィードバックを行う。								
栄養士課程の必修科目 健康管理士一般指導員の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 細胞の構造	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
2 糖質の化学 脂質の化学	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
3 アミノ酸の種類とタンパク質の構造	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
4 ビタミン、ミネラル	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
5 糖質の代謝 ① 確認テスト ①	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
6 糖質の代謝 ②	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
7 脂質の代謝	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
8 アミノ酸の代謝	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
9 酵素の機能と構造 確認テスト ②	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
10 中間代謝の概要・生体エネルギー学	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
11 核酸と核酸の代謝	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
12 遺伝子発現とその制御	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
13 個体の調節とホメオスタシス	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
14 生体防御機構 確認テスト ③	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
15 アレルギー	事前学習: 教科書で予習する 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0009	解剖生理学実験	加藤 智樹	後期	選択	講義・実験	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 食物栄養分野や医療福祉分野で学ぶ知識を確認するとともに、生物・人体の組織・器官の構造観察や生理的計測法およびデータ処理などについてを学ぶ。学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目にどのように繋がっていくかを理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食物栄養分野や医療福祉分野で学ぶ知識を確認するとともに、生物・人体の組織・器官の構造観察や生理的計測法およびデータ処理などについてを学ぶ	レポート	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
コミュニケー ション力	習得した知識が今後学んでいく専門科目にどのように繋がっていくかを理解する	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションを取り、協力しながら臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に対して前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につける	レポート	40	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題に積極的に取り組みが8割未満である。			
【教科書・参考書】 教科書： 志村二三夫他編「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版」(羊土社) 参考書： 坂井建雄「系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能 I 解剖生理学 第11版」(医学書院)								
【その他】 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習をしてから授業に臨み、講義内レポートを提出すること。 授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと。確認テストの実施日程は講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。 栄養士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 はじめに/注意事項/運動器系(骨・関節・筋)の理解と観察①	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
2 運動器系(骨・関節・筋)の理解と観察②	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
3 消化器系の理解と観察①	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
4 消化器系の理解と観察②	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
5 呼吸器系の理解と観察/血液系の理解と観察	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
6 循環器系の理解と観察	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
7 泌尿器系の理解と観察	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
8 内分泌系の理解と観察/神経系の理解と観察①	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
9 神経系の理解と観察②	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
10 生殖器系の理解と観察	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
11 生理学実験① 呼吸器系・循環器系・血液系①	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
12 生理学実験② 呼吸器系・循環器系・血液系②	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
13 生理学実験③ 消化器系・感覚器系③	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
14 生物実験・解剖などに関する倫理	事前学習: 授業内容に関する基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	2時間
15 総復習 最終課題レポート	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	2時間

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 実験を安全に行うために 生化学実験の基礎、実験結果のまとめ方	事前学習: 生化学の講義や実験の心構えについて振り返る 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	2時間
2 アミラーゼに関する実験	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	2時間
3 生体成分の分析Ⅰ(糖質)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
4 生体成分の分析Ⅱ(脂質)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、結果を整理する	2時間
5 生体成分の分析Ⅲ(タンパク質)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、結果を整理する	2時間
6 肝臓グリコーゲンの分離	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
7 肝臓グリコーゲンの定量	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、結果を整理する	2時間
8 肝臓脂質の抽出	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、実験内容を整理する	2時間
9 肝臓総コレステロールの定量	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、実験内容を整理する	2時間
10 DNAの抽出	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
11 PCR	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、結果を整理する	2時間
12 PCR増幅産物の確認	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 返却されたレポートを見直し、レポートを作成する	2時間
13 酵素活性の測定	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、実験内容を整理する	2時間
14 酵素活性と阻害剤	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にして、実験内容を整理する	2時間
15 生化学実験のまとめ	事前学習: 実験の内容、結果をふりかえる 事後学習: 返却されるレポートを参考に、実験内容を振り返る	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0011	食品学総論	守田 麻由子	前期	必修	講義	2	×	1
【授業のねらい及び身につく能力】 食品に含まれる成分（栄養成分、嗜好成分、生理機能成分）種類や役割などを学び、おいしさや栄養に関わる、調理・加工・保存中に起こる食品成分の化学的変化および物理的変化について理解を深め、専門的知識を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品に含まれる成分と食品の 機能の関わりを認識する。	確認テスト	35	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	食品成分の特性と機能の関わり について理解する。	定期試験	25	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
		レポート	15	5	課題に対し、科学的根拠に基づいて特性と機能の関わりを論理的に述べている。			
				4	課題に対し、特性と機能の関わりを論理的に述べている。			
				3	課題に対し、特性と機能の関わりが述べられている。			
				2	課題の内容が理解できている。			
				1	課題について、述べられていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 水品義之、他／編『栄養科学イラストレイテッド食品学Ⅰ 改訂第2版』（羊土社） 参考書： 授業内で適宜指示する								
【その他】 確認テストおよびレポートの返却、授業内での解説によるフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 人間と食品	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
2 食品成分と機能性	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
3 たんぱく質・アミノ酸	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
4 炭水化物(糖質、食物繊維)	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
5 脂質	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
6 ビタミン	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
7 ミネラル(無機質)・核酸	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
8 水分 確認テスト ①	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
9 色素成分・呈味成分	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
10 香り・におい成分、有害成分	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
11 食品の三次機能	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
12 食品成分の変化 ① (炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン)	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
13 食品成分の変化 ② (相互作用、褐変、酵素反応など)	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
14 食品の物性 確認テスト ②	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
15 食品の表示と規格基準	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0012	食品学各論	栗岡優希	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品の種類と各食品の機能性(栄養機能、嗜好機能、生理機能)についての知識を習得する。また、食品の貯蔵や加工における素材別の特性と成分変化について学び、専門的知識を身につける。食品特性を考慮することで食品成分表などの専門書を的確に活用できる思考力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品素材と栄養の関わりを認識することができる	確認テスト	20	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
専門的知識・ 技術	食品素材と栄養の関わりを認識することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	食品素材の成分特性と加工特性について理解することができる	確認テスト	20	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	食品素材の成分特性と加工特性について理解することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
【教科書・参考書】								
教科書： 栢野新市他 編「栄養科学イラストレイテッド 食品学Ⅱ 改定第2版」(羊土社)								
参考書： 授業内で適宜紹介する								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
確認テスト等のフィードバックを行う 必ず予習をしてから授業に臨むこと(毎回の授業の最後に次回授業に関する教科書の該当箇所を連絡)								
栄養士課程の必修科目 フードコーディネーター3級の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 授業説明、食品の分類、食品成分表	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
2 植物性食品の分類と成分①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
3 植物性食品の分類と成分②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
4 植物性食品の分類と成分③	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
5 植物性食品の分類と成分①から③のまとめ	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
6 動物性食品の分類と成分① 確認テスト①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第1回から第5回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
7 動物性食品の分類と成分②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
8 動物性食品の分類と成分③	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
9 動物性食品の分類と成分①から③のまとめ	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
10 油脂の分類と成分 確認テスト②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第6回から第9回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
11 調味料類、香辛料類、嗜好飲料類 加工食品	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
12 微生物利用食品	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
13 油脂/調味料類・香辛料類・嗜好飲料類/ 微生物栄養食品のまとめ	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
14 食品の加工と保蔵 確認テスト③	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第10回から13回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
15 まとめ	事前学習： 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習： 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0014	食品衛生学	佐藤 陽子	後期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品の安全性を確保するために必要な法規や制度、衛生管理の基礎を理解し、食品のリスクに対応する力を養うことを目的とする。併せて、病原性微生物や有害物質による食品汚染とその防止策、食品添加物の種類・用途・安全性について学び、科学的根拠に基づいて食品の安全性を判断できる能力を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品衛生に関わる法規を理解する。食品衛生に関わる事故に対する衛生管理や安全性を評価する方法を理解する	確認テスト	30	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	40	5	定期試験の評価点が90%以上			
				4	定期試験の評価点が70%以上90%未満			
				3	定期試験の評価点が50%以上70%未満			
				2	定期試験の評価点が30%以上50%未満			
				1	定期試験の評価点が30%未満			
思考力	学習したことに基いて、レポートを適切な言葉、表現で書くことができる	レポート	15	5	テーマに沿った内容でキーワードを適切に使用して概要と考察が明確に書けている			
				4	テーマに沿った内容で自分の意見を述べながらレポートが書けている			
				3	テーマに沿った内容であるが、考察ができていない			
				2	レポートの内容に不足があり、量的にも不足している			
				1	レポートのテーマを適切に捉えることができず、文章力に欠ける			
	定期試験	20	5	定期試験の評価点が90%以上				
			4	定期試験の評価点が70%以上90%未満				
			3	定期試験の評価点が50%以上70%未満				
			2	定期試験の評価点が30%以上50%未満				
			1	定期試験の評価点が30%未満				
【教科書・参考書】								
教科書： 田崎達明／編 『栄養科学イラストレイテッド 食品衛生学 第3版』								
参考書：								
【その他】								
確認テスト、レポートのフィードバックを行う								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 食品衛生と法規Ⅰ 食品衛生の定義 食品安全基本法	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
2 食品衛生と法規Ⅱ 食品衛生に関連する法規、食品衛生にかかわる組織	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
3 食品と微生物 分類、食品への関与、制御方法	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
4 食品の変質	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
5 食中毒Ⅰ【確認テスト①】 定義、発生状況	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
6 食中毒Ⅱ 細菌性食中毒	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
7 食中毒Ⅲ ウイルス性食中毒、寄生虫による食中毒、人畜共通感染症	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
8 食中毒Ⅳ 化学物質による食中毒、動物性食中毒、植物・真菌性食中毒	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
9 食品中の汚染物質【確認テスト②】	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
10 食品衛生管理Ⅰ 一般衛生管理とHACCP	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
11 食品衛生管Ⅱ 国際標準化機構 (ISO)	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
12 食品表示制度Ⅰ 食品表示法	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
13 食品表示制度Ⅱ 保険事項に関する食品表示基準、保健機能食品	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
14 食品添加物および残留農薬Ⅰ【確認テスト③】 定義、安全性評価、分類	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間
15 食品添加物および残留農薬Ⅱ 農薬、器具および容器包装、遺伝子組換え食品とゲノム編集食品	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0015	食品学実験	守田 麻由子	後期	選択	実験	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品分析に関する基礎的な定性実験・定量実験を通して、食品成分の化学的特性と分析方法を習得する。食品の一般成分分析を通して、専門的知識を身につけるとともに、日本食品標準成分表の理解を深める。実験終了後、結果の整理やグループ討論、レポート作成を行い、課題や考察に対する思考力、論理的思考力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品分析に必要な基本的な知識と実験操作を習得する。	レポート	40	5	実験テーマにおける操作や結果が適切にまとめられ、十分な情報が提供されている			
				4	実験テーマにおける操作や結果が適切にまとめられている			
				3	実験テーマにおける操作や結果がほぼ適切にまとめられている			
				2	実験テーマにおける操作や結果に不備がみられる			
				1	レポートの構成が整っていない			
思考力	実験で得られたデータをまとめ、論理的に表現する。	レポート	45	5	実験テーマ、課題に対し、論理的統合性を持ち、多角的に考察している			
				4	実験テーマ、課題に対し、ほぼ論理的統合性を持った考察を加えている			
				3	実験テーマ、課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	実験テーマ、課題に対する結果を述べることができる			
				1	レポートの形式が整っていない			
コミュニケーション力	正しい身だしなみで実験に臨み、班員と協力して実験を遂行できる。	受講態度	15	5	積極的にコミュニケーションを取り、協力しながら臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に対して前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
【教科書・参考書】								
教科書： プリントを配布する								
参考書： 授業内で適宜指示する								
【その他】								
レポート返却によりフィードバックを行う。実験時間内は白衣を着用すること。実験内容および順序は都合により一部変更になることがある。								
栄養士課程の必修科目 健康管理士一般指導員の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 実験を安全に行うために 標準溶液の調製	事前学習： 食品学総論の講義や実験の心構えについて振り返る 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして、ノートを整理し、内容をまとめる	2時間
2 標準溶液の標定 実験レポートの書き方①	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、実験内容をまとめる	2時間
3 有機酸の定量 実験レポートの書き方②	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： レポートを作成する	2時間
4 水の硬度測定	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、実験内容をまとめる	2時間
5 カルシウムの測定	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： レポートを作成する	2時間
6 たんぱく質の分離	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理する	2時間
7 たんぱく質の定量 検量線の書き方、使い方	事前学習： 実験の手順を確認しておく。 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理する	2時間
8 水分と粗灰分の定量	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： レポートを作成する	2時間
9 リンの定量	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、実験内容をまとめる	2時間
10 鉄の定量	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、実験内容をまとめる	2時間
11 還元糖の定量	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、レポートを作成する	2時間
12 ビタミンCの定量	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、レポートを作成する	2時間
13 油脂の性状～ヨウ素価の測定～	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、レポートを作成する	2時間
14 非酵素的褐変反応	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 授業での板書やプリントを参考にして結果を整理し、レポートを作成する	2時間
15 実験のまとめ	事前学習： 実験の手順を確認しておく 事後学習： 返却されるレポートを参考に、実験内容を振り返る	2時間

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション (実験の概要、実験器具・培地の取り扱いについて)	事前学習: 食品衛生学の講義や実験の心構えについて振り返る 事後学習: 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	2時間
2 微生物検査① (生活環境の細菌検査)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
3 微生物検査② (空中落下菌、手指の検査)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
4 微生物検査③ (殺菌、抗菌の評価)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
5 微生物検査④ (食品中の生菌数、ふき取り検査)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
6 食品洗浄検査① (残留物の検査)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
7 食品洗浄検査② (中性洗剤と殺菌料の簡易検出)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
8 食品添加物① (着色料の検出)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
9 食銀添加物② (発色剤の検出)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
10 魚肉の鮮度試験① (ヒスタミンの検出)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
11 食品の変質① (揮発性塩基窒素試験と卵の鮮度試験)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
12 食品の変質② (油脂の酸敗)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
13 魚肉の鮮度試験② (K値の測定)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
14 食物アレルギー (アレルゲンの検出)	事前学習: 実験の手順を確認しておく 事後学習: レポートを作成する	2時間
15 実験のまとめ	事前学習: 実験の内容、結果をふりかえる 事後学習: 返却されるレポートを参考に、実験内容を振り返る	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0017	基礎栄養学 I	栗岡優希	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 食事によって得られた栄養素が体の中でどのように利用されるかを理解し、食事と健康が密接につながっていることを学ぶ。 五大栄養素の栄養学的機能、体中での消化、吸収、代謝の一連の流れを理解することで、基礎栄養学Ⅱの学習内容である体内における詳しい代謝の学びにつなげていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	五大栄養素それぞれの栄養学的機能、体中での消化、吸収、代謝の一連の流れを理解することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
専門的知識・ 技術	五大栄養素それぞれの栄養学的機能、体中での消化、吸収、代謝の一連の流れを理解することができる	確認テスト	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	五大栄養素それぞれの栄養学的機能、体中での消化、吸収、代謝の一連の流れを理解し、食事と健康は密接につながっていることを正確に説明することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
【教科書・参考書】 教科書： 渡辺早苗・山田哲雄 他 編「スタンダード人間栄養学 基礎栄養学 第3版」(朝倉書店) 参考書： 小野章史編著「めざせ!栄養士・管理栄養士 まずはここからナビゲーション 第4版」(第一出版)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テスト等のフィードバックを行う 必ず予習をしてから授業に臨むこと(毎回の授業の最後に次回授業に関する教科書の該当箇所を連絡)								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 授業説明、栄養の概念・栄養素の働き・関連用語	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
2 消化と吸収①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
3 消化と吸収②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
4 炭水化物の栄養① 確認テスト①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第1回から第3回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
5 炭水化物の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
6 炭水化物の栄養③	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
7 タンパク質の栄養① 確認テスト②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第4回から第6回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
8 タンパク質の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
9 脂質の栄養①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
10 脂質の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
11 ビタミンの栄養 確認テスト③	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第7回から第10回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
12 ミネラル(無機質)の栄養	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
13 水のはたらき	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
14 エネルギー代謝 確認テスト④	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第11回から第13回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
15 まとめ	事前学習： 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習： 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0018	基礎栄養学 I	栗岡優希	後期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 基礎栄養学 I で学んだ内容を基に、各栄養素が消化、吸収された後の代謝を中心に栄養素の体内動態を学ぶ。また、水や電解質の体内における調節機能の仕組みについても学ぶ。 食事によって得られた栄養素が体の中で利用されるかを体系的に学び、栄養素の相互作用についての理解を深めることを目指す。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	各栄養素が消化、吸収された後の代謝を中心とした栄養素の体内動態、水や電解質の体内における調節機能の仕組みについて理解することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
専門的知識・ 技術	各栄養素が消化、吸収された後の代謝を中心とした栄養素の体内動態、水や電解質の体内における調節機能の仕組みについて理解することができる	確認テスト	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	各栄養素が消化、吸収された後の代謝を中心とした栄養素の体内動態、水や電解質の体内における調節機能の仕組みについて理解し、食事と健康は密接につながっていることを正確に説明することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
【教科書・参考書】 教科書： 渡辺早苗・山田哲雄 他 編「スタンダード人間栄養学 基礎栄養学 第3版」(朝倉書店) 参考書： 小野章史編著「めざせ!栄養士・管理栄養士 まずはここからナビゲーション 第4版」(第一出版)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テスト等のフィードバックを行う 必ず予習をしてから授業に臨むこと(毎回の授業の最後に次回授業に関する教科書の該当箇所を連絡)								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 授業説明、食物の摂取/消化・吸収と栄養素の体内動態	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
2 炭水化物の栄養①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
3 炭水化物の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
4 タンパク質の栄養① 確認テスト①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第1回から第3回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
5 タンパク質の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
6 脂質の栄養①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
7 脂質の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
8 エネルギー産生栄養素のまとめ	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
9 ビタミンの栄養① 確認テスト②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第4回から第8回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
10 ビタミンの栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
11 ミネラル(無機質)の栄養①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
12 ミネラル(無機質)の栄養②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
13 水と電解質の栄養	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
14 エネルギー代謝 確認テスト③	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第9回から第13回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
15 まとめ	事前学習： 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習： 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0019	ライフステージ栄養学	栗岡優希	後期	必修	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 新生児期から高齢期までの各ライフステージにおける生理的・身体的特徴および健康・栄養課題について学ぶ。また、運動時や特殊環境下でヒトの身体に起きる変化や健康・栄養課題についても学ぶ。 これらの学びを通して、ライフステージや環境に適した栄養管理を説明するための知識を習得することを旨とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	各ライフステージや運動時、 特殊環境下における栄養管理 について基本的な知識を習得 することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
専門的知識・ 技術	各ライフステージや運動時、 特殊環境下における栄養管理 について基本的な知識を習得 することができる	確認テスト	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	各ライフステージや運動時、 特殊環境下における栄養管理 について基本的な知識を習得 することができる	定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
【教科書・参考書】 教科書： 稲山貴代・小林三智子編「ライフステージ栄養学」(建帛社) 参考書： 柘下淳・上西一弘編「栄養科学イラストレイテッド 応用栄養学 改訂第2版」(羊土社) 渡邊令子他編「健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学 改定第7版」(南江堂)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的に書きください。 確認テスト等のフィードバックを行う 必ず予習をしてから授業に臨むこと(毎回の授業の最後に次回授業に関する教科書の該当箇所を連絡)								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 授業説明、 栄養マネジメント 加齢・成長・発達・老化	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
2 新生児期・乳児期の栄養管理①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
3 新生児期・乳児期の栄養管理②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
4 幼児期の栄養管理	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第1回から第3回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
5 学童期の栄養管理	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
6 思春期の栄養管理	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
7 新生児期から思春期の栄養管理のまとめ	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
8 妊娠期・授乳期の栄養管理① 確認テスト①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
9 妊娠期・授乳期の栄養管理②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第4回から第8回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
10 成人期・更年期の栄養管理①	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
11 成人期・更年期の栄養管理②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
12 高齢期の栄養管理	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
13 身体活動と栄養管理	事前学習： 教科書の該当箇所を読む 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
14 環境と栄養管理 確認テスト②	事前学習： 教科書の該当箇所を読む、第9回から第13回までの総復習をする 事後学習： 講義内容を振り返る	4時間
15 日本人の食事摂取基準	事前学習： 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習： 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0020	臨床栄養学概論	林 進	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>栄養士が保健、医療、福祉等の現場で活躍するには、疾病等の栄養状態の変化をとらえる栄養評価の技術と、傷病者に対する栄養や食事の配慮が必要です。そのためには、より実践的な栄養ケアを学ぶことが重要です。本授業では、大学病院栄養部で臨床業務に携わった教員が担当します。疾病の概念や成り立ちを説明し、それに合わせた栄養学的なアプローチ（必要栄養量の算出、疾病に合わせた望ましい献立例、分かりやすく理解しやすい栄養指導方法、それら実施後の評価と再評価の方法）など、具体例を示しながら栄養ケアの授業を実践します。</p>								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	講義で取り上げた疾病を説明 できる	定期試験	60	5	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが、十分に理解できている。			
				4	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが、ほぼ8割以上理解できている。			
				3	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが、概ね6～7割理解できている。			
				2	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法など理解不足が散見される。			
				1	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが理解できていない。			
専門的知識・ 技術	講義で取り上げた疾病を説明 できる	確認テスト	20	5	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが、十分に理解できている。			
				4	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが、ほぼ8割以上理解できている。			
				3	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが、概ね6～7割理解できている。			
				2	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法など理解不足が散見される。			
				1	疾病ごとの概念や成り立ち、診断基準・栄養食事療法などが理解できていない。			
思考力	講義を真面目に取り組むこと により、身についた知識や技術を使い、問題解決のための アプローチができる。	受講態度	20	5	講義をきちんと聴きノート等に取り付けている。質問もあり授業の取り組み方がとても真面目である。			
				4	講義をきちんと聴きノート等に取り付けている。質問は無いが授業の取り組み方は真面目である。			
				3	講義は聴いているがノート等に取り付けることが少ない。授業の取り組み方は普通である。			
				2	講義は聴いているがノート等を書いておらず、下を向き授業以外のことをやっている時がある。			
				1	講義を殆ど聴いておらずノート等にも書いていない。授業中の私語や居眠りが多い。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： エssenシャル臨床栄養学 第10版								
参考書： 適宜お知らせします								
【その他】								
課題や制作物等のフィードバックを行います。特に理解していただきたい「課題や確認テスト」は、授業時間内に解説・コメントを行いフィードバックします。 栄養士課程の必修科目、実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 臨床栄養学の意義と目的、医療と臨床栄養 医療制度の基本	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 333～366頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
2 栄養ケア・マネジメントの概要、栄養アセスメント 栄養状態の判定 病態生理と栄養食事療法	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 367～434頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
3 病態生理と栄養食事療法 食道・胃・腸疾患、1～3回授業の確認テスト(1)と解答	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 3～37頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
4 肝・胆・膵臓病疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 39～66頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
5 代謝・内分泌疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 67～104頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
6 糖尿病症例報告、4～6回授業の確認テスト(2)と解答	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 67～104頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
7 循環器、呼吸器疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 105～146頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
8 腎臓疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 147～183頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
9 腎臓疾患症例報告、7～9回授業の確認テスト(3)と解答	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 147～183頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
10 血液、免疫・アレルギー、感染症疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 185～218頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
11 骨・関節、歯科、栄養障害、心身症疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 219～248頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
12 外科(周術期)、小児疾患、10～12回授業の確認テスト(4)と解答	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 249～302頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
13 妊産婦・授乳婦疾患	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 303～312頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
14 高齢者疾患、13～14回授業の確認テスト(5)と解答	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 313～329頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間
15 食物と薬剤の相互作用 臨床検査値の見方	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 分からないところはノートに記入する 435～462頁 事後学習： 授業内容をノートにまとめる 配布資料等をファイリングし整理しておく	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0021	ライフステージ栄養学実習	佐藤 美紀	後期	選択	実習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
ライフステージ栄養学の講義を踏まえ、各ライフステージおよび様々な環境に応じた実践的栄養マネジメントを実施できることを目指す。ヒトの誕生、発達、成長、加齢、健康維持増進等、各ライフステージごとの対象者特性に適した献立の立案と供食する能力の獲得を目指す。担当者が病院等の栄養食事管理、指導の実務経験から得られた事例や実際の献立作成、調理の特徴をベースとして、各ライフステージの栄養管理、食事管理について講義を展開し、食事の計画および調理実習を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	ヒトの成長、加齢、健康維持増進を目的に、対象者の特性を理解する。	定期試験	25	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
		レポート	15	5	対象者特性を理解した幅広い視点を持ち、整理された結果を示した作品を完成できる			
				4	対象者特性を理解し、整理された結果を示した作品を完成できる			
				3	対象者特性を考え、配慮した作品を完成できる			
				2	対象者特性に沿った作品を完成できる			
				1	対象者特性に沿っていない。もしくは未提出である			
思考力	各ライフステージごとの対象者に適しているかを常に考え、問題解決のためのプロセスに繋げることができる	定期試験	25	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
		レポート	15	5	ライフステージにおける食生活の問題点・改善点について、科学的根拠および論理的整合性のある意見を持ち、さらに多角的な考察ができています			
				4	ライフステージにおける食生活の問題点・改善点について、自らの意見をふまえた考察ができています			
				3	ライフステージにおける食生活の問題点・改善点について、自らの意見を述べる事ができています			
				2	ライフステージにおける食生活の問題点・改善点について、結果を記載できています			
				1	ライフステージにおける食生活の問題点・改善点を提示できず、結果を記載できていない、もしくは未提出である			
コミュニケーション力	グループの一員として、自分の役割を理解し、協力して作業に取り組むことができる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションをとり、グループ活動を円滑に進め、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションをとり、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	他者とのコミュニケーション、授業への取り組みに消極的である			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	専門的知識・技術を用い、対象者に適した食事計画、調理および食事提供の評価ができる。	作品	10	5	献立を含む作成物について、必要事項がもれなく記載され、計算が整っている。調理時に正確な軽量、時間管理、適正な調理作業ができています			
				4	献立を含む作成物について、必要事項が記載され、計算されている。調理時の軽量、時間管理、調理作業が適正に行われている			
				3	献立を含む作成物について、調理に必要な記載・計算ができています。積極的に調理に参加し、料理が完成されている			
				2	献立を含む作成物が完成できています。調理に参加できています。			
				1	献立の完成度が低い。調理参加に消極的である。			
【教科書・参考書】								
教科書： 内田和宏他著『ライフステージ実習栄養学 第7版』（医歯薬出版株式会社）								
参考書： 食品成分表（女子栄養大学出版部）、食事計画論の教科書 日本人の食事摂取基準2025年版（第一出版）								
【その他】								
レポートや作品のフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ライフステージ別栄養の基本と献立作成の基礎知識 妊娠・授乳期の栄養（講義）	事前学習： 教科書の該当部分を読む 事後学習： 妊娠・授乳期の特性と問題点を確認する	2時間
2 妊娠・授乳期の栄養（献立作成） 分食・塩分調整食・授乳期	事前学習： 教科書の該当部分を読み、献立作成の資料・情報を収集する 事後学習： 献立表・作業計画書等を理解する	2時間
3 妊娠・授乳期の栄養（調理実習） 分食・塩分調整食・授乳期	事前学習： 実習の手順、役割を確認して理解する 事後学習： レポートを作成する	2時間
4 乳児期の栄養（講義） 調乳	事前学習： 教科書の該当部分を読む 事後学習： レポート（調乳）を作成する	2時間
5 幼児期の栄養（講義） 幼児期の栄養（献立作成）	事前学習： 教科書の該当部分を読む 事後学習： 幼児期の特性・問題点を整理する	2時間
6 年齢別・アレルギー対応食・離乳食への展開 幼児期の栄養（調理実習）	事前学習： 教科書の該当部分を読み、献立作成の資料・情報を収集する 事後学習： 献立表・作業計画書等を理解する	2時間
7 年齢別・アレルギー対応食・離乳食への展開 学童期・思春期の栄養（講義）	事前学習： 実習の手順、役割を確認して理解する 事後学習： レポートを作成する	2時間
8 学童期・思春期の栄養（調理実習） 貧血食	事前学習： 教科書の該当部分を読む 事後学習： 学童期・思春期の特性と問題点を確認する	2時間
9 学童期・思春期の栄養（調理実習） 貧血食	事前学習： 献立表と作業計画を理解する 事後学習： レポートを作成する	2時間
10 更年期・高齢期の栄養（講義） 骨粗鬆症予防・咀嚼嚥下機能低下・フレイル	事前学習： 教科書の該当部分を読む 事後学習： 骨粗鬆症・咀嚼嚥下機能低下についての問題点を整理する	2時間
11 高齢期の栄養（献立作成） 嚥下調整食・フレイル予防食	事前学習： 教科書の該当部分を読み、献立作成の資料・情報を収集する 事後学習： 献立表・作業計画書等を理解する	2時間
12 高齢期の栄養（調理実習） 嚥下調整食・フレイル予防食	事前学習： 実習の手順、役割を確認して理解する 事後学習： レポートを作成する	2時間
13 スポーツ栄養（講義・献立作成） 競技別スポーツ栄養	事前学習： 教科書の該当部分を読み、スポーツ選手の食事についての情報を収集する 事後学習： 献立表と作業計画書等を理解する	2時間
14 スポーツ選手の食事（調理実習） スポーツ選手の食事	事前学習： 実習の手順、役割を確認して理解する 事後学習： レポートを作成する	2時間
15 まとめ・発表	事前学習： 各ライフステージの栄養について整理し、班ごとの発表をまとめる 事後学習： 講義内容を整理する。発表のまとめを作成する	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0022	臨床栄養学実習	飛松 聡	前期	選択	実習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>病院における給食は、治療の一環であり、患者に対する栄養教育の媒体である。また、病院給食では、様々な食種を一度に提供しなければならないため、効果的な栄養・給食管理が必要となる。本授業では、治療食のポイントや献立の展開方法について、献立作成および調理実習を通じて習得する。本授業は実務家教員として病院での経験から得られた献立作成の技術を活かした内容を取り込んでいく。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	病態に応じた治療食のポイントを説明することができ、知識を献立に活かし、考察を深めることができる	確認テスト	20	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
	レポート	40	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている				
			4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている				
			3	課題に対し、自分の考えを述べる事ができる				
			2	課題に対する結果を述べる事ができる				
			1	形式が整っていない				
コミュニケーション力	グループ作業が円滑に行えるためのコミュニケーションをとる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	献立内容、調理作業、作品が適当であり、他者と連携して作品を作ることができる	作品	30	5	献立内容、調理作業、作品が全て一貫性があり、基準や対象に適した料理を作ることができる			
				4	献立内容、調理作業、作品が全て一貫性があり、基準や対象を考慮した料理を作ることができる			
				3	基準や対象を考慮した料理を作ることができる			
				2	基準や対象を考慮することが一部できていない			
				1	基準や対象を考慮することができていない			
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 長浜幸子編著『実践 臨床栄養学実習』（第一出版）、日本糖尿病学会『糖尿病食事療法のための食品交換表』（文光堂）</p> <p>参考書：</p>								
【その他】								
<p>レポートや作品等のフィードバックを行う。</p> <p>栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業</p>								

ヘルスケア栄養学科 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 治療食とは	事前学習： 病院給食について理解しておく 事後学習： 治療食の種類とその重要性について理解しておく	2時間
2 軟菜食（講義）	事前学習： 教科書を読み、軟菜食について理解しておく 事後学習： 授業内容を復習する	2時間
3 軟菜食（献立作成）	事前学習： 軟菜食の献立作成準備をしておく 事後学習： 軟菜食の留意点をまとめる	2時間
4 軟菜食（調理実習）	事前学習： 軟菜食の調理上の留意点を考える 事後学習： レポートを仕上げる	2時間
5 脂質コントロール食（講義）	事前学習： 教科書を読み、脂質コントロール食について理解しておく 事後学習： 授業内容を復習する	2時間
6 脂質コントロール食（献立作成）	事前学習： 脂質コントロール食の献立作成の準備をする 事後学習： 脂質コントロール食の留意点をまとめる	2時間
7 脂質コントロール食（調理実習）	事前学習： 脂質コントロール食の調理上の留意点を復習する 事後学習： レポートを仕上げる	2時間
8 たんぱく質コントロール食（講義）	事前学習： 教科書を読み、たんぱく質コントロール食について理解しておく 事後学習： 授業内容を復習する	2時間
9 たんぱく質コントロール食（献立作成）	事前学習： たんぱく質コントロール食の献立作成の準備をする 事後学習： たんぱく質コントロール食の留意点をまとめる	2時間
10 たんぱく質コントロール食（調理実習）	事前学習： たんぱく質コントロール食の調理上の留意点を復習する 事後学習： レポートを仕上げる	2時間
11 糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方	事前学習： 糖尿病食事療法のための食品交換表を読む 事後学習： 授業内容を復習する	2時間
12 エネルギー・ナトリウムコントロール食（講義）	事前学習： 教科書を読み、エネルギー・ナトリウムコントロール食について理解しておく 事後学習： 授業内容を復習する	2時間
13 エネルギー・ナトリウムコントロール食（献立作成）	事前学習： エネルギー・ナトリウムコントロール食の献立作成の準備をする 事後学習： エネルギー・ナトリウムコントロール食の献立内容を復習する	2時間
14 エネルギー・ナトリウムコントロール食（献立作成）	事前学習： エネルギー・ナトリウムコントロール食の献立作成の見直しをする 事後学習： レポートを仕上げる	2時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： これまでの作品やレポートの振り返りを行う 事後学習：	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NC0023	栄養教育論	飛松 聡	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>栄養士は主に食事の提供を介して対象者に適した栄養の指導を行う。本講義では、栄養士が栄養指導をする上で必要な心構え、法規、指導の流れなど基礎的な知識習得を目指す。また、栄養指導するために必要な行動科学やカウンセリングなどの技術を理解し、伝えるための媒体や学習方法、関連情報などの特徴を捉え活用できるようになることを目的とする。本授業は実務家教員として、栄養指導の経験を活かした栄養指導方法、コミュニケーションスキル（カウンセリング技法）などを取り込んでいく。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養の指導を行うために必要な基礎的な知識や法規を理解し、関連情報を収集することができる	確認テスト	30	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	50	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	栄養教育（指導）に必要な知識、技術などが身につけており、全体的なプロセスが把握できている	定期試験	20	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
【教科書・参考書】								
教科書： 相川りゑ子編集『Nブックス 三訂 栄養指導論』（建帛社）								
参考書： 適宜プリントを配布する								
【その他】								
確認テストの結果をフィードバックする								
栄養士課程の必須科目 実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
1 栄養教育の意義・目的	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
2 栄養教育（指導）の沿革	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
3 栄養教育（指導）と関連法規	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： これまでの授業の復習を行い次回の確認テストに備える	4時間
4 栄養指導の原則 確認テスト①	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおき、確認テストの準備を行う。 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
5 栄養指導計画・評価	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
6 栄養指導の方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
7 栄養教育（指導）に必要な技術	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
8 カウンセリング技法	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： これまでの授業の復習を行い次回の確認テストに備える	4時間
9 行動科学と栄養指導① 確認テスト②	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおき、確認テストの準備を行う。 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
10 行動科学と栄養指導②	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
11 教材・媒体・学習方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
12 栄養教育（指導）に必要な基礎事項①	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
13 栄養教育（指導）に必要な基礎事項②	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： これまでの授業の復習を行い次回の確認テストに備える	4時間
14 栄養教育（指導）と情報収集（健康日本21） 確認テスト③	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおき、確認テストの準備を行う。 事後学習： 教科書の読み直しと授業内容の整理	4時間
15 栄養教育（指導）と情報収集（調査データ） まとめ	事前学習： 事後学習： これまでの授業内容の復習と整理	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0024	栄養指導論	飛松 聡	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>栄養士は食事の管理を中心とした栄養の指導を行う。そのためには、多様な場における対象者のライフステージや生理的・身体的特徴を踏まえた栄養指導の実践が必要とされる。そこで、本講義では栄養教育論、ライフステージ栄養学、臨床栄養学概論の講義を踏まえ、ライフステージ別、病態別、給食における栄養指導の方法について学ぶ。本授業は実務家教員として、栄養指導の経験を活かした対象別の栄養指導の工夫などを取り込んでいく。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	ライフステージ別、病態別、 給食施設別に栄養指導の特徴 を理解できる	確認テスト	30	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	対象者の特性から栄養指導の 内容を考えることができる	定期試験	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
教科書： 相川りゑ子編集『Nブックス 三訂 栄養指導論』（建帛社）								
参考書：								
【その他】								
確認テストのフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 はじめに	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
2 ライフステージ別栄養指導(乳幼児期)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
3 ライフステージ別栄養指導(学童期)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
4 ライフステージ別栄養指導(成人・中高年)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
5 ライフステージ別栄養指導(妊娠期)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
6 ライフステージ別栄養指導(高齢者) 確認テスト①	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
7 病態別栄養指導(循環器疾患・内分泌)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
8 病態別栄養指導(消化器疾患・その他)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
9 給食における栄養指導(病院給食)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
10 給食における栄養指導(学校給食) 確認テスト②	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
11 給食における栄養指導(児童福祉施設給食)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
12 給食における栄養指導(社会福祉施設給食)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
13 給食における栄養指導(事業所給食)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
14 栄養指導の国際的動向 確認テスト③	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容の復習	4時間
15 まとめ	事前学習: 確認テストを中心に授業のまとめを自分なりに行う 事後学習:	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0025	公衆栄養学概論	伊藤 僚子	前期	必修	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
本講義では、健康増進および疾病予防を目的として、国・地域・コミュニティ等の集団に対する栄養関連サービスの計画・実施・評価に関する基礎理論と方法を学ぶ。あわせて、講師の特定保健指導およびインドネシアの保健所勤務の経験を生かし、栄養改善の具体的な実践方法を紹介する。実践的内容を通して、学生が将来の職務に活用できる知識の修得を目指す。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	グループワークでは、自分の考えをまとめ、意見が言えるようになる。また、人の意見を取り入れて、グループ全体の意見をまとめるスキルを身に着ける。	レポート	30	5	グループ内の意見を取りまとめることができる			
				4	内容を理解した上で発言をし、グループに貢献できる			
				3	自分の意見が言える			
				2	関心はあるが、積極的に意見が言えない			
				1	寝ているなど、消極的参加であった			
専門的知識・技術	複数の栄養調査法を学び、必要に応じた栄養調査法を選択し、栄養調査の実施方法が理解できる。	定期試験	40	5	具体的な栄養調査の実施方法が理解できる			
				4	栄養調査の計画が立てられる			
				3	状況に応じた栄養調査法を選択できる			
				2	それぞれの栄養調査方法の特徴を理解している			
				1	栄養調査方法が理解できない			
思考力	栄養マネジメントが理解でき、実施方法がわかる。	定期試験	30	5	公衆栄養マネジメントを実施する準備ができる			
				4	公衆栄養マネジメントの計画の立て方がわかる			
				3	公衆栄養マネジメントの方法を理解している			
				2	公衆栄養マネジメントとは何か答えられる			
				1	公衆栄養マネジメントが理解できない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 友竹浩之編『栄養科学シリーズ NEXT公衆栄養学概論』（講談社）								
参考書：								
【その他】								
課題等のフィードバックを授業内で行う。オフィスアワーは、授業前後の10分間。								
※実務家教員による授業。								

ヘルスケア栄養学科 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 公衆栄養とは 公衆栄養の目的と公衆栄養的モノの見方を理解する。	事前学習： 教科書 1.1公衆栄養学の意義と目的を読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
2 公衆栄養活動の歴史 公衆栄養活動の始まり、栄養士養成の始まり	事前学習： 教科書1.2公衆栄養活動の歴史を読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
3 わが国の健康・栄養問題① 現状と課題。超高齢化社会。疾病構造の変化。	事前学習： 教科書2.1国民の健康状態と施策について読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
4 わが国の健康・栄養問題② 食生活の現状と課題。国民健康・栄養調査	事前学習： 教科書2.2と2.3読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
5 わが国の健康・栄養問題③ 【演習】食べ物の来し方が健康に与える影響	事前学習： 食料自給率について調べる。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
6 諸外国の健康・栄養問題と背景 諸外国の栄養問題、国際機関の動き	事前学習： 教科書6.1と6.2諸外国の健康・栄養政策について読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
7 わが国の健康・栄養施策① 公衆栄養関連の法律および制度 地域保健法、健康増進法	事前学習： 教科書3.1公衆栄養施策と法規について読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
8 わが国の健康・栄養施策② 国民健康づくり運動（健康日本21）	事前学習： 教科書3.2健康日本21（3次）について読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
9 わが国の健康・栄養施策③ 特定健診・特定保健指導	事前学習： 教科書3.3特定健診・特定保健指導を読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
10 公衆栄養マネジメント① 公衆栄養マネジメントの概念	事前学習： 教科書5.2公衆栄養マネジメントサイクルについて読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
11 公衆栄養マネジメント② 公衆栄養アセスメント	事前学習： 教科書5.3公衆栄養プログラムについて読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
12 栄養疫学 疫学調査法	事前学習： 教科書4.2と4.3の疫学調査について読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
13 食事調査 種々の食事調査法とそれらの特徴	事前学習： 教科書4.4食事調査について読んでおく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
14 わが国の健康・栄養問題③ 【演習】フードマイレージから考える自給率	事前学習： フードマイレージについて調べておく。 事後学習： 講義内容について復習をする。	4時間
15 練習問題 まとめ	事前学習： 事後学習： 今までの授業の総復習	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0026	栄養指導実習 I	飛松 聡	後期	選択	実習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
様々な対象者に対して栄養の指導を実践するために必要な知識と技術を身につける。本授業では栄養教育論の内容を踏まえて、食事のアセスメントに必要な食事調査や身体活動調査の方法について体験を通じて学びを深め、日本人の食事摂取基準を用いた評価を正しく理解する。また、自身の生活活動や食事を評価することで食事改善の流れと情報を活用した指導について習得する。本授業は実務家教員が担当し、実務で経験した栄養指導のアセスメントスキルの活用方法を取り入れていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養指導に必要な様々な評価指標や基準を理解し、客観的な評価や活用ができる	確認テスト	20	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		レポート	60	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っている			
向上心・責任 感	栄養士の役割を理解し、栄養指導の大切さを認識できる	レポート	20	5	課題の提出期限および提出形式を守り、かつ栄養士の役割を十分に理解した取り組みがレポートから読み取れる			
				4	課題の提出形式を守り、かつ栄養士の役割を十分に理解した取り組みがレポートから読み取れる			
				3	栄養士の役割を十分に理解した取り組みがレポートから読み取れる			
				2	課題に取り組んでいる			
				1	課題への取り組み姿勢が見られる			
【教科書・参考書】								
教科書： 香川明夫『食品成分表』（女子栄養大学出版社）								
参考書： 相川りゑ子編集『Nブックス 三訂 栄養指導論』（建帛社）、調理のためのベーシックデータ								
【その他】								
レポートのフィードバックを行う。								
栄養士課程の必須科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 栄養教育の意義と方法	事前学習： 栄養教育論、給食計画実務論を復習しておく 事後学習： 授業内容の復習	1時間
2 身体活動調査①	事前学習： 身体活動調査について確認しておく 事後学習： 身体活動調査を実施する	3時間
3 身体活動調査②	事前学習： 実施した身体活動調査を確認する 事後学習： レポートを仕上げる	2時間
4 日本人の食事摂取基準	事前学習： 日本人の食事摂取基準について確認しておく 事後学習： 授業内容の復習	1時間
5 日本人の食事摂取基準の活用	事前学習： 前回の授業内容を振り返る 事後学習： レポートを仕上げる	2時間
6 食事調査方法 確認テスト①	事前学習： 食事調査方法について確認しておく 事後学習： 授業内容の復習	1時間
7 食事調査方法（食物摂取頻度調査法）	事前学習： 食物摂取頻度調査法について確認しておく 事後学習： 授業内容の復習し、レポートを仕上げる	1時間
8 食事調査方法（24時間思い出し法）	事前学習： 24時間思い出し法について確認しておく 事後学習： 授業内容の復習し、レポートを仕上げる	1時間
9 食事調査方法（秤量記録法）	事前学習： 秤量記録法について確認しておく 事後学習： 秤量法を実践し、レポートを仕上げる	4時間
10 食事調査方法（栄養価計算方法）	事前学習： 食品成分表の使い方を復習しておく 事後学習： 授業内容の復習	1時間
11 栄養価計算	事前学習： 栄養価計算方法を復習する 事後学習： 授業内容の復習	1時間
12 栄養評価と改善計画 確認テスト②	事前学習： 栄養評価方法について復習しておく 事後学習： 授業内容の復習	2時間
13 媒体作成	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容の復習	1時間
14 栄養指導実践	事前学習： 栄養指導におけるコミュニケーションを復習しておく 事後学習： 授業内容の復習	2時間
15 まとめ	事前学習： 事後学習： 食事摂取基準の活用について復習しておく。レポートを仕上げる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0027	栄養指導実習Ⅱ	飛松 聡	後期	選択	実習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>栄養指導は単に身につけた知識や技術を相手に伝えるのではなく、対象者に合わせて伝え方や媒体を変えていかななくてはならない。本実習では、疾病の成り立ち、臨床栄養学概論で学んだ臨床的な知識や栄養教育論、栄養指導論、栄養指導実習Ⅰで身につけた栄養指導に関する知識や技術を用いて対象者に合わせた栄養指導（伝え方や媒体）ができるようになることをねらいとする。本授業は実務家教員としての栄養指導の経験から得られた対象者別の栄養指導に関する知識やスキルを取り入れていく。</p>								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養指導に必要な正しい基礎知識、技術が身についている	確認テスト	20	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		作品	20	5	情報（知識）を根拠のある情報元から正しく活用することができる			
				4	情報（知識）を正しく活用することができる			
				3	情報（知識）を活用することができる			
				2	情報（知識）を活用しようとしている			
				1	情報（知識）の一部が誤っている			
コミュニケーション力	他者とのコミュニケーションを図り、協力して作業を行うことができる	受講態度	10	5	グループ内で積極的にコミュニケーションを取り、円滑に実習を進めようと努力し、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	グループ内で積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	栄養指導に必要な知識、技術を用いて対象者に合わせた内容を作ることができる	作品	40	5	基礎的な知識、技術を用いて対象者に合わせた内容を作成し、簡潔にわかりやすく相手に伝えることができる			
				4	基礎的な知識、技術を用いて対象者に合わせた内容を作成し、相手に伝えることができる			
				3	基礎的な知識、技術を用いて作成し、相手に伝えることができる			
				2	作品を作成することができる			
				1	作品を作成することができない			
		レポート	10	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、論理的整合性を持った考察を記載している			
				3	課題に対し、自分の考えを述べるることができる			
				2	課題に対する結果を述べるることができる			
				1	形式が整っていない			
【教科書・参考書】								
教科書： 相川りょう子編集『Nブックス 三訂 栄養指導論』（建帛社）								
参考書：								
【その他】								
提出された作品やレポートのフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 アセスメント①(身体状況)	事前学習: 疾病の成り立ち及び臨床栄養学概論の該当箇所を復習しておく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
2 アセスメント②(臨床検査)	事前学習: 疾病の成り立ち及び臨床栄養学概論の該当箇所を復習しておく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
3 情報の収集	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
4 情報の活用方法	事前学習: 前回の授業の復習をしておく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
5 情報の活用 確認テスト①	事前学習: 前回の授業の復習をしておく 事後学習: 授業内容を整理し、発表できるようにしておく	2時間
6 情報の活用(発表)	事前学習: 発表の準備をする 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
7 カウンセリング技法	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
8 対象者別栄養指導①(対象者とテーマ)	事前学習: 校外実習で習得した知識を復習しておく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
9 対象者別栄養指導②(計画作成)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
10 対象者別栄養指導③(媒体作成①)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 媒体作成に必要な情報の収集をしておく	2時間
11 対象者別栄養指導④(媒体作成②)	事前学習: 媒体作成に必要な情報の収集をしておく 事後学習: 媒体と発表の準備をしておく	2時間
12 対象者別栄養指導⑤(発表)	事前学習: 発表の準備をする 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
13 対象者別栄養指導⑥(評価)	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
14 情報処理	事前学習: 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習: 授業内容を整理し、まとめておく	2時間
15 まとめ 確認テスト②	事前学習: 事後学習: 14回目までの内容を復習、整理しておく	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0030	調理学	佐藤 陽子	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品が加熱・冷却・混合などの調理操作によって生じる化学的・物理的変化や組織構造の変化を科学的に理解し、調理過程における変化の要因や「おいしさ」の成り立ちを学ぶことで、食品の安全性を高め、嗜好性や消化吸収性を向上させるための基礎知識と調理技術を習得する。また、各食材の特性を踏まえ、栄養価や衛生面に配慮した適切な調理法を選択・実践し、その根拠を説明・応用できる力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	調理の意義、食品の調理過程 での変化、栄養性、嗜好性について理解する	確認テスト	10	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	50	5	定期試験の評価点が90%以上			
				4	定期試験の評価点が70%以上90%未満			
				3	定期試験の評価点が50%以上70%未満			
				2	定期試験の評価点が30%以上50%未満			
				1	定期試験の評価点が30%未満			
思考力	学習したことに基いて、レ ポートを適切な言葉、表現で 書くことができる	レポート	15	5	テーマに沿った内容でキーワードを適切に使用して概要と考察が明確に書 けている			
				4	テーマに沿った内容で自分の意見を述べながらレポートが書けている			
				3	テーマに沿った内容であるが、考察ができていない			
				2	レポートの内容に不足があり、量的にも不足している			
				1	レポートのテーマを適切に捉えることができず、文章力に欠ける			
	学習したことに基いて、実 習で実践できる調理器具を正 しく選択出来たり目的に合っ た調理操作を選ぶことを身に つける	確認テスト	10	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
	学習したことに基いて、実 習で実践できる調理器具を正 しく選択出来たり目的に合っ た調理操作を選ぶことを身に つける	定期試験	15	5	定期試験の評価点が90%以上			
				4	定期試験の評価点が70%以上90%未満			
				3	定期試験の評価点が50%以上70%未満			
				2	定期試験の評価点が30%以上50%未満			
				1	定期試験の評価点が30%未満			
【教科書・参考書】								
教科書： 鈴木弘子・他／著 『Nブックス 新版 調理学』（建帛社） 山崎清子・他／著 『NEW 調理と理論 第2版』（同文書院）								
参考書：								
【その他】								
確認テスト、レポートのフィードバックを行う								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 調理学の意義・目的、調理学の概要 調理の意義と目的、おいしさの要因(化学的要因)	事前学習: 自身の嗜好(味の好み)について考えておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
2 おいしさの科学とその評価 おいしさの要因(物理的要因・主観的要因)、おいしさの評価	事前学習: 身近な食品の物性やおいしさを司る要因について考えておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
3 調理操作と調理機器 非加熱操作 計量、洗浄、浸漬、切碎、攪拌、冷却、凍結、解凍	事前学習: 非加熱操作について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
4 加熱調理操作 調理における加熱、湿式加熱と乾式加熱、	事前学習: 加熱操作について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
5 調理機器、調理システム、調理エネルギー 誘電加熱、電磁誘導、厨房設備、ガス、電気	事前学習: 加熱操作について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
6 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅰ 穀類	事前学習: 穀類の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
7 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅱ いも類・豆類及びその加工品・種実類	事前学習: いもの種類および豆の加工品について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
8 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅲ【確認テスト①】 野菜類・果実類	事前学習: 野菜類・果物類の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
9 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅳ きのこ類・藻類	事前学習: きのこと類・藻類の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
10 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅴ【確認テスト②】 魚介類	事前学習: 魚介の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
11 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅵ 肉類	事前学習: 肉の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
12 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅶ【確認テスト③】 卵・牛乳	事前学習: 卵・牛乳の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
13 成分抽出素材の利用と栄養 油脂類、でんぷん類、ゲル化素材	事前学習: でんぷん製品、ゲル化剤の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
14 調味料、調理操作 調味料の種類と調理機能、調味の方法、調味濃度	事前学習: 調味料の種類の確認、塩や砂糖の調理性を確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
15 食文化、まとめ・復習【確認テスト④】 食事様式・行食事、まとめ・復習	事前学習: 授業内容の不明な点をまとめる 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0031	給食計画・実務論	佐藤 美紀	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 給食施設における給食管理の概要および概念を理解し、給食の基本的な業務内容、法令に則った合理的運営について学ぶ。特定給食施設にて様々な形態、内容で供食されていることを具体例にそって理解し、衛生面を含めた問題点の把握とPDCAサイクルにそった改善ができる給食管理者となれるよう、知識を習得する。担当者は病院・児童福祉施設等の栄養管理・指導の実務経験から得られた事例を活用して授業を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	給食の運営に必要な法規・用語等基本的内容について理解する。	定期試験	60	5	定期試験の得点が90%以上			
				4	定期試験の得点が75%以上90%未満			
				3	定期試験の得点が60%以上75%未満			
				2	定期試験の得点が50%以上60%未満			
				1	定期試験の得点が50%未満			
		確認テスト	20	5	4回実施する確認テストの結果により、評価点が90%以上			
				4	4回実施する確認テストの結果により、評価点が70%以上90%未満			
				3	4回実施する確認テストの結果により、評価点が50%以上70%未満			
				2	4回実施する確認テストの結果により、評価点が30%以上50%未満			
				1	4回実施する確認テストの結果により、評価点が30%未満			
思考力	給食の運営に必要な管理を理解し、考えて、表現できる	確認テスト	20	5	4回実施する確認テストの結果により、評価点が90%以上			
				4	4回実施する確認テストの結果により、評価点が70%以上90%未満			
				3	4回実施する確認テストの結果により、評価点が50%以上70%未満			
				2	4回実施する確認テストの結果により、評価点が30%以上50%未満			
				1	4回実施する確認テストの結果により、評価点が30%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 長田早苗他編著 『Nブックス 三訂 給食の運営 栄養管理・給食管理』（建帛社） 参考書： 日本給食経営管理学会 監修『給食経営管理用語辞典』（第一出版）								
【その他】 課題や確認テストのフィードバックを行う 栄養士課程の必修科目 フードコーディネーター3級の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 給食の概念 I 給食の目的 特定給食施設	事前学習： 教科書該当部分を読み、栄養士基礎演習（栄養士の仕事）の復習をする 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
給食の概念 II 行政指導と関係法規	事前学習： 教科書該当部分を読み、法令・規則を把握する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
3 給食の栄養・食事管理 I 確認テスト① 栄養・食事管理の目的、献立計画	事前学習： 確認テストの準備。教科書該当部分を読む 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
4 給食の栄養・食事管理 II 栄養・食事管理の評価 給食と栄養教育	事前学習： 給食の評価について考え、教科書の該当部分を読む 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
5 給食の安全・衛生管理 I 確認テスト② 安全・衛生管理の目的および実際	事前学習： 確認テストの準備。教科書該当部分を読む 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
6 給食の安全・衛生管理 II 安全・衛生管理の評価と事故対応	事前学習： 給食の衛生・安全について考える。参考になる事例を収集する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
7 給食の調理管理 I 確認テスト③ 食分量管理	事前学習： 確認テストの準備。教科書該当部分を読み、食材について考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
8 給食の調理管理 II 調理作業管理	事前学習： 調理作業について考え、教科書該当部分を読む 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
9 給食の施設・設備管理 確認テスト④ 給食の実際	事前学習： 確認テストの準備。施設設備管理についての教科書該当部分を読む 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
10 アクティブラーニング（給食についての意見交換）	事前学習： 9回目までの授業の復習を行う 事後学習： 意見交換した内容をまとめる	4時間
11 給食施設の種類 目的・基準・実際 I 学校給食・病院給食	事前学習： 栄養士として、学校給食、病院給食との関わりについて考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
12 給食施設の種類 目的・基準・実際 II 福祉施設（児童・高齢者）・事業所・その他施設	事前学習： 栄養士として、福祉施設、事業所の給食との関わりについて考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
13 給食のマネジメント（給食組織・労務管理） 給食組織・人事労務管理	事前学習： 教科書の該当部分を読み、給食の組織について考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
14 給食のマネジメント（会計・原価管理） 給食運営の情報処理	事前学習： 教科書の該当部分を読み、給食の金銭管理・情報管理について考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
15 給食の業務委託と配食サービス まとめ	事前学習： 身近な委託給食・配食サービスについて調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0032	調理学実習 I (含調理学実験)	佐藤 陽子	前期	必修	実習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
日常的な日本料理について実習を行いながら、基本的な包丁および調理技術を体得し、調理の意義や役割について理解していくことを目的とする。さらに日本料理の食事様式を基本に、盛り付けなど見た目からも嗜好性を向上させる料理を作れることを目指す。また、安心・安全な食事提供を出来るように、徹底した衛生管理のもと、衛生面についても体得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	調理科学的を基に調理の意義 を理解できる	レポート	40	5	作り方や授業時の講義内容を明確に記載でき、かつその料理の歴史的背景や自身が気付いたものについて、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	作り方や授業時の講義内容を明確に記載でき、かつその料理の歴史的背景、 ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	作り方や授業時の講義内容を明確に記載でき、かつその料理の歴史的背景などから、自分の考えを述べることができる			
				2	作り方や授業時の講義内容、かつその料理の歴史的背景などを明記できる			
				1	形式が整っていない			
	日本料理の基本的な調理法や 料理を習得できる	確認テスト	20	5	筆記試験と実技試験（実施1回）の評価点が90%以上			
				4	筆記試験と実技試験（実施1回）の評価点が70%以上90%未満			
				3	筆記試験と実技試験（実施1回）の評価点が50%以上70%未満			
				2	筆記試験と実技試験（実施1回）の評価点が30%以上50%未満			
				1	筆記試験と実技試験（実施1回）の評価点が30%未満			
コミュニケーション力	他者と積極的にコミュニケーションをとることができる 他者と作業を円滑に進めることができる	受講態度	20	5	班員と積極的にコミュニケーションを取り、円滑に実習を進めようと努力し、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	班員と積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	調理技術の重要性と必要性を理解し、実際に調理する力を習得できる	確認テスト	20	5	評価点が90%以上（実習時に衛生観念を持ち、実技試験時の包丁の扱い、および切削した食材の仕上がりが非常に適切で優れている）			
				4	評価点が70%以上90%未満（実習時に衛生観念を持ち、実技試験時の包丁を安全に扱え、切削した食材の仕上がりが適当である）			
				3	評価点が50%以上70%未満（実習時に衛生観念を持ち、実技試験時の包丁を安全に扱える）			
				2	評価点が30%以上50%未満（実習時に衛生観念を持ち取り組んでいる）			
				1	評価点が30%未満（衛生観念の理解に乏しい）			
【教科書・参考書】								
教科書： 女子栄養大学調理学研究室・他／監修 『調理のためのベーシックデータ 第6版』（女子栄養大学出版部）								
参考書： 山崎清子・他／著 『NEW 調理と理論 第2版』（同文書院）								
【その他】								
確認テスト、レポートのフィードバックを行う								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 【調理実習について】 諸注意、調理器具・日本料理について	事前学習： 調理経験を重ねておく 事後学習： レポート作成	2時間
2 日本料理① ご飯・ぶりの照り焼き・ほうれん草のお浸し・りんごの皮焼き	事前学習： 計量器具について確認しておく、自身の味覚について考えておく 事後学習： レポート作成	2時間
3 日本料理② 実験：廃棄率・乾物の戻し倍率 グリーンピースご飯・肉じゃが・かき玉汁	事前学習： 味付け飯について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
4 日本料理③ 筍ご飯・筍の木の芽和え・若竹汁	事前学習： 和え物の調理性について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
5 日本料理④ 実験：マヨネーズ 五目炊き込みご飯・春キャベツのサラダ・白玉フルーツ	事前学習： マヨネーズについて確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
6 日本料理⑤ 二色そばろ飯・きゅうりの酢の物・吉野鶏のすまし汁・緑茶	事前学習： 混合だしのとり方、緑茶の淹れ方について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
7 日本料理⑥ 実験：乾物の戻し倍率 ご飯・筑前煮(炒り鶏)・切り干し大根の煮物・茶碗蒸し	事前学習： 希釈卵液について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
8 日本料理⑦ 親子丼・イワシのつみれ汁・わらび餅	事前学習： イワシ、でんぷん(わらび粉)について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
9 日本料理⑧ 実験：もち米の炊飯 赤飯・沢煮椀・魚の直火焼き・即席漬け	事前学習： もち米の調理特性、直火焼きについて確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
10 日本料理⑨ ご飯・鯖の味噌煮・いかとわけぎのぬた・三州味噌汁	事前学習： 味噌の種類について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
11 日本料理⑩ そうめん・てんぷら・白和え	事前学習： 豆腐の特徴、卵の調理特性について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
12 日本料理⑪ 麦飯・厚焼き卵・南瓜のそばろあんかけ・水羊羹	事前学習： あん、寒天について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
13 日本料理⑫ ちらし寿司・潮汁・桜餅	事前学習： すし飯、桜でんぶの調理理論について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
14 【調理科学実験】ゲル化剤 ゲル化剤	事前学習： ゲル化剤について確認しておく 事後学習： レポート作成	2時間
15 まとめ 確認テスト(筆記・実技)、実習室の整備	事前学習： 日本料理について復習、実技の練習をしておく 事後学習： 調理技術の向上を図る	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0033	調理学実習Ⅱ	佐藤 陽子	後期	選択	実習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
調理実習Ⅰでの基礎調理、日本料理に続き、西洋料理及び中国料理について基本的な知識と調理法を体得する。各国の多様な料理の調理性、調理技法について学ぶとともに、変化に富んだ献立、食卓の整え方を体験し、実際の食生活に応用できる力を付けることを目的とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	応用性のある調理知識を理解し、食材別(特殊食材含む)の調理特性を習得できる	レポート	40	5	作り方や授業時の講義内容を明確に記載でき、かつその料理の歴史的背景や自身が気付いたものについて、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	作り方や授業時の講義内容を明確に記載でき、かつその料理の歴史的背景、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	作り方や授業時の講義内容を明確に記載でき、かつその料理の歴史的背景などから、自分の考えを述べることができる			
				2	作り方や授業時の講義内容、かつその料理の歴史的背景などを明記できる			
				1	形式が整っていない			
	中華・西洋料理における調理技術を理解し、調理科学的観点でも調理法を理解をすることができる	確認テスト	20	5	筆記試験と実技試験(実施1回)の評価点が90%以上			
				4	筆記試験と実技試験(実施1回)の評価点が70%以上90%未満			
				3	筆記試験と実技試験(実施1回)の評価点が50%以上70%未満			
				2	筆記試験と実技試験(実施1回)の評価点が30%以上50%未満			
				1	筆記試験と実技試験(実施1回)の評価点が30%未満			
コミュニケーション力	他者と積極的にコミュニケーションをとることができる 他者と作業を円滑に進めることができる	受講態度	20	5	班員と積極的にコミュニケーションを取り、円滑に実習を進めようと努力し、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	班員と積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	応用性のある調理技術を理解した上で、実際に調理する力を習得できる	確認テスト	20	5	評価点が90%以上(実習時に衛生観念を持ち、実技試験時の包丁の扱い、および切削した食材の仕上がりが非常に適切で優れている)			
				4	評価点が70%以上90%未満(実習時に衛生観念を持ち、実技試験時の包丁を安全に扱え、切削した食材の仕上がりが適当である)			
				3	評価点が50%以上70%未満(実習時に衛生観念を持ち、実技試験時の包丁を安全に扱える)			
				2	評価点が30%以上50%未満(実習時に衛生観念を持ち取り組んでいる)			
				1	評価点が30%未満(衛生観念の理解に乏しい)			
【教科書・参考書】								
教科書: 女子栄養大学調理学研究室・他/監修 『調理のためのベーシックデータ 第6版』(女子栄養大学出版部)								
参考書: 山崎清子・他/著 『NEW 調理と理論 第2版』(同文書院)								
【その他】								
確認テスト、レポートのフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目、フードコーディネーター3級の必修科目								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 【西洋料理及び中華料理について】 概念と特徴、調理法、調理器具、食卓の整え方等	事前学習： 調理経験を重ねておく 事後学習： レポート作成	2時間
2 西洋料理①(ドレッシングの調理性、紅茶の入れ方) サンドイッチ スコーン 洋野菜のサラダ 紅茶	事前学習： ドレッシングの種類、紅茶について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
3 西洋料理②(卵の料理性、ゼラチンの調理性) コンソメ オムレツ ラタトゥイユ コーヒーゼリー	事前学習： 卵の凝固、ゼラチンの調理性について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
4 西洋料理③(魚の調理性、小麦粉の膨化調理) 人参のポタージュ 鮭のムニエル パウンドケーキ	事前学習： 魚の調理、パウンドケーキについて調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
5 中国料理①(中国のだし汁、中華特殊食材の扱い方) 上湯 榨菜肉糸湯 棒棒鶏 豆沙麻球	事前学習： 中国のだし汁について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
6 中国料理②(炒め操作の調理性、烏龍茶の淹れ方) 什錦炒飯 炸子鶏塊 辣黄瓜 烏龍茶	事前学習： 唐揚げと竜田揚げの違い、烏龍茶について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
7 中国料理③(中華調味料、でん粉の調理性) 麻婆豆腐 玉米羹 西貢米凍	事前学習： 中華調味料(食材)について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
8 中国料理④(でん粉の調理性、包油の調理特性) 辣拌巻菜 古滷肉 蕃茄蛋花湯 茶飯	事前学習： でん粉の調理性、包油の調理性について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
9 西洋料理④(ひき肉の調理性、小麦粉の調理性) ハンバーグステーキ 人参グラッセ ロールケーキ	事前学習： ひき肉の調理、ケーキ生地について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
10 西洋料理⑤(行事食:クリスマス料理) ビーフストロガノフ タリアテッレ ジャガ芋のチーズ 焼き パリブレスト	事前学習： クリスマス料理について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
11 日本料理(行事食:正月料理) 田作り・紅白なます・栗きんとん・伊達巻・雑煮 他	事前学習： おせち料理について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
12 西洋料理⑥(ルウの調理性、希釈卵液の調理性) グラタン チーズスープ プティング	事前学習： ルウの調理性、卵の凝固性(温度・条件など)について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
13 中国料理⑤(小麦粉の調理性、寒天の調理性) 鍋貼餃子・水餃子 酸辣湯 杏仁豆腐	事前学習： 中国料理における小麦粉の調理性、寒天の凝固について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
14 中国料理⑥(小麦粉の膨化調理、ひき肉の調理性) 白菜肉丸子湯 包子 五香茶葉蛋	事前学習： 小麦粉の膨化調理について調べておく 事後学習： レポート作成	2時間
15 まとめ 確認テスト(筆記・実技)、実習室の整備	事前学習： 西洋料理及び中国料理について復習、実技の練習をしておく 事後学習： 調理技術の向上、料理のレパートリーを増やす	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0034	給食計画実習	飛松 聡	前期	選択	実習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
栄養士が特定給食施設において業務を遂行するためには、大量調理ならではの調理およびその流れを理解しておかなければならない。本実習では、給食運営の中でも特に計画の部分を中心にその実際について習得する。主に帳票類の作成から食事計画の方法、実際までを行う。本授業は実務家教員が担当し、実務で経験した帳票類の作成や使用方法など活用方法を取り入れていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	帳票類作成に必要な基本的な 運営方法、内容について理解 する。	定期試験	45	5	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が90%以上			
				4	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が70%以上90%未満			
				3	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が50%以上70%未満			
				2	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が30%以上50%未満			
				1	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が30%未満			
		作品	20	5	作成した帳票（献立を含む）について、必要事項が記載され、計算ができています。また、調理時、正確な計算、適正な計量、適正な料理ができています			
				4	作成した帳票（献立を含む）について、必要事項が記載、計算、また、調理時、適正な計量、適正な料理がほぼできています			
				3	作成した帳票（献立を含む）について、最低限の項目が記入でき、調理に関しても参加できています			
				2	帳票（献立を含む）、調理について積極的に取り組み、完成させた			
				1	帳票（献立を含む）、調理とともに、完成度が低い			
思考力	知識・技術を活用してプロセス を考えることができる。	レポート	10	5	実際に献立作成、調理、評価した内容について、論理的整合性を持ち、多角的に考察している			
				4	実際に献立作成、調理、評価した内容について、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	実際に献立作成、調理、評価した内容について、自分の考えを述べることができる			
				2	実際に献立作成、調理、評価した内容について、結果を述べることができる			
				1	形式が整っていない			
向上心・責任 感	栄養士に必要な主体性、他者 と協力するための責任感、向 上心を持った行動ができる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
	必要知識・技術を習得する ため、向上心を持って取り組 む	定期試験	5	5	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が90%以上			
				4	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が70%以上90%未満			
				3	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が50%以上70%未満			
				2	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が30%以上50%未満			
				1	各帳票類の作成を理解しているか、評価点が30%未満			
確認テスト	10	5	2回実施する帳票類の作成テストより、評価点が90%以上					
		4	2回実施する帳票類の作成テストより、評価点が70%以上90%未満					
		3	2回実施する帳票類の作成テストより、評価点が50%以上70%未満					
		2	2回実施する帳票類の作成テストより、評価点が30%以上50%未満					
		1	2回実施する帳票類の作成テストより、評価点が30%未満					
【教科書・参考書】								
教科書： 逸見幾代他編著『N'アックス給食の運営 栄養管理・経営管理』（建帛社）								
参考書： 山崎清子他『調理と理論』（同文書院）、食品成分表（女子栄養大学出版）、調理のためのベーシックデータ								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。								
栄養士課程の必須科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 特定給食施設における給食管理（授業について） 食事摂取基準①	事前学習： 栄養士基礎演習の内容を振り返る 事後学習： 授業内容を整理する	2時間
2 食事摂取基準②	事前学習： 食事摂取基準について確認する 事後学習： 授業内容を整理する	2時間
3 給与栄養目標量の設定	事前学習： 給与栄養目標量について確認する 事後学習： 給与栄養目標量を作成する	2時間
4 食品成分表の使い方 確認テスト	事前学習： 食品成分表について振り返る 事後学習： 授業内容を整理する	2時間
5 食品群別荷重平均栄養成分表の作成	事前学習： 食品成分表の使い方を振り返り、整理しておく 事後学習： 食品群別荷重平均栄養成分表の作成を作成する	2時間
6 食品群別食品構成表について	事前学習： 食品群別食品構成表について確認する 事後学習： 授業内容を整理し、ノート（資料）作りをする	2時間
7 食品群別食品構成表作成手順	事前学習： ノート（資料）作りをする 事後学習： 授業内容を整理し、ノート（資料）を仕上げる	2時間
8 食品群別食品構成表の作成①	事前学習： ノート（資料）を読み返しておく 事後学習： 食品群別食品構成表を作成する	2時間
9 食品群別食品構成表の作成②	事前学習： ノート（資料）を読み返しておく 事後学習： 食品群別食品構成表を作成する	2時間
10 作業工程表作成の実際 確認テスト	事前学習： 作業工程について教科書を確認する 事後学習： 作業工程について理解する	2時間
11 発注業務の講義と実際	事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 発注業務について理解する	2時間
12 献立の決定	事前学習： 食事計画論で作成している献立を完成させる 事後学習： 献立に関する理解を深める	2時間
13 発注業務、作業工程表作成	事前学習： 作業（調理）工程などを見直しておく 事後学習： 発注、作業工程表まで仕上げる	2時間
14 調理の実際	事前学習： 評価方法について予習する 事後学習： 実習内容の評価をし、レポートを書く	2時間
15 まとめ	事前学習： 学んだ帳票類の作成方法などを整理する 事後学習： 15回の授業内を整理する	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0035	給食管理実習 I	佐藤 美紀 (佐藤 陽子)	前期	選択	実習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
本授業は、集団給食における大量調理の実践を通して、給食の基本的な業務内容、衛生管理、大量調理特有の調理作業を理解し、技術習得することを目的とする。100食の給食における献立作成、調理、評価を学生の自主的な運営により実施する。担当者が病院・給食施設等の栄養食事管理、運営の実務経験から得られた事例を活用して進める。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	大量料理と食事提供に必要な基本的知識、運営方法を理解し、供食するための技術を身につける。	作品	30	5	作成した献立・帳票について、必要事項が記載され、計算ができる。調理作業を正確かつ安全に行うための知識と技術について理解している			
				4	作成した献立・帳票について、必要事項が記載され、計算ができる。調理作業を安全に行うための知識について理解している			
				3	作成した献立・帳票について、最低限の記載・計算ができている。調理作業を行うための知識について理解している			
				2	献立・帳票について、完成することができている。調理作業についての知識を理解している			
				1	献立・帳票について、完成度が低い、もしくは未提出である。調理作業に参加できていない			
思考力	給食運営の知識を活用し、供食計画・課題を実行するための準備をすることができる。実行した課題の評価をすることができる	レポート	30	5	献立、作業工程、供食の実施について、多角的に考察している。客観的な実施の評価を行い、改善についてPDCAサイクルを踏まえて検討できる			
				4	献立、作業工程、供食の実施について考察できている。改善についての検討ができる			
				3	献立、作業工程、供食の実施、改善について、自分の考えを述べることができる			
				2	献立、作業工程、供食の実施、改善について、結果を述べることができる			
				1	献立、供食の実施についての考察ができない			
コミュニケーション力	供食に向け、チームで協力して準備、調理ができる。調理分担、自分の作業について理解し、安全かつ確実な作業を行うため、他者との情報共有ができる	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションをとり、授業に前向きに取り組んでいる。率先して情報共有を行い、チーム内連携の重要性を理解している			
				4	積極的にコミュニケーションをとり、授業に取り組んでいる。チーム内での情報共有を行うことができる			
				3	授業に前向きに取り組んでいる。必要な情報の共有ができる。			
				2	授業に参加している。必要な情報の共有に消極的である			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない。他者との情報共有が円滑にできない			
実践力	専門的知識。技術を駆使して食事計画・調理および供食、評価を行うことができる。	作品	20	5	作業準備・実行を理解し、課題に沿った献立計画・立案ができる。滞りなく調理・食事提供ができ、結果の考察・評価を行うことができる			
				4	作業について理解し、献立計画・立案ができる。調理作業ができ、結果の考察ができる			
				3	献立計画・立案に沿って作業を行うことができる。結果について自分の考えを述べるができる			
				2	献立準備、調理作業を行うことができる。結果をまとめることができる			
				1	調理作業を行うための準備が整っていない。結果をまとめることができている			
【教科書・参考書】								
教科書： 長田早苗他編著『Nブックス 三訂 給食の運営 栄養管理・経営管理』（建帛社）、プリント配布								
参考書： 藤原政嘉他編 栄養科学シリーズNEXT『献立作成の基本と実践』（講談社サイエンティフィック）								
【その他】								
課題や調理成果物（給食）のフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 給食管理実習の進め方 給食の運営	事前学習： 1年次の授業の復習をする 事後学習： 授業内容の確認	2時間
2 作業管理 帳票の種類 献立作成	事前学習： 献立作成に必要な情報を収集する 事後学習： 授業内容の確認および献立を完成させる	2時間
3 大量調理機器の取り扱い 機器説明 調理準備 献立作成・発注	事前学習： 大量調理機器の名称・取り扱いについて、教科書と資料を確認する 事後学習： 供食の準備について、教科書と資料を確認する	2時間
4 大量調理機器の取り扱い 調理・供食(1班) 献立作成・試作発注	事前学習： 大量調理機器の名称・取り扱いについて、教科書と資料を確認する 事後学習： 献立を完成させる。授業内容を確認する	2時間
5 作業同線図の作成 レポートのまとめ方・帳票のまとめ方	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。作業同線図を完成させる	2時間
6 大量調理機器の取り扱い 調理・供食(3班) 献立作成・試作発注	事前学習： 大量調理機器の名称・取り扱いについて、教科書と資料を確認する 事後学習： 献立を完成させる。授業内容を確認する	2時間
7 大量調理機器の取り扱い 調理・供食(2班) 献立作成・試作発注	事前学習： 大量調理機器の名称・取り扱いについて、教科書と資料を確認する 事後学習： 献立を完成させる。授業内容を確認する	2時間
8 供食のまとめ 試作準備 発注 試作作業工程表・帳票作成	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、供食後の帳票を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。発注資料を完成させる	2時間
9 試作	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。発注資料を完成させる	2時間
10 試作まとめ 献立変更・発注・媒体作成	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。発注資料を完成させる	2時間
11 調理・供食(1班) 実施献立・帳票作成(2・3班)	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。帳票・資料を完成させる	2時間
12 調理・供食(2班) 実施献立・帳票作成(1・3班)	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。帳票・資料を完成させる	2時間
13 調理・供食(3班) 実施献立・帳票作成(1・2班)	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。帳票・資料を完成させる	2時間
14 帳票作成・評価	事前学習： 作業がスムーズに進むよう、手順を確認する 事後学習： 授業内容を確認する。発表資料を完成させる	2時間
15 まとめ・発表	事前学習： 発表の準備をする。 事後学習： 発表の評価をする。	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0036	給食管理実習Ⅱ	佐藤 美紀 (佐藤 陽子)	前期	選択	実習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 給食の基本的な業務内容を理解し、給食施設の運営方法、技術、知識を習得するため、少人数班にて調理・供食を行う。実習は学生の自主的な運営により、大量調理の計画・実施・評価についてPDCAサイクルを意識して行う。IIはIでの実施結果を検討して帳票類の作成、発表と実習の評価を行う。担当者が病院・給食施設等の栄養食事管理、運営の実務経験から得られた事例を活用して進める。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	給食業務について、適正に評価するための帳票類作成ができる	定期試験	50	5	定期試験の得点が90%以上			
				4	定期試験の得点が75%以上			
				3	定期試験の得点が60%以上			
				2	定期試験の得点が50%以上			
				1	定期試験の得点が50%未満			
		作品	20	5	作成した献立・帳票について、必要事項がもれなく記載され、計算ができる			
				4	作成した献立・帳票について、必要事項の記載・計算がほぼできる			
				3	作成した献立・帳票について、最低限の記載・計算ができる			
				2	献立・帳票について、一部不十分ではあるが完成できる			
				1	献立・帳票について、完成度が低い、もしくは未提出である			
思考力	知識・技術を活用し、給食業務について評価・考察できる	作品	10	5	作成した献立・帳票について、専門的知識・技術を活用し、整合性をもって多角的に考察できる			
				4	作成した献立・帳票について、客観的に評価し、ほぼ整合性をもって考察できる			
				3	作成した献立・帳票を評価し、自分の考察を述べることができる			
				2	作成した献立を評価し、結果を示すことができる			
				1	献立作成が不十分である。評価ができない			
実践力	専門的知識・技術を用い、実施された給食業務を適正に作成・計算・評価することができる。	作品	10	5	作成した献立・帳票類を正確に計算し、その内容を多角的視点・比較をもって評価・改善することができる			
				4	作成した献立・帳票類を計算し、その内容を比較検討して評価・改善することができる			
				3	作成した献立・帳票類の計算ができていて、内容についての評価と考えを述べる ことができる			
				2	作成した献立・帳票類の計算ができる			
				1	献立作成できない・評価ができない			
向上心・責任 感	給食業務において向上心・責任感を持ち、作業に取り組むことができる。	受講態度	10	5	環境や周囲状況を観察し、作業を円滑に進めるために積極的に参加する姿勢が みられる。常に改良・改善を視野に入れた提案・行動ができる			
				4	周囲に配慮しながら、作業を積極的に行動できる。作業の改良・改善を考 えることができる			
				3	周囲と協力しながら、作業を行える。作業の修正ができる。			
				2	作業に参加し、完遂することができる。作業の振り返りができる。			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない。作業が完遂できない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 長田早苗他編著『Nボックス 三訂 給食の運営 栄養管理・経営管理』（建帛社）、プリント配布 参考書： 藤原政嘉他編 栄養科学シリーズNEXT『献立作成の基本と実践』（講談社サイエンティフィック）								
【その他】 課題や調理成果物（給食）のフィードバックを行う 栄養士課程の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 原簿管理について	事前学習: 1年次の授業の復習をする 事後学習: 授業内容の確認	2時間
2 作業工程表・作業同線について 衛生的な調理・清掃の注意点	事前学習: 1年次の授業の復習をする 事後学習: 帳票類を完成させる	2時間
3 廃棄率と発注作業 アンケートについて	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。発注に必要な計算の確認をする	2時間
4 (1班) 残食調査・アンケート集計・評価と改善 (2・3班) 下膳・洗浄(資料作成)	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。各機器の使い方、衛生的な調理について確認する	2時間
5 (2班) 残食調査・アンケート集計・評価と改善 (1・3班) 下膳・洗浄(資料作成)	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。各機器の使い方、衛生的な調理について確認する	2時間
6 (3班) 残食調査・アンケート集計・評価と改善 (1・2班) 下膳・洗浄(資料作成)	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。各機器の使い方、衛生的な調理について確認する	2時間
7 評価・改善につながる帳票作成・発注	事前学習: 教科書の該当部分を読む 事後学習: 帳票、作品を完成させる	2時間
8 栄養価計算ソフトの使い方	事前学習: 計算ソフトの使用法について確認する 事後学習: 計算ソフトを使用して帳票を完成させる	2時間
9 発注に必要な作業 献立の評価と変更 残食調査のまとめ	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 収集した情報をまとめる	2時間
10 栄養媒体の意義と作成	事前学習: 栄養媒体の種類について、教科書で確認する 事後学習: 媒体作成の準備を進める	2時間
11 (1班) 残食調査・アンケート集計・評価と改善 (2・3班) 下膳・洗浄(資料作成)	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。各機器の使い方、衛生的な調理について確認する	2時間
12 (2班) 残食調査・アンケート集計・評価と改善 (1・3班) 下膳・洗浄(資料作成)	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。各機器の使い方、衛生的な調理について確認する	2時間
13 (3班) 残食調査・アンケート集計・評価と改善 (1・2班) 下膳・洗浄(資料作成)	事前学習: 作業が滞りなく進むよう、手順等を確認する 事後学習: 帳票類を完成させる。各機器の使い方、衛生的な調理について確認する	2時間
14 帳票作成・発表準備	事前学習: 実習内容をふまえて改善点を考える 事後学習: 発表資料を準備する	2時間
15 まとめ・発表	事前学習: 発表の準備を行う 事後学習: 各班の発表をまとめる	2時間

ヘルスケア栄養学科 2年次

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0037	給食管理校外実習	佐藤 美紀・飛松 聡・栗岡優希・佐藤 謙子	集中	選択	実習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>学校・病院・福祉施設等の特定給食施設の1施設にて、実際の給食業務に必要な基本的内容について実習する。実習先の管理栄養士または栄養士の指導の下、給食を安全かつ計画に沿って提供するために必要な知識、技術を習得する。期間は10日間実施する。実習前には実習担当教員および実習施設指導者による集中講義等により実習の事前準備を行う。実習は、学外の特定給食施設において各学外実習施設指導者の実務経験をもとに実施する。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人・栄養士としての必要な礼儀・態度を身につける	受講態度	10	5	施設評価および報告会における態度により判断する。必要な礼儀を身につけているとともに、周囲への配慮ができています。			
				4	施設評価および報告会における態度により判断する。必要な礼儀を身につけている。			
				3	施設評価および報告会における態度により判断する。挨拶、期日厳守、言動の自制など、守るべき事項を遵守している。			
				2	施設評価および報告会における態度により判断する。守るべき事項が欠けている。			
				1	守るべき事項を遵守できていない。			
専門的知識・技術	学んだ知識・技術を実習施設の実際に置き換えることができる	作品	20	5	施設評価および作成するノート、課題から判断する。専門的知識・技術の評価点が90%以上			
				4	施設評価および作成するノート、課題から判断する。専門的知識・技術の評価点が70%以上90%未満			
				3	施設評価および作成するノート、課題から判断する。専門的知識・技術の評価点が50%以上70%未満			
				2	施設評価および作成するノート、課題から判断する。専門的知識・技術の評価点が30%以上50%未満			
				1	施設評価および作成するノート、課題から判断する。専門的知識・技術の評価点が30%未満			
思考力	学内で学んだ知識と実習先で学んだ実経験を比較して考察ができる。	作品	25	5	施設評価および作成するノート、課題から判断する。課題に対し、論理的かつ多角的に考察をしている。			
				4	施設評価および作成するノート、課題から判断する。課題に対し、論理的な考察をしている。			
				3	施設評価および作成するノート、課題から判断する。課題に対し、自分の考えを述べる事ができている。			
				2	施設評価および作成するノート、課題から判断する。課題の結果を述べる事ができている。			
				1	施設評価および作成するノート、課題から判断する。課題の形式が整っていない、または未提出である。			
コミュニケーション力	グループ、施設間で協力し、情報を共有して行動することができる	受講態度	10	5	施設評価および課題や報告会における態度により評価する。課題取り組みや情報共有を他者と協力して積極的に進めようとする姿勢が見られる。			
				4	施設評価および課題や報告会における態度により評価する。課題取り組みや情報共有を他者と協力して積極的に進めようとする姿勢が見られる。			
				3	施設評価および課題や報告会における態度により評価する。課題取り組みや情報共有を他者と協力して進めようとする姿勢が見られる。			
				2	施設評価および課題や報告会における態度により評価する。課題取り組みや他者と協力して進めようとする姿勢に消極的な面が見られる。			
				1	施設評価および課題や報告会における態度により評価する。実習に真摯に臨む姿勢が見られない。			
実践力	学んだ専門的知識・技術を活かし、自主的に実践できる	作品	25	5	施設評価および課題から判断する。栄養士業務に対する実践力評価点が90%以上			
				4	施設評価および課題から判断する。栄養士業務に対する実践力評価点が70%以上90%未満			
				3	施設評価および課題から判断する。栄養士業務に対する実践力評価点が50%以上70%未満			
				2	施設評価および課題から判断する。栄養士業務に対する実践力評価点が30%以上50%未満			
				1	施設評価および課題から判断する。栄養士業務に対する実践力評価点が30%未満			
向上心・責任感	学習・行動・言動に関し、責任を持つ態度にて積極的に実践できる	受講態度	10	5	施設評価及び課題への取り組みなどから評価する。課題を確実に実施し、周囲の状況・環境に配慮しながら積極的に行動できる			
				4	施設評価及び課題への取り組みなどから評価する。課題を確実に実施し、積極的に行動できる			
				3	施設評価及び課題への取り組みなどから評価する。課題を実施し、前向きに行動できる			
				2	施設評価及び課題への取り組みなどから評価する。課題の実施や周囲に配慮した行動にやや消極的である			
				1	施設評価及び課題への取り組みなどから評価する。実習に真摯に臨む姿勢が見受けられない			
【教科書・参考書】								
教科書： 校外実習ノート								
参考書： 事前指導時に適宜支持する								
【その他】								
課題のフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 ※実務家教員による授業								

[授業の内容・スケジュール]	[準備学習の内容]	目安時間(時間)
事前学習・準備		
1	① 実習内容の確認と課題の検討	
2	② 課題の事前準備	
3	③ 学内オリエンテーション (外部講師による講和)	
4	④ 実習施設におけるオリエンテーション	
5	⑤ 課題	
校外実習 (10日間)		
6	① 自主課題	
7	② 見学・観察実習	
8	③ 調理実習	
9	④ 献立等帳票類の作成	
10	⑤ 各施設の実習担当者の計画による内容の実習	
事後実習		
11	① 実習ノートおよび課題レポートの提出	
12	② 報告会の準備および発表	
13	③ 報告書作成および提出	
14		
15		

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0041	フードシステムの経済学	中田 玲子	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>食のプロフェッショナルは、食料が消費者に提供されるまでの流れを理解し、フードビジネスをマネジメントする力が求められる。 この授業では、女性の社会進出や家族の小型化などの社会動向による食生活への影響などを考えるとともに、生産者、食品加工や流通、外食産業などの各段階の役割を理解し、食の事業経営において対応すべき事項を学ぶ。 この授業には、実務家教員の調査研究実績を生かし、最新動向なども取り混ぜた授業を行うことにより、食料に対する動向に対する理解を深め、フードサービス開業にも役立つ基礎知識を身につけ、企画立案力、プレゼンテーション力を身につける。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識 技術	食をとり巻く動向、フード経営の観点を理解する	受講態度	40	5	授業内容を理解し、発言ができ、適切なコメントシートを提出している			
				4	授業内容を理解し、発言ができ、コメントシートを提出している			
				3	授業内容を理解し、コメントシートを提出している			
				2	授業に出席し、コメントシートを提出しているが、理解が十分ではない			
				1	授業に出席しているが、十分な参加・理解をするには至っていない			
	実現性があり、魅力的な食イベントの企画書を立案し、発表する	レポート	60	5	期日までに十分に実現性がある企画を立案し、聴衆に分かりやすく発表できる			
				4	期日までに企画を立案し、一定の理解を得られる発表ができる			
				3	期日までに必要な検討事項を網羅した企画を立案し、発表ができる			
				2	期日までに企画を立案したが、検討項目が十分ではなく、理解される発表には至らない			
				1	企画を立案したが、期日までの提出ができず、検討項目が十分ではない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 時子山ひろみ・荏開津典生『フードシステムの経済学 第6版』（医歯薬出版）								
参考書： 日本フードコーディネーター協会編『新・フードコーディネーター教本2025 3級資格認定試験対応テキスト』（柴田書店）								
【その他】								
企画書、プレゼンテーションのフィードバックを行う。								
フードコーディネーターの必修科目								
実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 フードシステムとは	事前学習： 教科書のIntroductionを読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
2 食糧経済の理論	事前学習： 教科書のChaper1を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
3 食生活の成熟	事前学習： 教科書のChaper2を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
4 食料消費パターンの変化	事前学習： 教科書のChaper3を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
5 家族の変化と食生活	事前学習： 教科書のChaper4を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
6 食料の安全保障と自給率	事前学習： 教科書のChaper5を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
7 食品工業の構造	事前学習： 教科書のChaper6を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
8 食品流通業の革新	事前学習： 教科書のChaper7を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
9 外食・中食の成長	事前学習： 教科書のChaper8を読んてくる 事後学習： 学んだ内容を実際の場面で役立てる	4
10 世界の人口と食料	事前学習： 教科書のChaper9を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
11 食生活と政府の役割	事前学習： 教科書のChaper10を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
12 フード・マネジメント	事前学習： 参考書の第11章を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
13 食の企画・構成・演出の流れ	事前学習： 参考書の第13章を読んてくる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
14 フードシステムの経済学の全体像俯瞰、まとめ	事前学習： これまでの配布資料を読み直す 事後学習： 食を取り巻く環境を理解し、特に重要と考える課題を明確化する	4
15 食の企画についてのプレゼンテーション	事前学習： 食の企画を立案したレポートを準備する 事後学習： 自分や他者の発表内容から良かった点、改善点を考える	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0042	フードコーディネート論	中田 玲子	後期	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>フードコーディネートとは、食べることに関わる様々な場面において、食物自体のおいしさ、雰囲気、感情など多岐にわたる条件を調整して、満足のいく場面を演出することである。</p> <p>本授業では、食の文化や歴史を理解し、それらを踏まえた食卓のコーディネート、サービスとマナー、フードサービスに関する知識や実践力を磨き、食のプロフェッショナルとしての総合力を身につける。</p> <p>実務家教員の展示経験等を生かし、授業で学んだ知識に基づく実践の機会として、フードコーディネートの企画書を作成し、作品を制作する演習を行う。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	食の演出の大切さを理解し、社会に通じる基礎知識、マナーを身につける	受講態度	20	5	授業内容を理解し、適切なコメントシートを提出している			
				4	授業内容を理解し、コメントシートを提出している			
				3	授業に出席し、コメントシートを提出している			
				2	授業に出席し、コメントシートを提出しているが、理解が十分ではない			
				1	授業に出席しているが、コメントシートの提出をしていない			
専門的知識 技術	フードサービスに関する知識・応用力を身につけ、フードコーディネートの企画書を作成できる	レポート	40	5	期日までに、十分に実現性があり、独自性のある企画を立案できる			
				4	期日までに、一定の理解を得られる、独自性のある企画を立案できる			
				3	期日までに、必要な検討事項を網羅した企画を立案できる			
				2	企画を立案したが、期日までの提出または検討事項の網羅ができていない			
				1	企画を立案したが、期日までの提出も検討事項の網羅もできていない			
実践力	食空間をコーディネートし、表現する力を身につける	作品	40	5	企画意図を反映し、独自性があり、商品の魅力を伝えられるディスプレイを作成できる			
				4	企画意図に沿い、商品の魅力を伝えられるディスプレイを作成できる			
				3	企画意図に沿ったディスプレイを作成できる			
				2	ディスプレイを作成したが、企画意図を十分に反映していない			
				1	ディスプレイを作成したが、指示事項に沿っていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 日本フードコーディネーター協会編『新・フードコーディネーター教本2025 3級資格認定試験対応テキスト』（柴田書店）								
参考書： (社)日本フードスペシャリスト協会編『三訂フードコーディネート論』（建帛社）								
【その他】								
企画書、作品のフィードバックを行う。								
フードコーディネーターの必修科目								
実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 フードコーディネーターとは フードコーディネーターの要件、シラバスの確認	事前学習： シラバスを確認する 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
2 日本料理の歴史 日本料理の歴史、種類、行事食・郷土食	事前学習： 教科書の第1章第1,2節を読む、食経験のある日本料理を考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
3 西洋料理の歴史 西洋料理の歴史、日本における西洋料理	事前学習： 教科書の第1章第4節を読む、食経験のある西洋料理を考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
4 中国料理の歴史、その他の国の料理の理解 中国料理の歴史、特徴、献立、各国の料理の特徴	事前学習： 教科書の第1章第3,5節を読む、食経験のある各国料理を考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
5 菓子の歴史 和菓子・洋菓子・パンの歴史、菓子・デザート・パン	事前学習： 教科書の第1章を読む、食経験のある菓子やパンを考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
6 テーブルコーディネートの基本 組み立て、約束事、カラーコーディネート	事前学習： 教科書の第9章第1,2節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
7 西洋料理のテーブルコーディネート 約束事、コーディネートアイテム	事前学習： 教科書の第9章第3節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
8 日本料理のテーブルコーディネート 約束事、コーディネートアイテム	事前学習： 教科書の第9章第4節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
9 中国料理のテーブルコーディネート 約束事、コーディネートアイテム	事前学習： 教科書の第9章第5節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
10 メニュープランニング TPO、トレンド、メニュープランニングシート	事前学習： 教科書の第12章を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
11 料理様式とメニュー開発(1) 日本料理や中国料理の様式とメニュー開発	事前学習： 参考書の第5章(要約資料を事前配布)を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
12 料理様式とメニュー開発(2) 西洋料理やその他の料理の様式とメニュー開発	事前学習： 参考書の第5章(要約資料を事前配布)を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
13 食卓のサービスとマナー サービスとマナーの基本、パーティ、プロトコル	事前学習： 参考書の第4章(要約資料を事前配布)を読む、目ごろどのようなマナーを守っているか振り返る 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
14 食企画の制作演習 企画書に基づいた制作、審査	事前学習： 企画書に基づき準備した作品を制作する 事後学習： 他者の作品も観察し、自分の作品を振り返る	4
15 フードコーディネーターのまとめ 制作した作品の振り返り、改良プランの検討	事前学習： 学習した範囲の中で最も興味を持った事項を考える 事後学習： 作品制作を振り返るとともに、授業全体を振り返る	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NC0050	カラーコーディネート論 (演習を含む)	野間 香奈子	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 人間は、身の回りのあらゆる色彩の影響を多分に受けて生活している。色には様々な特徴があり、理論や法則が明確に存在している。色の分類や表し方、慣用色名、心理的効果などの理論的・体系的な専門知識を幅広く学び、配色方法や色彩の効果的な使い方を、演習を通じて身につける。 日常生活やビジネスシーンで、色の特性を活かしたカラーコーディネートを実践できるようにする。 色彩関連、インテリア関連の企業での実務経験から得た知識や、コーディネートプレゼン手法を取り入れ、内装材については実物サンプルを用いて演習を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	色彩の持つ力を理解し、色彩に関する基礎知識を身につける。	確認テスト	50	5	確認テスト1,2の合計(100点満点)が90点以上・出席状況も加味する			
				4	確認テスト1,2の合計(100点満点)が80～89点・出席状況も加味する			
				3	確認テスト1,2の合計(100点満点)が70～79点・出席状況も加味する			
				2	確認テスト1,2の合計(100点満点)が60～69点・出席状況も加味する			
				1	確認テスト1,2の合計(100点満点)が59点以下・出席状況も加味する			
実践力	ルールに従って配色を考え、色を活用することができる。	作品	50	5	提出課題の合計評価(20点満点)が18点以上・授業態度等も加味する			
				4	提出課題の合計評価(20点満点)が16～17点・授業態度等も加味する			
				3	提出課題の合計評価(20点満点)が14～15点・授業態度等も加味する			
				2	提出課題の合計評価(20点満点)が12～13点・授業態度等も加味する			
				1	提出課題の合計評価(20点満点)が11点以下・授業態度等も加味する			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず。プリント配布。 参考書： 日本フードコーディネーター協会編『フードコーディネーター教本』（柴田書店）								
【その他】 フードコーディネーターの必修科目 実務家教員による授業。確認テストや提出課題のフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 概論・色の心理学・色彩の力・コーポレートカラー	事前学習：色に興味を持ち、店舗の看板やロゴマーク等をチェックしておく。 事後学習：講義内容を整理し、コーポレートカラーのイメージを覚える。	4時間
2 眼の構造・安全標識の色・国旗の配色 持ち物：色鉛筆	事前学習：標識の色や、世界の国々の国旗の配色を頭に入れておく。 事後学習：講義内容を整理し、標識の色の意味と国旗の配色を覚える。	4時間
3 混色・襲の色目の配色・配色演習 持ち物：色鉛筆	事前学習：着物や浴衣の配色を観察する。 事後学習：講義内容を整理し、プリントを完成させる。	4時間
4 JIS慣用色名 和色名の名称・26色の色と由来・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習：和菓子や和小物など、和色名が使用されている商品を探す。 事後学習：講義内容を整理し、和色名の正しい呼称と色の系統を覚える。	4時間
5 JIS慣用色名 外来色名の名称・38色の色と由来・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習：洋服やファッション小物など、外来色名が使用されている商品を探す。 事後学習：講義内容を整理し、外来色名の正しい呼称と色の系統を覚える。	4時間
6 マンセル表色系・色の心理効果・視覚効果 持ち物：色鉛筆	事前学習：商品パッケージの色は、どのような効果をもたらしているか考察する。 事後学習：講義内容を整理し、マンセル値のみで色を想像できるようにする。	4時間
7 インテリアカラーコーディネート演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習：インテリアに使用する色による印象の違いを考察する。 事後学習：講義内容を整理し、提出課題を完成させる。	4時間
8 テイスト別コーディネート演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習：レストランやカフェのインテリアの色と柄を観察する。 事後学習：講義内容を整理し、提出課題を完成させる。	4時間
9 確認テスト1・解答解説 持ち物：プリント	事前学習：1～8回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習：プリントの整理をし、確認テストの復習をする。	4時間
10 PCCS表色系・トーンの略号とイメージ 持ち物：ハサミ・糊	事前学習：マンセル表色系の表示方法をもう一度復習しておく。 事後学習：講義内容を整理し、PCCSのトーン分類を書けるようにする。	4時間
11 イメージ別配色法・配色演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習：PCCSのトーンのイメージを掴む。 事後学習：講義内容を整理し、提出課題を完成させる。	4時間
12 和色名31色の色と由来、PCCS値・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習：PCCS表色系の表示方法を理解する。 事後学習：講義内容を整理し、和色名とPCCS値をリンクさせる。	4時間
13 配色技法・外来色名32色の色と由来、PCCS値・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習：PCCS値のみで色を想像できるようにする。 事後学習：講義内容を整理し、外来色名とPCCS値をリンクさせる。	4時間
14 確認テスト2・解答解説 持ち物：プリント	事前学習：10～13回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習：プリントの整理をし、確認テストの復習をする。	4時間
15 配色演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習：配色技法の復習をし、身の回りにある物の配色を観察する。 事後学習：学んだ配色やコーディネートの手法を、実生活に応用する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0051	環境と健康	加藤 智樹	後期	選択	講義	2	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕								
地球規模で変化しつつある環境問題とその健康影響や環境負荷、生態系、生物多様性、食物連鎖・生物濃縮の概念、SDGs(持続可能な開発目標)について知り、の対策を考察する。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がっていくのかを理解する。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	地球規模で変化しつつある環境問題とその健康影響や環境負荷、生態系、生物多様性、食物連鎖・生物濃縮の概念、SDGs(持続可能な開発目標)について知り、の対策を考察する	レポート	50	5	地球環境と人間・生物の健康管理に関する知識を用いて仕上げ、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	地球環境と人間・生物の健康管理に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	地球環境と人間・生物の健康管理に関する知識をレポートにおおよそ記載することができる			
				2	環境と健康管理に関する一般知識をレポートに記載している			
				1	レポートに必要な知識が記載されていない			
向上心・責任感	課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につける	受講態度	50	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題に積極的に取り組みが8割未満である。			
〔教科書・参考書〕								
教科書： 藤城俊幸「生活と環境」東京数学社								
参考書： 川添禎浩「健康と環境の科学」(講談社) 河合真一郎他「環境科学入門(第2版)地球と人類の未来のために」(化学同人)								
〔その他〕 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習してから授業に臨み、授業後は自宅学習にて復習に取り組むこと。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。								
健康管理士一般指導員の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 SDGs(持続可能な開発目標)、環境倫理	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
2 環境教育、人と環境のかかわり	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
3 環境問題の歴史	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
4 まとめ①(1回～3回の復習)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
5 地球環境問題	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
6 空気と大気汚染	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
7 水と水質汚濁	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
8 土と土壌汚染	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
9 化学物質による汚染	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
10 まとめ②(5回～9回の復習)	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
11 放射能汚染	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
12 汚染物質の毒性と生体内での代謝	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
13 内分泌かく乱物質	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
14 飲料水と食品、ゴミと廃棄物	事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める	4時間
15 総復習(1回～14回の復習)	事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0056	食事計画論（演習含む）	佐藤 美紀	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
栄養士が各特定給食施設にて業務を遂行するには、食事計画および献立立案力が必要となる。食事を計画するには、知識の習得および献立立案から実際の調理までの流れを理解する必要がある。本科目では特に食事計画を中心として、献立作成に必要な基礎知識の習得と献立立案・作成の技術を理論的に学修する。授業は担当者の病院等の栄養食事管理、指導の実務経験から得られた事例を活用し進める。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食事計画および献立作成手順を習得し、食事計画に基づいた献立立案ができる。献立の評価方法を理解し、客観的に評価できる	確認テスト	30	5	3回実施する確認テストの結果により、評価点が90%以上			
				4	3回実施する確認テストの結果により、評価点が70%以上90%未満			
				3	3回実施する確認テストの結果により、評価点が50%以上70%未満			
				2	3回実施する確認テストの結果により、評価点が30%以上50%未満			
				1	3回実施する確認テストの結果により、評価点が30%未満			
		作品	30	5	作成した献立・帳票について、必要事項がもれなく記載され、計算ができてい			
				4	作成した献立・帳票について、必要事項の記載・計算がほぼできてい			
				3	作成した献立・帳票について、最低限の記載・計算ができてい			
				2	献立・帳票について、完成することができた			
				1	献立・帳票について、完成度が低い、もしくは未提出である			
思考力	知識・技術を活用し、実現可能な食事計画から献立立案・作成の一連を考えることができる	作品	20	5	作成した献立・帳票について、必要事項がもれなく記載され、計算ができてい			
				4	作成した献立・帳票について、必要事項の記載・計算がほぼできてい			
				3	作成した献立・帳票について、最低限の記載・計算ができてい			
				2	献立・帳票について、完成することができた			
				1	献立・帳票について、完成度が低い、もしくは未提出である			
		レポート	20	5	作成した献立を客観的に評価し、その内容を整合性をもって多角的に考察できている			
				4	作成した献立を客観的に評価し、ほぼ整合性をもって考察できている			
				3	作成した献立を評価し、自分の考察を述べることができている			
				2	作成した献立を評価し、結果を示すことができている			
				1	献立作成、評価に到達できていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 藤原政嘉他編 栄養科学シリーズNEXT『献立作成の基本と実践』（講談社サイエンティフィック）								
参考書： 給食計画・実務論の教科書、山崎清子他『調理と理論』（同文書院）、食品成分表（女子栄養大学出版部）								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 献立の意義・役割	事前学習： 栄養士基礎演習（栄養士の仕事）の内容を復習しておく 事後学習： プリントを完成させる	2時間
2 献立の基本構成と要素	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
3 調味と調理の基礎 味の相乗効果体験 (演習)	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
4 献立計画 I 給与栄養目標量	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
5 献立計画 II 加重平均栄養成分表・食品構成表	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
6 献立の立案 I 行事・年間予定・予定献立	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
7 献立の立案 II 確認テスト	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
8 施設別献立作成 学校給食	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
9 施設別献立作成 病院給食	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
10 施設別献立作成 事業所給食	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
11 施設別献立作成 介護老人福祉施設	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
12 施設別献立作成 児童福祉施設 確認テスト	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： プリントを完成させる	2時間
13 献立作成 (演習)	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： 献立を完成させる	2時間
14 献立の評価 実施献立・献立の改善	事前学習： 教科書の該当ページを確認する 事後学習： 評価を完成させる	2時間
15 発表・まとめ 確認テスト	事前学習： 今までの学びを復習する 事後学習： 確認テストを復習する	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NC0058	スポーツ科学特論	古泉 一久	後期	選択	講義	2	×	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
スポーツ、運動、トレーニングの理論について学習する。さらに栄養士として健康への影響を理解し、将来に向けて適切な判断力、理解力を習得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	スポーツのトレーニング方法、技術の習得に関する基本的な知識を理解する。	定期試験	70	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	提示された図表、データや情報に対して論理的根拠を元に考察、判断することができる。	定期試験	30	5	課題に対し論理的整合性を持ち考察している。			
				4	課題に対しほぼ論理的整合性を持った考察をしている。			
				3	課題に対しほぼ論理的整合性を持った考察をしている。			
				2	課題に対して結果を述べることができる。			
				1	形式が整っていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 特になし、資料を配布する。								
参考書： 山本正嘉著「トレーニング科学」市村出版								
【その他】 授業内で行う小レポートについては随時フィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 ガイダンス(授業の目的、方法) スポーツにおける「科学的」とは何か	事前学習: 「スポーツ科学」という言葉にどのようなイメージを持つか考える。 事後学習: 授業内容を踏まえて「スポーツ」の「科学」とは何かを整理する。	4時間
2 筋肉はどのように成り立っているのか 筋肉の増殖、抑制はどのように決定されるのか	事前学習: これまで他の授業で学習した筋肉についての知識を復習する。 事後学習: 新しく知った知識、理論があれば理解に努める。	4時間
3 スポーツ、運動と筋線維組成との関係	事前学習: これまで他の授業で学習した筋線維組成についての知識を復習する。 事後学習: 新しく知った知識、理論があれば理解に努める。	4時間
4 筋肉を増やす、見栄えをよくする、ためにどうするか	事前学習: これまで他の授業で学習した筋肥大と栄養との関係について復習する。 事後学習: 新しく知った知識、理論があれば理解に努める。	4時間
5 様々なトレーニング方法、筋肉痛との関係	事前学習: これまで経験したことのあるトレーニング方法を説明できるようにする。 事後学習: 筋肉痛の発生機序について復習する。	4時間
6 スポーツ種目別の筋力特性 速度-力関係	事前学習: スポーツ種目別における筋力発揮の違いについて考察しておく。 事後学習: 速度-力関係、パワーとは何か、などについて復習する。	4時間
7 身体組成の測定、評価について	事前学習: これまで他の授業で学習した身体組成についての知識を整理しておく。 事後学習: 身体組成測定の理論的説明ができるように復習する。	4時間
8 減量するための運動とは(体脂肪を減らす)	事前学習: これまで他の授業で学習したダイエットについての知識を整理しておく。 事後学習: 新しく知った知識、理論があれば理解に努める。	4時間
9 運動と乳酸との関係、疲労の原因?	事前学習: 運動時のエネルギー代謝について復習し、説明できるようにしておく。 事後学習: 運動時の疲労とは何か、代謝の仕組みから理解に努める。	4時間
10 スポーツ能力としての代謝機能、無酸素性作業閾値	事前学習: スポーツ種目別のエネルギー代謝について考察する。 事後学習: 無酸素性作業閾値とは何か、理解に努める。	4時間
11 運動時の心拍数について、その評価と活用方法	事前学習: 自分の安静時心拍数を測定し、これまでの運動経験との関係を考察する。 事後学習: 新しく知った知識、理論があれば理解に努める。	4時間
12 スポーツ技術の習得、理論的背景	事前学習: 自分のスポーツ経験を振り返り、どのようにして覚えていったのかを説明できるようにしておく。 事後学習: 「カラダで覚える」についての理論的説明ができるようにする。	4時間
13 スポーツにおいて「見る」とは	事前学習: これまでのスポーツ経験で「見る」ことへの認識について考察する。 事後学習: スポーツ選手において「見る」ことの理論的理解に努める。	4時間
14 スポーツと潜在的知覚	事前学習: 「錯視」とは何か、について調べておく。 事後学習: 潜在的知覚とスポーツ場面との関係について理論的理解に努める。	4時間
15 スポーツ科学未知の領域、「ゾーン」に入るとは 試験に向けてのまとめ	事前学習: これまで配布した資料を整理しておく。 事後学習: 試験問題に向けてのポイントを学習しておく。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0060	世界の料理と食文化	佐藤 陽子	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食文化は、気候や風土、歴史、宗教、生活習慣、価値観などが反映しており、人々が何をどのように作り、どのように食べるかという「食のあり方」を通して形成されるものである。また、社会や時代の変化とともに発展し続け、人々の「おいしさ」への追求によって多様な料理が生み出されてきた。本授業では、料理を中心に世界各国の食文化を学び、その歴史的背景や自然環境との関わりを理解するとともに、異文化理解を深め、食料問題や環境問題について考える力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	料理の成り立ちを食文化を踏 まえて理解できる	確認テスト	40	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		レポート	40	5	毎回実施するショートレポートに、授業内容を理解していることが何え、自分自身の考えを理論的に関連付けて述べることができる。			
				4	毎回実施するショートレポートに、授業内容を理解していることが何え、自分自身の考えを述べることができる。			
				3	毎回実施するショートレポートに、授業内容を理解していることが何える。			
				2	毎回実施するショートレポートに、授業内容を概ね理解していることが何える。			
				1	毎回実施するショートレポートに、授業内容を理解していることが何えな い。			
向上心・責任 感	食文化の形成に起因する要素 を、自らの持つ知識や調査し た内容を踏まえて表現するこ とができる	作品	20	5	郷土料理の成り立ちを明らかにし、その活用法、継承について現代社会の問題点を踏まえ、自らの考えを入れて説明することができる。			
				4	郷土料理の成り立ちを明らかにし、その活用法、継承について、自らの考えを入れて説明することができる。			
				3	郷土料理の成り立ちを明らかにし、その活用法、継承について説明することができる。			
				2	郷土料理の成り立ちを明らかにし、説明することができる。			
				1	郷土料理の成り立ちを明らかにしている。			
【教科書・参考書】								
教科書： 授業内にプリントを配布する								
参考書： 鈴木志保子、他／著 『日本からみた世界の食文化―食の多様性を受け入れる―』（第一出版）								
【その他】								
確認テストおよびレポート提出後にフィードバックを行う								

ヘルスケア栄養学科 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 食文化の定義 日本の料理と食文化①和食の成り立ち、食事様式	事前学習： 日本の食文化について考えておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
2 日本の料理と食文化②年中行事、郷土料理 異文化が及ぼした日本の食への影響	事前学習： 年中行事を振り返る 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
3 日本の料理と食文化③ 郷土料理を知る～資料作成～郷土料理の背景	事前学習： 日本の郷土料理で興味があるものを調べておく 事後学習： 郷土料理の地域別の特徴をまとめる(レポート)	4時間
4 日本の料理と食文化④ 郷土料理を知る～資料作成～郷土料理の紹介	事前学習： 資料の内容を充実させる情報を収集しておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
5 世界の料理と食文化① 思想・宗教について	事前学習： 各国の思想・宗教について調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
6 世界の料理と食文化② 台湾、中華人民共和国	事前学習： 中国料理の特徴を考える 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
7 世界の料理と食文化③ 大韓民国、インドネシア	事前学習： アジア料理の特長をまとめる 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
8 世界の料理と食文化④ タイ、マレーシア	事前学習： アジア料理の調味料を調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
9 世界の料理と食文化⑤ インド、トルコ共和国	事前学習： 世界4大料理を調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
10 世界の料理と食文化⑥ フランス、イタリア	事前学習： フランス料理とイタリア料理の関係性を調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
11 世界の料理と食文化⑦ スペイン、ドイツ	事前学習： 南ヨーロッパ、中央ヨーロッパの料理について調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
12 世界の料理と食文化⑧ イギリス、ブルガリア共和国	事前学習： 西ヨーロッパ、東ヨーロッパの料理について調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
13 世界の料理と食文化⑨ エジプト、モロッコ	事前学習： アフリカの特徴的な食材を調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
14 世界の料理と食文化⑩ メキシコ、アメリカ合衆国	事前学習： 中南米の特長的な食材を調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
15 近年の食事情(グルテンフリー、ヴィーガンなど)	事前学習： 食の未来を考えてみる 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NC0061	栄養士実践演習	飛松聡・佐藤美記 ・栗岡優希・佐藤 耀子	集中	選択	講義・演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
産学連携によるアクティブラーニングの一環で、市場調査、メニューの作成、提案を行う。栄養士としての視点を意識しつつも、消費者の視点や販売物ができるまでの全ての工程を意識する力を育む。グループディスカッション、プレゼンテーションを通し、考える力・伝える力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養士の基本的な知識・技術を身につけることができる	作品	20	5	栄養士として学んだ知識および考察を記載することができる			
				4	栄養士として学んだ知識を明瞭に記載することができる			
				3	栄養士として学んだ知識をおおよそ記載することができる			
				2	一般的な知識を記載することができる			
				1	テーマに類似した内容が記載されている			
思考力	知識を活用し、問題解決に向け、計画・準備できる	レポート	20	5	テーマに沿った内容と栄養士視点での考察が明瞭に記載されている			
				4	テーマに沿った内容と栄養士視点での考察が記載されている			
				3	テーマに沿った内容および考察が記載されている			
				2	テーマに沿った内容が記載されている			
				1	書式に従って記載されている			
		作品	20	5	問題解決に向け、今まで学んできた知識を用いて多角的な考察をしている			
				4	今まで学んできた知識を用いて多角的な考察をしている			
				3	今まで学んできた知識を活用した内容である			
				2	一部に今まで学んできた知識が含まれている			
				1	作品を提出できている			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	一部にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				1	グループワークに参加する姿勢が見受けられる			
実践力	栄養士としての専門的知識・技術を活用し、実践できる	レポート	20	5	実践を見据えた内容と栄養士視点での考察が明瞭に記載されている			
				4	実践を見据えた内容と栄養士視点での考察が記載されている			
				3	実践を見据えた内容および考察が記載されている			
				2	実践を見据えた内容が記載されている			
				1	書式に従って記載されている			
		受講態度	10	5	目的に合わせて自分の役割を果たし、周りの状況をみながら積極的に行動している			
				4	目的に合わせて自分の役割を果たし、周りの状況をみながら行動をしている			
				3	目的に合わせて自分の役割を果たす行動をしている			
				2	自分の役割を果たす行動をしている			
				1	指示に従って行動している			
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜配布する								
参考書：								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。 栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 産学連携によるアクティブラーニングⅠ (1)	事前学習： 今までの学びを整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
2 産学連携によるアクティブラーニングⅠ (2)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
3 産学連携によるアクティブラーニングⅠ (3)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
4 産学連携によるアクティブラーニングⅠ (4)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
5 産学連携によるアクティブラーニングⅠ (5)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： レポート作成	2時間
6 商品開発の実際 (外部講師)	事前学習： 食品会社に関する内容を整理しておく 事後学習： レポート作成	2時間
7 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (1) (外部講師)	事前学習： 今までの学びを整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
8 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (2) (外部講師)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
9 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (3) (外部講師)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
10 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (4)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
11 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (5)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
12 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (6)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
13 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (7)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理しておく	2時間
14 産学連携によるアクティブラーニングⅡ (8)	事前学習： 前回内容を整理しておく 事後学習： レポート作成	2時間
15 産学連携の総括	事前学習： 事後学習： レポート作成	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0062	栄養士総合演習	守田麻由子・加藤智樹 佐藤美紀・飛松聡 高岡隆希・佐藤麻子	集中	選択	講義・演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 栄養士実力認定試験対策とその解説発表を通して、栄養士としての知識を高める								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養士の基本的な知識・技術 を身につけることができる	確認テスト	50	5	実力認定試験および模擬試験結果の合計が60%以上			
				4	実力認定試験および模擬試験結果の合計が50%以上			
				3	実力認定試験および模擬試験結果の合計が30%以上			
				2	実力認定試験および模擬試験結果の合計が10%以上			
				1	実力認定試験および模擬試験結果の合計が10%以下			
向上心・責任 感	栄養士の役割を理解し、自分 自身を高める学習や行動を積 極的にできる	受講態度	25	5	課題に対し積極的に取り組み、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	課題に対し積極的に取り組む姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
		確認テスト	25	5	実力認定試験および模擬試験結果の合計が60%以上			
				4	実力認定試験および模擬試験結果の合計が50%以上			
				3	実力認定試験および模擬試験結果の合計が30%以上			
				2	実力認定試験および模擬試験結果の合計が10%以上			
				1	実力認定試験および模擬試験結果の合計が10%以下			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 全国栄養士養成施設協会 編『栄養士実力認定試験過去問題集』（建帛社）、その他適宜指示をする								
参考書：								
【その他】								
課題やレポートのフィードバックを行う。 栄養士課程の必修科目								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	栄養士実力認定試験について (守田) 栄養士実力認定試験対策1 (以下主担当:栗岡)	事前学習: 問題集をみておく 事後学習: 過去問題を解く	2時間
2	栄養士実力認定試験対策2	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
3	栄養士実力認定試験対策3	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
4	模擬試験1	事前学習: 過去問題を整理する 事後学習: 模擬試験を解きなおす	2時間
5	栄養士実力認定試験対策4	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
6	栄養士実力認定試験対策5	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
7	模擬試験2	事前学習: 過去問題を整理する 事後学習: 模擬試験を解きなおす	2時間
8	栄養士実力認定試験対策6	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
9	栄養士実力認定試験対策7	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
10	模擬試験3	事前学習: 過去問題を整理する 事後学習: 模擬試験を解きなおす	2時間
11	栄養士実力認定試験対策8	事前学習: 過去問題を解く 事後学習: 過去問題を解く	2時間
12	栄養士実力認定試験問題の復習	事前学習: 栄養士実力認定試験問題を確認する 事後学習: 栄養士実力認定試験問題を解く	2時間
13	栄養士実力認定試験解説発表1	事前学習: 解説をまとめる 事後学習: 栄養士実力認定試験問題を解く	2時間
14	栄養士実力認定試験解説発表2	事前学習: 解説をまとめる 事後学習: 栄養士実力認定試験問題を解く	2時間
15	栄養士実力認定試験解説発表3	事前学習: 解説をまとめる 事後学習: 栄養士実力認定試験問題を解く	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0068	食と生活	守田麻由子・佐藤美紀 栗岡優希・佐藤穂子	集中	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
ライフスタイルが多様化する中、食を取り巻く環境は変化している。また、社会の高ストレス化が加わり、食生活がもたらす健康が問題視されている。その中で、「食と生活」についてしっかりと知識を持つことは大切である。本授業は、生活者・消費者として生きるためのよりよい食生活の実践知識を習得し、食生活アドバイザー3級の取得を目指す。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	生活者・消費者として生きるための食生活に関わる内容について理解する。	確認テスト	70	5	授業内で実施する確認テストの評価点が90%以上			
				4	授業内で実施する確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	授業内で実施する確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	授業内で実施する確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	授業内で実施する確認テストの評価点が30%未満			
		レポート	15	5	専門分野に関する知識だけでなく、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる。			
				3	専門分野に関する知識をレポートにおおよそ記載することができる。			
				2	一般知識をレポートに記載している			
				1	レポートに必要な知識が記載されていない			
思考力	知識を活用して、プロセスを 考えることができる。	レポート	15	5	テーマに沿った記載がされ、自身の考えが他者にも分かりやすくまとめられている			
				4	テーマに沿った記載がされ、自身の考えが分かりやすくまとめられている			
				3	テーマに沿った記載がされ、自身の考えがまとめられている			
				2	テーマに沿った記載がされている			
				1	テーマに類似した内容が記載されている			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 『食生活アドバイザー3級公式テキスト&問題集』（日本能率協会マネジメントセンター）								
参考書：								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。								
オンライン科目								

ヘルスケア栄養学科 1年次

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	栄養と食に関する基礎知識(1) 確認テスト (栗岡)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
2	栄養と食に関する基礎知識(2) 確認テスト (栗岡)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
3	栄養と食に関する基礎知識(3) 確認テスト (栗岡)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間
4	食文化と食習慣に関する基礎知識(1) 確認テスト (佐藤陽)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
5	食文化と食習慣に関する基礎知識(2) 確認テスト (佐藤陽)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間
6	食品に関する基礎知識(1) 確認テスト (守田)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
7	食品に関する基礎知識(2) 確認テスト (守田)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
8	食品に関する基礎知識(3) 確認テスト (守田)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間
9	衛生に関する基礎知識(1) 確認テスト (佐藤陽)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
10	衛生に関する基礎知識(2) 確認テスト (佐藤陽)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
11	衛生に関する基礎知識(3) 確認テスト (佐藤陽)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間
12	食マーケットに関する基礎知識(1) 確認テスト (佐藤美)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 講義内容を復習、理解する。	2時間
13	食マーケットに関する基礎知識(2) 確認テスト (佐藤美)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間
14	社会生活に関する基礎知識 確認テスト (守田)	事前学習: テキストを確認する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間
15	まとめ 確認テスト (守田・佐藤美・栗岡・佐藤陽)	事前学習: 今までの学びを復習する 事後学習: 確認テストを復習する	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0070	食と生活習慣病	飛松 聡	集中	選択	講義	2	×	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
生活習慣病は生活習慣が要因となり発症する疾患の総称である。食事は生活習慣の影響を受けると共に生活習慣病の発症に大きな影響を与える1つの要因である。この科目では、代表する生活習慣病と食事の関係を理解し、その予防や治療に必要な食事および生活習慣の知識を習得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	生活習慣病と食事との関係を理解し、その予防や改善となる食生活について理解している	確認テスト	50	5	確認テストの合計の評価点が90%以上			
				4	確認テストの合計の評価点が70%以上			
				3	確認テストの合計の評価点が60%以上			
				2	確認テストの合計の評価点が40%以上			
				1	確認テストの合計の評価点が40%未満			
		レポート	20	5	特定の生活習慣病と食事やその他の生活環境が関連していることを具体的に理解できている。			
				4	特定の生活習慣病と食事やその他の生活環境が関連していることを理解できている。			
				3	特定の生活習慣病と食生活の関連を理解している			
				2	生活習慣病と食生活の関連を大まかに理解している			
				1	生活習慣病と食生活の関連を理解していない			
思考力	生活習慣病と食事の関係を理解した上で、具体的な予防法や自分の考えをもつことができる	レポート	30	5	信頼できる情報を基に関連する内容について自分の考えをまとめ述べることができる			
				4	情報を基に関連する内容について自分の考えをまとめ述べることができる			
				3	関連する内容について自分の考えをまとめ述べることができる			
				2	自分の考えをまとめ述べることができる			
				1	意見を述べている			
【教科書・参考書】								
教科書： なし								
参考書： 坂根直樹『まるごとわかる生活習慣病』（南山堂）								
【その他】								
提出されたレポートを返却してフィードバックを行う								
オンライン科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 はじめに 食と生活習慣病の歴史	事前学習： 生活習慣病について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
2 生活習慣病の予防	事前学習： 自分の生活習慣について振り返る 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
3 食と肥満症	事前学習： 肥満症について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
4 食と糖尿病	事前学習： 糖尿病について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
5 食と高血圧症 確認テスト①	事前学習： 高血圧症について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
6 食と脂質異常症	事前学習： 脂質異常症について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
7 メタボリックシンドロームと特定検診・特定保健指導	事前学習： メタボリックシンドロームについて調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
8 食と痛風・高尿酸血症	事前学習： 痛風・高尿酸血症について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
9 食と脂肪肝	事前学習： 脂肪肝について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
10 食と慢性腎臓病 確認テスト②	事前学習： 慢性腎臓病について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
11 食と歯周病	事前学習： 歯周病について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
12 食と骨粗鬆症	事前学習： 骨粗鬆症について調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
13 食とがん	事前学習： がんについて調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
14 食とフレイル	事前学習： フレイルについて調べる 事後学習： 授業内の内容を復習する	4時間
15 まとめ 確認テスト③	事前学習： これまでの復習とこれからの食生活について考える 事後学習：	4時間

ヘルスケア栄養学科 1年次

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0071	ヘルスケア栄養学特別演習ⅠA	ヘルスケア栄養 学科専任教員	前期	必修	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人の健康を食と栄養の面から支援・指導できる能力を養い、社会に貢献する人材育成を目的とする。学校行事への参加および学外見学や講演会などの鑑賞・聴講により、教養やコミュニケーション力、社会性を高めることを目指す。報告書（レポート）作成を通じて、文章作成能力や表現力の向上を図る。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	教養、マナーを身につける	レポート	40	5	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、ポイント立てて記載されている			
				4	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、記載されている			
				3	講演者などが提供するテーマに沿った内容が記載されている			
				2	講演者などが提供する内容が記載されている			
				1	形式が整っていない			
思考力	自分の考えを具体化することができる	レポート	10	5	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的かつ多角的に分かりやすくまとめられている			
				4	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的にまとめられている			
				3	自身の考えが論理的にまとめられている			
				2	自身の考えがまとめられている			
				1	聞いたことあるいは取り組んだことがまとめられている			
コミュニケー ション力	グループで協力することがで きる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任 感	自分自身を高める学習や行動 を積極的に実践できる	受講態度	40	5	授業や課題に対する取り組みから、置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	授業や課題に対する取り組みから、積極的に行動できる			
				3	授業や課題に対する取り組みから、前向きに行動することができる			
				2	授業や課題に対する取り組みから、やや消極的である			
				1	授業や課題に対する取り組みから、演習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用しない								
参考書： プリントなど、適宜指示する								
【その他】								
8コマ分の内容で、行事、講演、実習、研修などの活動を実施する。								
内容やスケジュールの変更あり。課題については振り返り授業でフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	フレッシュマンセミナーⅠ 社会人基礎力およびコミュニケーション力を高める (守田)	事前学習: 1年次の自己分析結果を確認する 事後学習: レポート作成	1時間
2	フレッシュマンセミナーⅡ (担任)	事前学習: ネットや図書館の資料を活用し、事前に調査する 事後学習: レポート作成	1時間
3	食生活・食文化の基礎知識 (担任)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
4	スポーツコミュニケーション (全員)	事前学習: 学生間でのコミュニケーションを図る 事後学習: レポート作成	1時間
5	自己分析	事前学習: 自分自身についての理解を深める 事後学習: 自分自身についての理解を深める	1時間
6	自己理解 (飛松)	事前学習: 学生間でのコミュニケーションを図る 事後学習: レポート作成	1時間
7	講演会 (全員)	事前学習: ネットや図書館の資料を活用し、事前に調査する 事後学習: レポート作成	1時間
8	研究Ⅰ(グループディスカッションを含む) (全員)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間

ヘルスケア栄養学科 1年次

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0072	ヘルスケア栄養学特別演習ⅠB	ヘルスケア栄養 学科専任教員	後期	必修	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人の健康を食と栄養の面から支援・指導できる能力を養い、社会に貢献する人材育成を目的とする。学校行事への参加および学外見学や講演会などの鑑賞・聴講により、教養やコミュニケーション力、社会性を高めることを目指す。報告書（レポート）作成を通じて、文章作成能力や表現力の向上を図る。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	教養、マナーを身につける	レポート	40	5	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、ポイント立てて記載されている			
				4	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、記載されている			
				3	講演者などが提供するテーマに沿った内容が記載されている			
				2	講演者などが提供する内容が記載されている			
				1	形式が整っていない			
思考力	自分の考えを具体化することができる	レポート	10	5	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的かつ多角的に分かりやすくまとめられている			
				4	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的にまとめられている			
				3	自身の考えが論理的にまとめられている			
				2	自身の考えがまとめられている			
				1	聞いたことあるいは取り組んだことがまとめられている			
コミュニケー ション力	グループで協力することがで きる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任 感	自分自身を高める学習や行動 を積極的に実践できる	受講態度	40	5	授業や課題に対する取り組みから、置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	授業や課題に対する取り組みから、積極的に行動できる			
				3	授業や課題に対する取り組みから、前向きに行動することができる			
				2	授業や課題に対する取り組みから、やや消極的である			
				1	授業や課題に対する取り組みから、演習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用しない								
参考書： プリントなど、適宜指示する								
【その他】								
8コマ分の内容で、行事、講演、実習、研修などの活動を実施する。								
内容やスケジュールの変更あり。課題については振り返り授業でフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 研究Ⅱ (グループディスカッションを含む) (全員)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
2 研究Ⅲ (グループディスカッションを含む) (全員)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
3 研究Ⅳ (グループディスカッションを含む) (全員)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
4 研究Ⅴ (グループディスカッションを含む) (全員)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
5 進路セミナーⅠ 自己分析PROG	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
6 進路セミナーⅡ 自己理解 PROG解説	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
7 進路セミナーⅢ マナーとグループディスカッション	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間
8 テーブルマナー 和食 (担当: 佐藤陽)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間

ヘルスケア栄養学科 2年次

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0073	ヘルスケア栄養学特別演習ⅡA	ヘルスケア栄養 学科専任教員	前期	必修	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人の健康を食と栄養の面から支援・指導できる能力を養い、社会に貢献する人材育成を目的とする。学校行事への参加および学外見学や講演会などの鑑賞・聴講により、教養やコミュニケーション力、社会性を高めることを目指す。報告書（レポート）作成を通じて、文章作成能力や表現力の向上を図る。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	教養、マナーを身につける	レポート	40	5	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、ポイント立てて記載されている			
				4	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、記載されている			
				3	講演者などが提供するテーマに沿った内容が記載されている			
				2	講演者などが提供する内容が記載されている			
				1	形式が整っていない			
思考力	自分の考えを具体化することができる	レポート	10	5	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的かつ多角的に分かりやすくまとめられている			
				4	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的にまとめられている			
				3	自身の考えが論理的にまとめられている			
				2	自身の考えがまとめられている			
				1	聞いたことあるいは取り組んだことがまとめられている			
コミュニケー ション力	グループで協力することがで きる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任 感	自分自身を高める学習や行動 を積極的に実践できる	受講態度	40	5	授業や課題に対する取り組みから、置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	授業や課題に対する取り組みから、積極的に行動できる			
				3	授業や課題に対する取り組みから、前向きに行動することができる			
				2	授業や課題に対する取り組みから、やや消極的である			
				1	授業や課題に対する取り組みから、演習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用しない								
参考書： プリントなど、適宜指示する								
【その他】								
8コマ分の内容で、行事、講演、実習、研修などの活動を実施する。								
内容やスケジュールの変更あり。課題については振り返り授業でフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 進路セミナー I 自己分析・履歴書・エントリーシートの書き方	事前学習: 1年次の自己分析結果を確認する 事後学習: レポート作成	1時間
2 研修旅行 I (担任)	事前学習: ネットや図書館の資料を活用し、事前に調査する 事後学習: レポート作成	1時間
3 研修旅行 II (担任)	事前学習: ネットや図書館の資料を活用し、事前に調査する 事後学習: レポート作成	1時間
4 研修旅行 III (担任)	事前学習: ネットや図書館の資料を活用し、事前に調査する 事後学習: レポート作成	1時間
5 研修旅行 IV 振り返り (担当: 佐藤陽)	事前学習: 各自で研修旅行の振り返りをする 事後学習: レポート作成	1時間
6 スポーツコミュニケーション (全員)	事前学習: 学生間でのコミュニケーションを図る 事後学習: レポート作成	1時間
7 講演会 (全員)	事前学習: ネットや図書館の資料を活用し、事前に調査する 事後学習: レポート作成	1時間
8 研究 I (グループディスカッションを含む) (全員)	事前学習: 指定された資料を見ておく 事後学習: レポート作成	1時間

ヘルスケア栄養学科 2年次

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0074	ヘルスケア栄養学特別演習ⅡB	ヘルスケア栄養 学科専任教員	後期	必修	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人の健康を食と栄養の面から支援・指導できる能力を養い、社会に貢献する人材育成を目的とする。学校行事への参加および学外見学や講演会などの鑑賞・聴講により、教養やコミュニケーション力、社会性を高めることを目指す。報告書（レポート）作成を通じて、文章作成能力や表現力の向上を図る。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	教養、マナーを身につける	レポート	40	5	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、ポイント立てて記載されている			
				4	講演者などが提供するテーマに沿った内容が整理、記載されている			
				3	講演者などが提供するテーマに沿った内容が記載されている			
				2	講演者などが提供する内容が記載されている			
				1	形式が整っていない			
思考力	自分の考えを具体化することができる	レポート	10	5	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的かつ多角的に分かりやすくまとめられている			
				4	テーマの中から課題をみつけ、自身の考えが論理的にまとめられている			
				3	自身の考えが論理的にまとめられている			
				2	自身の考えがまとめられている			
				1	聞いたことあるいは取り組んだことがまとめられている			
コミュニケー ション力	グループで協力することがで きる	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任 感	自分自身を高める学習や行動 を積極的に実践できる	受講態度	40	5	授業や課題に対する取り組みから、置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	授業や課題に対する取り組みから、積極的に行動できる			
				3	授業や課題に対する取り組みから、前向きに行動することができる			
				2	授業や課題に対する取り組みから、やや消極的である			
				1	授業や課題に対する取り組みから、演習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用しない								
参考書： プリントなど、適宜指示する								
【その他】								
8コマ分の内容で、行事、講演、実習、研修などの活動を実施する。								
内容やスケジュールの変更あり。課題については振り返り授業でフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 洋食とホスピタリティを考える テーブルマナー（ビジネスマナーを含む） （担当：佐藤陽）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
2 研究Ⅱ（グループディスカッションを含む） （全員）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
3 研究Ⅲ（グループディスカッションを含む） （全員）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
4 研究Ⅳ（グループディスカッションを含む） （全員）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
5 研究Ⅴ（グループディスカッションを含む） （全員）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
6 研究Ⅵ（グループディスカッションを含む） （全員）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
7 進路セミナーⅡ ホスピタリティ・社会人基礎力を高める	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間
8 進路セミナーⅢ （全員）	事前学習： 指定された資料を見ておく 事後学習： レポート作成	1時間

ヘルスケア栄養学科 2年次

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0075	スポーツと栄養	新生 暁子	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートからスポーツ愛好者までの方が、良好なコンディションを維持しパフォーマンスを向上させるため、もしくは健康維持増進のための運動には適切な栄養摂取が欠かせないことを学ぶ。 ・一般の人における健康と運動の関係、障がい者のスポーツ栄養学についても学ぶ。 ・様々なステージのスポーツ栄養を理解する 								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	健康の維持およびパフォーマンス向上のために栄養学の知識が必要なことを知る	確認テスト	70	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	科学的根拠に基づく最新の情報とデータを調べて考えることができる	作品	30	5	課題内容が、学んだ知識を活用し、多角的に考え、仕上げた内容であり、他者にもわかりやすいものである			
				4	課題内容が、学んだ知識を活用し、多角的に考察した内容である			
				3	課題内容が、学んだ知識を活用した内容である			
				2	課題内容に学んだ知識が含まれており、まとまりがある			
				1	課題内容に学んだ知識が含まれずまとまりがない			
【教科書・参考書】 <p>教科書： 大嶋 里美・田村 明・徳野 裕子・古川 寛 著『イラスト スポーツ栄養学』（東京教学社）</p> <p>参考書： 田中紀子・平野直美編『スポーツ栄養学』（化学同人）</p>								
【その他】 <p>レポート等のフィードバックを行う。</p>								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 授業の説明 スポーツ栄養とアスリート	事前学習： 基礎栄養学・生化学・運動生理学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	3時間
2 エネルギー	事前学習： 運動時のエネルギー源について調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
3 糖質・脂質・たんぱく質	事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
4 糖質・脂質・たんぱく質	事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
5 糖質・脂質・たんぱく質	事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
6 ビタミン・ミネラル・水	事前学習： 基礎栄養学・生化学の復習をしておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
7 スポーツ栄養マネジメント	事前学習： スクリーニング、アセスメント、計画立案、モニタリング、評価などの流れを調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
8 スポーツ栄養マネジメント サポート計画書を作成する	事前学習： スクリーニング、アセスメント、計画立案、モニタリング、評価などの流れを調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
9 アスリートとウェイトコントロール	事前学習： 増量・減量が必要なスポーツ競技を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
10 トレーニング期と試合期の食事	事前学習： トレーニング期と試合期の違いを調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
11 トレーニング期と試合期の食事	事前学習： 試合前後の栄養補給について調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
12 サプリメントの功罪	事前学習： サプリメントのメリット・デメリットを調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
13 成長期と中・高齢期のスポーツと栄養	事前学習： 骨の構造と代謝を調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	5時間
14 女性アスリート・障がい者のスポーツ栄養学（教科書など）	事前学習： 女性アスリート・パラリンピックについて調べておく 事後学習： 講義内容をまとめておく	4時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 事後学習： 総復習をする	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0076	スポーツと食事計画 (演習を含む)	新生 暁子	前期	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 食事計画の基本は必要な栄養量を考えると同時に環境や嗜好など個人の状況を加味する必要がある。また、対象者にとっても食事計画の意義は大きく異なる。ライフステージ毎のアスリートや、スポーツ愛好者などの対象者別にその食事計画の実際を学ぶ。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	献立作成に必要な知識および対象者や状況に応じた配慮について理解する	レポート	50	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
思考力	知識・技術を活用してプロセスを考えることができる	作品	50	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
【教科書・参考書】 教科書： 適宜必要なプリントを配布する その他食品成分表など随時指示する 参考書： 大嶋 里美・田村 明・徳野 裕子・古川 覚 著『イラスト スポーツ栄養学』（東京教学社） 田中 紀子・平野 直美 編『スポーツ栄養学』（化学同人）								
【その他】 作品やレポート等のフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 献立の構造	事前学習： 献立について調べておく(復習する) 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
2 スポーツ選手の食事計画(1) 競技別①筋力を必要とする競技	事前学習： 筋力系スポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
3 スポーツ選手の食事計画(2) 競技別②持久力を必要とする競技	事前学習： 持久力系スポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
4 スポーツ選手の食事計画(3) 競技別③筋力+持久力を必要とする競技	事前学習： 筋力系+持久力系スポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
5 スポーツ選手の食事計画(13) 水分補給と捕食	事前学習： 水分補給や捕食について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
6 スポーツ選手の食事計画(7) タイミング別①試合前	事前学習： 試合前の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
7 スポーツ選手の食事計画(8) タイミング別②試合中	事前学習： 試合中の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
8 スポーツ選手の食事計画(9) タイミング別③試合後	事前学習： 試合後の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
9 スポーツ選手の食事計画(12) 体組成 体脂肪率	事前学習： 体脂肪率(増減)の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
10 スポーツ選手の食事計画(10) 体組成 増量期	事前学習： 増量期について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
11 スポーツ選手の食事計画(11) 体組成 減量期	事前学習： 減量期の栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
12 スポーツ選手の食事計画(4) ライフステージ別①ジュニア選手	事前学習： ジュニアスポーツとその栄養について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
13 スポーツ選手の食事計画(5) ライフステージ別②女性選手	事前学習： 女性選手と栄養の関連について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
14 スポーツ選手の食事計画(6) ライフステージ別③シニア選手	事前学習： シニア選手と栄養の関連について調べる 事後学習： 講義内容を復習、理解する	4時間
15 まとめ レポート・作品	事前学習： 事後学習： 14回までの振り返りを行う	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修
NC0076	スポーツと食事計画 (演習を含む)	新生 暁子	前期	選

〔授業のねらい及び身につく能力〕

食事計画の基本は必要な栄養量を考えるとともに環境や嗜好など個人の状況を加味する必要がある。ライフステージ毎のアスリートや、スポーツ愛好者などの対象者別にその食事計画の

〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕

学修成果評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	評価	
				評価	
専門的知識・ 技術	献立作成に必要な知識および対象者や状況に応じた配慮について理解する	レポート	50	5	課題に対し
				4	課題に対し
				3	課題に対し
				2	課題に対し
				1	形式が整
思考力	知識・技術を活用してプロセスを考えることができる	作品	50	5	課題に対し
				4	課題に対し
				3	課題に対し
				2	課題に対し
				1	形式が整

〔教科書・参考書〕

教科書： 適宜必要なプリントを配布する その他食品成分表など随時指示する

参考書： 大嶋 里美・田村 明・徳野 裕子・古川 覚 著『イラスト スポーツ栄養学』
田中 紀子・平野 直美 編『スポーツ栄養学』（化学同人）

〔その他〕

作品やレポート等のフィードバックを行う。

〔授業の内容・スケジュール〕

1	献立の構造	事前学習： 献立について調べて 事後学習： 講義内容を復習、理
2	スポーツ選手の食事計画 (1) 競技別①筋力を必要とする競技	事前学習： 筋力系スポーツとそ 事後学習： 講義内容を復習、理
3	スポーツ選手の食事計画 (2) 競技別②持久力を必要とする競技	事前学習： 持久力系スポーツと 事後学習： 講義内容を復習、理
4	スポーツ選手の食事計画 (3) 競技別③筋力+持久力を必要とする競技	事前学習： 筋力系+持久力系 事後学習： 講義内容を復習、理
5	スポーツ選手の食事計画 (13) 水分補給と捕食	事前学習： 水分補給や捕食につ 事後学習： 講義内容を復習、理
6	スポーツ選手の食事計画 (7) タイミング別①試合前	事前学習： 試合前の栄養につい 事後学習： 講義内容を復習、理
7	スポーツ選手の食事計画 (8) タイミング別②試合中	事前学習： 試合中の栄養につい 事後学習： 講義内容を復習、理
8	スポーツ選手の食事計画 (9) タイミング別③試合後	事前学習： 試合後の栄養につい 事後学習： 講義内容を復習、理
9	スポーツ選手の食事計画 (12) 体組成 体脂肪率	事前学習： 体脂肪率（増減）の 事後学習： 講義内容を復習、理
10	スポーツ選手の食事計画 (10) 体組成 増量期	事前学習： 増量期について調べ 事後学習： 講義内容を復習、理
11	スポーツ選手の食事計画 (11) 体組成 減量期	事前学習： 減量期の栄養につい 事後学習： 講義内容を復習、理
12	スポーツ選手の食事計画 (4)	事前学習： ジュニアスポーツと

12	ライフステージ別①ジュニア選手	事後学習： 講義内容を復習、理
	スポーツ選手の食事計画 (5)	事前学習： 女性選手と栄養の関
13	ライフステージ別②女性選手	事後学習： 講義内容を復習、理
	スポーツ選手の食事計画 (6)	事前学習： シニア選手と栄養の
14	ライフステージ別③シニア選手	事後学習： 講義内容を復習、理
	まとめ	事前学習：
15	レポート・作品	事後学習： 14回までの振り返り

形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
択	講義	2	○	3

要がある。また、対象者にとっても食事計画の意義は大きく異なる
 実際を学ぶ。

成績評価

ルーブリック評価

評価観点

⌋、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている

⌋、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている

⌋、自分の考えを述べることができる

⌋る結果を述べることができる

⌋っていない

⌋、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている

⌋、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている

⌋、自分の考えを述べることができる

⌋る結果を述べることができる

⌋っていない

』（東京教学社）

〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
おく(復習する)	4時間
解する の栄養について調べる	4時間
解する その栄養について調べる	4時間
解する パーツとその栄養について調べる	4時間
解する いて調べる	4時間
解する て調べる	4時間
解する て調べる	4時間
解する て調べる	4時間
解する 栄養について調べる	4時間
解する る	4時間
解する て調べる	4時間
解する その栄養について調べる	4時間

	所要時間
解する	
連について調べる	4時間
解する	
関連について調べる	4時間
解する	
を行う	4時間

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 フードビジネスとマネジメント マネジメントの基本(ヒト・モノ・カネ)	事前学習: フードビジネスについて、身近な実例を探す 事後学習: レポートを作成する	2時間
2 児童福祉施設・学校におけるフードマネジメント	事前学習: 児童福祉施設・学校の食ビジネスについて、実例を探す 事後学習: レポートを作成する	2時間
3 病院におけるフードマネジメント	事前学習: 病院の食ビジネスについて、実例を探す 事後学習: レポートを作成する	2時間
4 高齢者福祉施設におけるフードマネジメント	事前学習: 高齢者の食ビジネスについて、実例を探す 事後学習: レポートを作成する	2時間
5 事業所におけるフードマネジメント	事前学習: 事業所給食の食ビジネスについて、実例を探す 事後学習: レポートを作成する	2時間
6 商品企画・開発と販売促進 商品企画	事前学習: パソコンを使った授業の振り返りをしておく 事後学習: 商品企画書を作成する	2時間
7 商品企画・開発と販売促進 媒体作成	事前学習: 販売促進のための手法について、実例を探す 事後学習: 販売促進物・媒体を完成させる	2時間
8 まとめ・発表 媒体を使ったプレゼンテーション	事前学習: プレゼンテーションの準備をする 事後学習: 発表の評価、自己分析を行う	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0079Q	咀嚼・嚥下概論（実習を含む）	加藤 智樹 栗岡 優希	前期	選択	講義	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人間は栄養を摂取しなければ生きていけないが、健康維持・QOLの向上のためにも各ライフステージにおける口腔機能・嚥下機能の適切な維持が重要である。本講義では摂食・咀嚼・嚥下機能の理解と、各ライフステージにおける対応などについて学ぶ。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	口腔機能や嚥下に関する用語や検査について理解し説明できる	レポート	40	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	講義で得られた知識やデータを適切に解釈・処理するとともに、自らの知識を基に論理的に考察し表現することができる	レポート	40	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、論理的整合性を持った考察を記載している			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
実践力	実習への取り組みや課題解決の過程を通して学び、実践的な知識を身につける	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションをとり、授業に前向きに取り組んでいる。率先して情報共有を行い、チーム内連携の重要性を理解している			
				4	積極的にコミュニケーションをとり、授業に取り組んでいる。チーム内での情報共有を行うことができる			
				3	授業に前向きに取り組んでいる。必要な情報の共有ができる。			
				2	授業に参加している。必要な情報の共有に消極的である			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない。他者との情報共有が円滑にできない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜、プリント・教材を配布する								
参考書：								
【その他】								
課題や制作物等に対してフィードバックを行う								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 咀嚼・嚥下を理解するための基礎知識①	事前学習： 1年生で学んだ解剖生理学的知識、栄養学的知識を復習しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
2 咀嚼・嚥下を理解するための基礎知識②	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
3 口腔機能・嚥下機能検査と対応の実際①	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
4 口腔機能・嚥下機能検査と対応の実際②	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
5 口腔機能・嚥下機能検査と対応の実際③	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
6 口腔機能・嚥下機能検査と対応の実際④	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
7 口腔機能・嚥下機能検査と対応の実際⑤	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
8 まとめ（重要事項の再確認）	事前学習： 学んだ内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0080Q	食品加工概論（実習を含む）	守田 麻由子	後期	選択	講義・実習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品加工に関する基礎知識や、加工食品の種類、加工方法についての理解を深める。まグループディスカッションを通して、食生活と加工食品の関わりや食品加工の改善点や課題を見い出し、考察を深める。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品加工の原理や特性の知識を習得し、加工食品の特徴を理解する。	確認テスト	50	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が90%以上、70%未満			
				3	評価点が70%以上、50%未満			
				2	評価点が50%以上、30%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	食品加工の目的や原理について知識を活かし、原料の特性を理解する。	レポート	30	5	実習のテーマ、課題に対し、論理的統合性を持ち、多角的に考察している			
				4	実習のテーマ、課題に対し、考察を加えている			
				3	実習のテーマ、課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	実習のテーマ、課題に対する結果を述べるができる			
				1	レポートの形式が整っていない			
	実習の目的を達成するために、協力して実験に臨むことができる。	受講態度	20	5	積極的に実習に参加し、協力しながら臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的に実習に参加する姿勢が見受けられる			
				3	実習に対して前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書：								
参考書：								
【その他】								
確認テスト、レポートの返却によるフィードバックを行う。								
実習内容および順序は、都合により、一部変更になることがある。								

ヘルスケア栄養学科 2年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 食品の加工法 農産食品と加工①	事前学習： 教科書、プリントで予習をする 事後学習： 板書や教科書を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
2 農産食品と加工②	事前学習： 教科書、プリントで予習をする 事後学習： 板書や教科書を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
3 農産食品の加工実習	事前学習： 実習の手順、内容を確認しておく 事後学習： レポートを作成する	2時間
4 畜産食品と加工 確認テスト①	事前学習： 教科書、プリントで予習をする 事後学習： 板書や教科書を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
5 水産食品と加工①	事前学習： 教科書、プリントで予習をする 事後学習： 板書や教科書を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
6 水産食品と加工②	事前学習： 教科書、プリントで予習をする 事後学習： 板書や教科書を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
7 畜産食品・水産食品の加工実習	事前学習： 実習の手順、内容を確認しておく 事後学習： レポートを作成する	2時間
8 食品加工、加工実習のまとめ 確認テスト②	事前学習： 教科書、プリント、実習内容を確認する 事後学習： 板書や教科書を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NC0081	栄養士基礎演習 I	高松聡・守田麻由子・加藤智樹・佐藤長紀・佐藤優子	前期	必修	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
短期大学生活における生活や実習の心構えから情報取取、レポートの書き方など授業を受講する上では必要不可欠な基礎的知識を習得する。また、栄養士の基礎となる学びを習得するとともに、社会が求める栄養士像を理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人に向けたマナーや修学に向けた基礎知識を身に付ける	レポート	30	5	マナーや基礎知識が十分に身に付けられており、活かしている			
				4	マナーや基礎知識が十分に身に付けられている			
				3	マナーや基礎知識がほぼ十分に身に付けられている			
				2	マナーや基礎知識を身に付ける姿勢がみられる			
				1	マナーや基礎知識を身に付けられていない			
専門的知識・技術	専門分野に関する基礎知識・技術を習得する。	レポート	40	5	専門分野に関する知識だけでなく自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	専門分野に関する知識をレポートにおおよそ記載することができる			
				2	一般知識をレポートに記載している			
				1	レポートに必要な知識が記載されていない			
		確認テスト	10	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める	受講態度	10	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任感	自分自身を高める。責任感について知る。	受講態度	10	5	置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	積極的に行動できる			
				3	前向きに行動することができる			
				2	やや消極的である			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
【教科書・参考書】								
教科書： 小野章史編著『めざせ！栄養士・管理栄養士 まずはここからナビゲーション』（第一出版） 食品成分表								
参考書：								
【その他】								
課題や制作物等のフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 学生生活における心構え・マナー 確認テスト (担当：守田)	事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
2 栄養士の仕事 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
3 食品・料理の基礎知識 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
4 食品・料理の計量と栄養素（SAT） (主担当：佐藤陽 担当：佐藤美、飛松)	事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
5 食品成分表の使い方 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 指定された課題に取り組んでおくこと 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
6 調理実習の心構え (担当：佐藤陽)	事前学習： 指定された課題に取り組んでおくこと 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
7 情報収集の方法（文献検索） (担当：加藤)	事前学習： 指定された課題に取り組んでおくこと 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
8 レポートの書き方 (担当：守田)	事前学習： 教科書を読んでおく	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0082	栄養士基礎演習Ⅱ	高松聡・守田麻由子・加藤智樹・佐藤長紀・佐藤優子	後期	必修	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
栄養士の基礎となる学びを習得するとともに、社会が求める栄養士像を理解する。また、グループディスカッションを行い、考える力・伝える力・コミュニケーション力を養う。栄養士としての資質を位置づける授業のため、授業の一部は、病院等の栄養食事管理、指導の実務経験から得られた事例を活用し進める。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人・栄養士になるための基礎知識を習得する	レポート	20	5	社会人や栄養士としての基礎知識が十分に身に付けられており、活かしている			
				4	社会人や栄養士としての基礎知識が十分に身に付けられている			
				3	社会人や栄養士としての基礎知識がほぼ十分に身に付けられている			
				2	社会人や栄養士としての基礎知識を身に付ける姿勢がみられる			
				1	社会人や栄養士としての基礎知識を身に付けられていない			
専門的知識・技術	専門分野に関する基礎知識・技術を習得する。	レポート	40	5	専門分野に関する知識だけでなく自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	専門分野に関する知識をレポートにおおよそ記載することができる			
				2	一般知識をレポートに記載している			
				1	レポートに必要な知識が記載されていない			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任感	自分自身を高める。責任感について知る。	受講態度	20	5	置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	積極的に行動できる			
				3	前向きに行動することができる			
				2	やや消極的である			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜プリント配布 小野章史編著『めざせ！栄養士・管理栄養士 まずはここからナビゲーション』（第一出版）								
参考書：								
【その他】								
課題や制作物等のフィードバックを行う								
栄養士課程の必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 実験の心構え (担当：守田・加藤)	事前学習： 白衣など実験に必要な準備を行う 事後学習： レポート課題に取り組む	1時間
2 栄養士の仕事を知る(職場見学) (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 見学する施設を調べる 事後学習： 栄養士としての働き方を考える	1時間
3 栄養士の仕事を考える (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 施設見学を経て、栄養士の職場について考える 事後学習： 施設見学で得られた情報をまとめる	1時間
4 栄養士業務の実際 (外部講師)	事前学習： 栄養士の仕事について復習して、聴きたい事をまとめておく 事後学習： 実際の栄養士の話を聞いて今後のキャリアプランを考える	1時間
5 栄養士就職の研究 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 就職に向けた自分の考えをまとめておく 事後学習： 就職に向けた準備を進める	1時間
6 企業研究(栄養士職) (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： マイナビの登録をしておき、自分の興味ある企業をリストアップする 事後学習： マイナビでの調べ方を復習する	1時間
7 企業研究(栄養士職)の実践 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： マイナビでの調べ方を復習しておく 事後学習： 合同企業説明会に備えて、企業の特徴をまとめる	1時間
8 栄養士課程に必要なPCスキル (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： コンピュータ基礎演習での学びを復習しておく	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0083	食品イノベーション基礎演習 I	守田麻由子・加藤智樹 佐藤美紀・飛松聡 佐藤麻子	集中	選択	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品のイノベーションに関する基礎的な学びを習得するとともに、社会が求める食のスペシャリストの姿を理解する。また、グループディスカッションを行い、考える力・伝える力・コミュニケーション力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人、食のスペシャリストとしてのマナーを身につける	レポート	10	5	必要なマナーを身につけ、周りに対する配慮もできている			
				4	必要なマナーを身につけている			
				3	挨拶、守秘義務、期日を守るなど最低限のマナーを身につけている			
				2	守られるべきマナーが足りていない			
				1	マナーを守る姿勢が見受けられない			
専門的知識・ 技術	専門分野に関する基礎知識・ 技術を習得する	レポート	30	5	専門分野に関する知識だけでなく、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	専門分野に関する知識をレポートに概ね記載できている			
				2	一般的な知識をレポートに記載している			
				1	必要な知識がレポートに記載されていない			
		確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が90%以上、70%未満			
				3	評価点が70%以上、50%未満			
				2	評価点が50%以上、30%未満			
				1	評価点が30%未満			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める。	受講態度	15	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任感	自分自身を高め、責任感について知る	受講態度	15	5	置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	積極的に行動できる			
				3	前向きに行動することができる			
				2	やや消極的である			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書：								
参考書：								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。								
食品イノベーションコースの必修科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	学生生活における心構え・マナー (守田)	事前学習: 教科書を読んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
2	食に関わる仕事を知る I (加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
3	食品・料理の基礎知識 (主担当: 飛松 担当: 佐藤美、佐藤陽)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
4	食品・料理の計量と栄養量 (佐藤陽)	事前学習: 教科書を読んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
5	食品成分表の使い方 (主担当: 飛松 担当: 佐藤美、佐藤陽)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
6	調理実習の心構え (佐藤陽)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
7	情報収集の方法(文献検索) (加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめる	2時間
8	レポートの書き方 (守田)	事前学習: 事後学習: 授業内容をまとめる	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0084	食品イノベーション基礎演習 Ⅱ	守田 麻由子 ・加藤 智樹 ・佐藤 英記	集中	選択	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品のイノベーションに関する基礎的な学びを習得するとともに、社会が求める食のスペシャリストの姿を理解する。また、グループディスカッションを行い、考える力・伝える力・コミュニケーション力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人、食のスペシャリストとしてのマナーを身につける	レポート	10	5	必要なマナーを身につけ、周りに対する配慮もできている			
				4	必要なマナーを身につけている			
				3	挨拶、守秘義務、期日を守るなど最低限のマナーを身につけている			
				2	守られるべきマナーが足りていない			
				1	マナーを守る姿勢が見受けられない			
専門的知識・ 技術	専門分野に関する基礎知識・ 技術を習得する	レポート	30	5	専門分野に関する知識だけでなく、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	専門分野に関する知識をレポートに概ね記載できている			
				2	一般的な知識をレポートに記載している			
				1	必要な知識がレポートに記載されていない			
		確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が90%以上、70%未満			
				3	評価点が70%以上、50%未満			
				2	評価点が50%以上、30%未満			
				1	評価点が30%未満			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める。	受講態度	15	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任感	自分自身を高め、責任感について知る	受講態度	15	5	置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	積極的に行動できる			
				3	前向きに行動することができる			
				2	やや消極的である			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： プリントを配布する								
参考書：								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。								
食品イノベーションコースの必修科目								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	実験の心構え (守田)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
2	食に関わる仕事を知るⅡ (加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
3	測定の基礎、データの取り扱い (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
4	資料の作成と発表 (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
5	食品生産の実際 (守田)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
6	食に関わる仕事の実際 (佐藤美)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめること	2時間
7	就職セミナー (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめる	2時間
8	企業研究 (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめる	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0086	健康サポート基礎演習 I	加藤智樹・守田麻由子 佐藤美紀・飛松聡 佐藤陽子	集中	選択	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人々の健康をサポートするための基礎的知識を学ぶとともに、健康をあつかう業界について知る。また、レポート作成やディスカッションを通じ、考える力・伝える力・コミュニケーション力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人および健康のスペシャリストとしての素養・マナーを身につける	レポート	10	5	必要なマナーを身につけ、周りに対する配慮もできている			
				4	必要なマナーを身につけている			
				3	挨拶、守秘義務、期日を守るなど最低限のマナーを身につけている			
				2	守られるべきマナーが足りていない			
				1	マナーを守る姿勢が見受けられない			
専門的知識・技術	専門分野に関する基礎知識・技術を習得する	レポート	30	5	専門分野に関する知識だけでなく、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	専門分野に関する知識をレポートに概ね記載できている			
				2	一般的な知識をレポートに記載している			
				1	必要な知識がレポートに記載されていない			
		確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が90%以上、70%未満			
				3	評価点が70%以上、50%未満			
				2	評価点が50%以上、30%未満			
				1	評価点が30%未満			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める。	受講態度	15	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任感	自分自身を高め、責任感について知る	受講態度	15	5	置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	積極的に行動できる			
				3	前向きに行動することができる			
				2	やや消極的である			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜プリント等を配布								
参考書：								
【その他】								
課題やレポート等に対してフィードバックを行う								
健康サポートコースの必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 学生生活における心構え・マナー (守田、加藤)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
2 食や健康に関わる仕事を知る I (加藤)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
3 食品・料理の基礎知識 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
4 食品・料理の計量と栄養量 (佐藤陽)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
5 食品成分表の使い方 (主担当：飛松 担当：佐藤美、佐藤陽)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
6 調理実習の心構え (佐藤陽)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
7 情報収集の方法 (文献検索) (加藤)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
8 レポートの書き方 (守田・加藤)	事前学習： 指定された資料を読んでおく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0087	健康サポート基礎演習Ⅱ	加藤智樹・守田麻由子・ 佐藤美紀	集中	選択	演習	0.5	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人々の健康をサポートするための基礎的知識を学ぶとともに、健康をあつかう業界について知る。また、レポート作成やディスカッションを通じ、考える力・伝える力・コミュニケーション力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人、食のスペシャリストとしてのマナーを身につける	レポート	10	5	必要なマナーを身につけ、周りに対する配慮もできている			
				4	必要なマナーを身につけている			
				3	挨拶、守秘義務、期日を守るなど最低限のマナーを身につけている			
				2	守られるべきマナーが足りていない			
				1	マナーを守る姿勢が見受けられない			
専門的知識・ 技術	専門分野に関する基礎知識・ 技術を習得する	レポート	30	5	専門分野に関する知識だけでなく、自分自身の見解を含めレポートに明瞭に記載することができる			
				4	専門分野に関する知識をレポートに明瞭に記載することができる			
				3	専門分野に関する知識をレポートに概ね記載できている			
				2	一般的な知識をレポートに記載している			
				1	必要な知識がレポートに記載されていない			
		確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が90%以上、70%未満			
				3	評価点が70%以上、50%未満			
				2	評価点が50%以上、30%未満			
				1	評価点が30%未満			
コミュニケーション力	問題解決に向け、他者を尊重しつつ、協力して取り組める。	受講態度	15	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
向上心・責任感	自分自身を高め、責任感について知る	受講態度	15	5	置かれた環境や周りの状況をみながら、積極的に行動できる			
				4	積極的に行動できる			
				3	前向きに行動することができる			
				2	やや消極的である			
				1	実習に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜プリント等を配布								
参考書：								
【その他】								
課題やレポート等に対してフィードバックを行う								
健康サポートコースの必修科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1	実験の心構え (守田)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
2	食に関わる仕事を知るⅡ (加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
3	測定の基礎、データの取り扱い (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
4	資料の作成と発表 (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
5	食品生産の実際 (守田)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: レポート作成	2時間
6	食に関わる仕事の実際 (佐藤美)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめること	2時間
7	就職セミナー (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめる	2時間
8	企業研究 (守田、加藤)	事前学習: 指定された課題に取り組んでおく 事後学習: 授業内容をまとめる	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0088Q	統合医療入門	加藤 智樹・ 他	後期	選択	講義	1	×	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
統合医療とは、現代西洋医学を中心にして、補完・代替医療で補っていく医療のことでありさまざまなものがある。疾患の治療、予防や治未病、健康増進や維持などを目的とし、日常生活にも応用されているものもある。本講義では、さまざま統合医療を紹介し、健康維持、QOLの向上につなげられる知識を学ぶ。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	統合医療の存在意義や種類について知り、説明できる	レポート	50	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
思考力	それぞれの対応手法の特徴を踏まえ、健康の維持・QOLの向上への応用についてまとめることができる	レポート	50	5	信頼できる情報を基に関連する内容について自分の考えをまとめ述べるができる			
				4	情報を基に関連する内容について自分の考えをまとめ述べるができる			
				3	関連する内容について自分の考えをまとめ述べるができる			
				2	自分の考えをまとめ述べるができる			
				1	意見を述べている			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜、プリント・教材を配布する								
参考書：								
【その他】								
課題や制作物等に対してフィードバックを行う								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 統合医療とは①	事前学習： 事前に指示された資料に目を通しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
2 統合医療とは②	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
3 統合医療とは③	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
4 東洋医学概要①	事前学習： 前回の課題を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
5 東洋医学概要②	事前学習： 前回の課題を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
6 アロマセラピー概要	事前学習： 前回の課題を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
7 睡眠科学概要	事前学習： 前回の課題を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間
8 まとめ（重要事項の確認）	事前学習： 学んだ内容について復習しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0089Q	栄養化学入門	守田 麻由子	後期	選択	講義	1	×	1
【授業のねらい及び身につく能力】 栄養に関わる化学物質について、それらの構造と機能についての専門的知識を習得し、生体成分や機能生体を構成する成分の相互関係を理解を深める。また、エネルギーの産生と代謝の仕組みを理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養に関わる物質について、 構造や機能、体内での相互関係、 恒常性との関わりを理解する。	確認テスト	70	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	栄養に関わる物質について、 構造や機能、体内での相互関係作用や 恒常性との関わりを理解する。	レポート	30	5	授業内で作成するレポートの評価点が90%以上			
				4	授業内で作成するレポートの評価点が70%以上90%未満			
				3	授業内で作成するレポートの評価点が50%以上70%未満			
				2	授業内で作成するレポートの評価点が30%以上50%未満			
				1	授業内で作成するレポートの評価点が30%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： プリントを配布する 参考書： 蘆田勝 編『栄養科学イラストレイテッド生化学 第4版』（羊土社）など								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 細胞の構造 糖質の構造と機能	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
2 タンパク質、脂質の構造と機能	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
3 ビタミン、ミネラルの機能	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
4 核酸の構造と機能 酵素 確認テスト①	事前学習： 第1回～第3回の内容を整理する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
5 糖質の動態	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
6 タンパク質、脂質の動態	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
7 三大栄養素と生体エネルギー	事前学習： 教科書で予習する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間
8 食物アレルギー 確認テスト②	事前学習： 第5回～第7回の内容を整理する 事後学習： 授業での板書や教科書を参考にしてノートを整理し、内容をまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0093	食品の鑑別	佐藤 陽子	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>私たちが日常安心できる食生活を送るためには、食品について深い知識をもち、その品質を見抜く能力を身につける必要がある。野菜・果実・肉類・魚介類など、それぞれの食品の特徴や品質の違いについて学び、理解を深める。外観・色・香り・硬さなどから食品の状態を判断する力を身につけるとともに、安全で適切な食品を選択できる能力を養う。</p>								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品の外観・色調・香り・ 味・食感などの感覚的特徴を 正しく理解している	確認テスト	60	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		レポート	20	5	食品特徴を正しく理解している、			
				4	食品特徴を概ね理解している、			
				3	食品特徴をある程度理解している、			
				2	食品特徴をあまり理解していない、			
				1	食品特徴を理解していない、			
思考力	食品表示や保存状態などの情 報を総合的に考慮し、自らの 判断で選択できる	レポート	20	5	情報を総合的に考慮し、自らの判断で適切に説明することができる。			
				4	情報を総合的に考慮し、自らの判断で概ね説明することができる。			
				3	情報を総合的に考慮し、自らの判断である程度説明することができる。			
				2	情報を総合的に考慮することができる。			
				1	情報を総合的に考慮することができない。			
【教科書・参考書】								
教科書： 日本フードスペシャリスト協会／編 『五訂 食品の官能評価・鑑別演習』（建帛社）								
参考書：								
【その他】								
確認テストおよびレポート提出後にフィードバックを行う								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 食品の品質	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
2 個別食品の鑑別① 穀類(米・小麦粉と小麦粉製品・そば)	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
3 個別食品の鑑別② いも類・豆類・種実類	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
4 個別食品の鑑別③ 野菜類・果実類・きのこ類・海藻類	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
5 個別食品の鑑別④ 魚介類とその加工品・肉類とその加工品	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
6 個別食品の鑑別⑤ 乳と乳製品・卵とその加工品	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
7 個別食品の鑑別⑥ 油脂類・菓子類・嗜好飲料類	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
8 個別食品の鑑別⑦ 調味料類・香辛料類・調理加工食品類・その他	事前学習： 教科書の該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0094	官能評価	佐藤 陽子	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
人の感覚（味・におい・食感・色など）を用いて食品の品質を科学的に評価する「官能評価」の理論と実践方法を理解することである。食品の特徴や品質を適切に判断する力を養うことを目的とする。授業では、官能評価の基本概念や評価法を学び、演習を通して実際に評価を行う。また、得られたデータを統計的に解析し、結果を客観的に考察する方法を身につける。さらに、化学的・物理的評価法についても理解を深め、食品品質を多角的に捉える力を養う。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	用語を理解し、官能評価のデータを、正しい評価方法に基づき解析できる	確認テスト	40	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		レポート	30	5	適正な官能評価方法を選択し、正確に解析することができる。			
				4	適正な官能評価方法を選択し、ほぼ正確に解析することができる。			
				3	適正な官能評価方法を選択し、ある程度解析することができる。			
				2	適正な官能評価方法を選択することができる。			
				1	適正な官能評価方法を選択することができない。			
思考力	演習を通して得られたデータを統計的に解析し、結果を客観的に解釈するとともに、自らの知識を基に論理的に考察し、適切に表現することができる	レポート	30	5	適正な官能評価方法に従い、的確に解析し、自らの考えを入れて説明することができる。			
				4	適正な官能評価方法に従い、的確に解析し、しっかりと説明することができる。			
				3	適正な官能評価方法に従い、的確に解析し、ある程度は説明することができる。			
				2	適正な官能評価方法に説明することができる。			
				1	適正な官能評価方法を選ぶことができない。			
【教科書・参考書】								
教科書： 日本フードスペシャリスト協会／編 『五訂 食品の官能評価・鑑別演習』（建帛社）								
参考書： 松本仲子／著 『調理と食品の官能評価』（建帛社）								
【その他】								
確認テストおよびレポート提出後にフィードバックを行う								

ヘルスケア栄養学科 1年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 官能評価の意義・目的	事前学習： 教科書を使い、該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
2 官能評価の基本と実施法	事前学習： 教科書を使い、該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
3 官能評価の手法③ 五味の識別・パネルの構成	事前学習： 手法について調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
4 官能評価の手法③ 1. 2点比較法・2点比較法・3点比較法(2点比較法の実践と解析)	事前学習： 教科書を使い、該当するページを読んでおく 事後学習： 授業内容を振り返り、レポートを作成する	4時間
5 官能評価の手法③ 順位法・評点法(評点法の実践と解析)	事前学習： 教科書を使い、該当するページを読んでおく 事後学習： 授業内容を振り返り、レポートを作成する	4時間
6 官能評価の手法③ 順位法・評点法(評点法の実践と解析)	事前学習： 教科書を使い、該当するページを読んでおく 事後学習： 授業内容を振り返り、レポートを作成する	4時間
7 食品の化学的評価法	事前学習： 科学的、物理的の違いを調べておく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
8 食品の物理的評価法	事前学習： 教科書を使い、該当するページを読んでおく 事後学習： 配布資料など授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング	
NC0095Q	情報デザイン論	加藤 智樹・ 飛松 聡	後期	選択	講義	0.5	○	1	
【授業のねらい及び身につく能力】									
栄養や食品、健康についてなどインターネットから得られる情報はその情報の正しきや根拠を精査する必要があり、本授業ではその手段を習得する。その後、得られた複数の情報を組み合わせ新しいものを生み出したり、伝える対象に適した状態へ加工していく素地を学ぶ。									
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】									
学修成果評価			成績評価						
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価					
				評価	評価観点				
社会人基礎ス キル	情報の収集、精査、加工して いく素地が身についている	レポート	50	5	多角的な視点から情報を収集ことができ、かつその情報に対して信頼できる根拠を示すことができ、対象者に適した情報へ加工することができる				
				4	情報を収集ことができ、かつその情報に対して根拠を示すことができ、情報を加工することができる				
				3	情報を収集ことができ、情報を加工することができる				
				2	情報収集に留まる				
				1	情報収集することができない				
思考力	精査した複数の情報から新し いものを作ることができる	作品	30	5	複数の適切な情報を用いて、オリジナルの視点から対象者に合わせた情報へと加工することができる				
				4	適切な情報を用いて、オリジナルの視点から対象者に合わせた情報へと加工することができる				
				3	情報を用いて、オリジナルの視点から対象者に合わせた情報へと変換することができる				
				2	情報を用いて、対象者に合わせた情報へと変換することができる				
				1	情報の精査をすることができる				
			受講態度	20	5	情報の収集から積極的な姿勢で向き合い、ディスカッションを交えて前向きに取り組んでいる			
					4	情報の収集から積極的な姿勢で向き合い、前向きに取り組んでいる			
					3	前向きに取り組んでいる			
					2	取り組む姿勢は見られる			
					1	取り組む姿勢がみられない			
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
【教科書・参考書】									
教科書： 適宜プリント配布									
参考書：									
【その他】									
課題や制作物等に対してフィードバックを行う									

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 情報の種類	事前学習： シラバスを確認しておく 事後学習： 授業の内容を復習しておく	4時間
2 情報の精査(クリティーク)	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間
3 情報収集と加工①	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間
4 情報収集と加工②	事前学習： 前回の課題を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間
5 情報活用の実践①	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間
6 情報活用の実践②	事前学習： 前回の内容を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間
7 情報活用の実践③	事前学習： 前回の課題を確認しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間
8 まとめ	事前学習： 今までの内容を復習しておく 事後学習： レポート課題に取り組む	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
ND0001	栄養教諭教育論	高橋 恵美子	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 学校における食育を推進していくうえで中核となる栄養教諭の職務と使命についての理解を深める。授業では、子どもが食の自己管理能力や望ましい食習慣を身につけ健全な食生活を営むことができるようにするために、食に関する指導についての基礎的な知識と技術を身につける。また、学習指導案の作成や模擬授業等を通して、指導における実践的な力を養う。 小中学校及び教育行政の実務で得られた経験から、様々な教育現場での学校給食と食育のあり方や子どもたちを主体にした食教育への理解を深める。								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養教諭としての専門性を身につけ、学校給食や各教科と結びつけた効果的な指導案を作成する。	作品	70	5	栄養教諭としての知識と技術を積極的に身につけ、充実したレポートや学習指導案を作成することができる。			
				4	栄養教諭としての知識と技術を積極的に身につけ、レポートや学習指導案を作成することができる。			
				3	栄養教諭としての知識と技術を身につけ、レポートや学習指導案を作成することができる。			
				2	栄養教諭としての知識と技術を身につけているが、レポートや学習指導案を作成することができない。			
				1	栄養教諭としての知識と技術の学びが不十分であり、レポートや学習指導案を作成することができない。			
向上心・責任 感	栄養教諭の職務と使命を理解し、食に関する指導力と実践力を高めようと努力する。	受講態度	30	5	栄養教諭の職務と使命を十分理解し、食に関する指導力と実践力を積極的に身につけようと努力する。			
				4	栄養教諭の職務と使命を十分理解し、食に関する指導力と実践力を身につけようと努力する。			
				3	栄養教諭の職務と使命を理解し、食に関する指導力と実践力を身につけようと努力する。			
				2	栄養教諭の職務と使命を理解するが、食に関する指導力と実践力を身につけようとする姿勢がみられない。			
				1	栄養教諭の職務と使命の理解が不十分であり、食に関する指導力と実践力を身につけようとする姿勢がみられない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： ① 藤澤良知「よくわかる栄養教諭 一食育の基礎知識一 第二版」同文書院 ② 芦川修貳「栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート」学建書院 参考書： 授業時に適宜指示する								
【その他】 学習指導案やレポート提出後にフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 教職課程

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 学校給食の変遷と栄養教諭の職務	事前学習： 学校給食の内容と栄養教諭の意義と役割について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
2 学校給食と栄養教諭の食育のあり方 食に関わる児童生徒の実態と課題	事前学習： 食に関わる児童生徒の実態と課題について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
3 小中特別支援学校における食育の進め方 食に関する指導の全体計画と学習指導要領	事前学習： 食育全体計画及び学習指導要領について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
4 個別的な相談指導と栄養教諭の役割 食に関する課題を抱える児童生徒への対応	事前学習： 食に関する個別的な相談指導について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
5 学校給食と栄養管理、食物アレルギーの対応の実際 学校における集団給食及び個別的な給食の対応	事前学習： 学校給食の栄養管理、食物アレルギー対応について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
6 安全・安心な給食管理とリスクマネジメント 学校給食施設の衛生管理、食の安全・安心	事前学習： 学校給食の衛生管理及び食の安全・安心について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
7 給食時間の食育と安全な給食活動 給食指導、アレルギー対応、衛生教育、食事マナー等	事前学習： 学校給食と給食の時間の指導について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、課題をまとめる	4時間
8 食育基本法に基づく課題の把握と家庭、地域との連携 食育推進計画を踏まえた授業づくり	事前学習： 食育推進計画について調べる 事後学習： 食育推進計画に則した指導内容を考える	4時間
9 食文化・地場産物・郷土食等と地域に根差した食育 給食の時間の食に関する指導（模擬授業1）	事前学習： 地域の産物・食文化を調べ、給食の時間の指導の準備をする 事後学習： 模擬授業を振り返り、課題をまとめる	4時間
10 食に関する指導の実際 （1）学習指導案及び資料・教材作成のポイント	事前学習： 教科等における食育について調べる 事後学習： 学習内容を振り返り、学習指導案を作成する	4時間
11 食に関する指導の実際 （2）担任教諭と連携したT.T.授業（模擬授業2）	事前学習： 指導案の作成の仕方について調べる 事後学習： 模擬授業の学習の指導計画と学習指導案を作成する	4時間
12 食に関する指導の実際 （3）学習指導案及び資料・教材作成	事前学習： 指導資料と教材について調べ、模擬授業の準備をする 事後学習： 模擬授業の指導案及び資料・教材を作成する	4時間
13 食に関する指導の実際 （4）教科等における授業実践（模擬授業3）	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 模擬授業を振り返る	4時間
14 食に関する指導の実際 （5）模擬授業の検討	事前学習： 模擬授業の検討課題をまとめる 事後学習： 模擬授業の反省をもとに指導案を訂正する	4時間
15 確認テスト 栄養教育実習について	事前学習： 学校給食及び栄養教諭の職務についてまとめる 事後学習： 栄養教育実習について目標課題をまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0002	教職概論	佐野 典行	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 将来、教職や学校職員、教育に携わる職務を志望する学生が、必要な教職の基礎・基本を身に付ける。 教育基本法や学校教育法などの教育関係法規に沿って、学校教育の意義、教員の身分や勤務条件、職務内容等について理解する。 新学習指導要領で求められている教員としての資質・能力、現在の学校教育が抱える課題について、ディベート、討論、演習等のアクティブラーニングを通して考え、必要な教育観・教職観、実践的指導力を身に付ける。以上を教論並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。 以上を教論並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	教育関係法規を理解し、教職の意義やその職責の重大さを認識し、新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題について考え、課題解決の具体策を見つける。	定期試験	50	5	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が8割を満たしている。			
				4	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が6割を満たしている。			
				3	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が4割を満たしている。			
				2	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が2割を満たしている。			
				1	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が2割未満である。			
		レポート	25	5	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題を的確に捉え、課題解決の効果的な具体策が多角的に記されている。			
				4	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題を的確に捉え、課題解決の具体策が多角的に記されている。			
				3	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題を捉え、課題解決の具体策が記されている。			
				2	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題について記されている。			
				1	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方について記されている。			
向上心・責任感	これからの教員に求められる資質能力を考えることで、教員としての向上心と責任感を培う。	レポート	25	5	これからの教員に求められる資質・能力の視点に立って、自己分析に基づき自己研鑽の具体的なかつ計画的な取組が記されている。			
				4	これからの教員に求められる資質・能力の視点に立って、自己研鑽の具体的なかつ計画的な取組が記されている。			
				3	これからの教員に求められる資質・能力の視点に立って、自己研鑽の具体的な取組が記されている。			
				2	これからの教員に求められる資質・能力と自己研鑽について記されている。			
				1	これからの教員に求められる資質・能力について記されている。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 赤星晋作 編著 「新 教職概論」 (学文社)								
【その他】 課題（レポート等）に対してフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 教師の歴史	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
2 現代社会の子ども	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
3 教育観と教職観 ～ディベート～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
4 学校教育の意義と教師の役割 ～討論～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
5 教師の資質能力 ～中央教育審議会（答申）に学ぶ～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
6 教師の職務と関係法規Ⅰ ～教育基本法・学校教育法・教育公務員特例法等～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
7 教師の職務と関係法規Ⅱ ～学校保健安全法・地方公務員法・教育職員免許法等～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
8 教師の質の保証と研修、教員評価（人事考課）	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
9 主体的・対話的で深い学びⅠ（理論）	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
10 主体的・対話的で深い学びⅡ（指導案検討） ～実践演習～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
11 主体的・対話的で深い学びⅢ（模擬授業） ～実践演習～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
12 学校の危機管理Ⅰ 人権：事例検討	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
13 学校の危機管理Ⅱ チーム学校	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
14 学校教育が抱える課題	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
15 理想の教師像 ～討論～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0004	教育心理学	白岩 等	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
教育心理学の主たる領域である成長と発達、学習、人格、適応、評価などに関する基本的な知識や考え方について、実務家教員の視点から解説する。乳幼児期や児童期の発達や学習過程等に関する基礎的な知識を獲得することで、学校教育の中で、教育心理学的な視点から子どもや子どもを取り巻く諸問題に対応する力を身に付ける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育心理学に関する基礎的な知識や考え方を習得する。	定期試験	70	5	定期試験の得点が8割以上			
				4	定期試験の得点が7割以上			
				3	定期試験の得点が6割以上			
				2	定期試験の得点が5割以上			
				1	定期試験の得点が5割未満			
思考力	教育上の諸問題を、教育心理学の視点から理解を深め、問題をよりよく解決する力を身に付ける。	レポート	30	5	教育上の課題を積極的に学び、問題をよりよく解決するレポートを作成することができる。			
				4	教育上の課題を積極的に学び、解決するレポートを作成することができる。			
				3	教育上の課題を学び、解決するレポートを作成することができる。			
				2	教育上の課題を学んでいるが、問題を解決するレポートを作成することができない。			
				1	教育上の課題の学びが不十分であり、問題を解決するレポートを作成することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 神藤貴昭・久木山健一「ようこそ教育心理学の世界へ」(第3版)北樹出版								
参考書： 授業時に適宜指示する								
【その他】								
・レポート等についてフィードバックを行う。								
・栄養教諭2種免許状の必修科目 ・実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 教育心理学とは何か	事前学習： 教育心理学とは何か、自分なりにイメージする。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
2 「発達」とは何か	事前学習： 教科書第2章「発達」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
3 自己の発達	事前学習： 子どもがどのように自己を発達させるかについて考える。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
4 認知発達と言語発達	事前学習： 教科書第2章「発達」第4節「ピアジェの認知発達」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
5 発達障害	事前学習： 教科書第14章「発達障害と特別支援教育」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
6 学習行動の基礎	事前学習： 教科書第4章「動機づけ」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
7 学びの動機付け	事前学習： 教科書第3章「学習」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
8 知的能力の発達	事前学習： 教科書第5章「知能・記憶・メタ認知」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
9 パーソナリティーの発達	事前学習： 教科書第10章「パーソナリティー」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
10 教育の評価	事前学習： 教科書第7章「教育評価」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
11 社会性の発達と集団活動	事前学習： 教科書第9章「仲間関係」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
12 子どもをめぐる教育的な諸問題	事前学習： 教科書第11章「学校における不適応」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
13 教育相談	事前学習： 教科書第13章「教育相談」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
14 教授学習過程	事前学習： 教科書第6章「教授学習過程」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
15 まとめ	事前学習： これまでに授業で気負った資料を確認し、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0005	道徳の指導法	佐野 典行	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 学校教育における道徳教育の中核をなす「特別の教科 道徳」（道徳科）の必要性を理解し、必要な知識・指導方法・評価方法を身に付ける。 道徳科の全体計画の作成・指導案の作成・模擬授業等のアクティブラーニングを通じて、「考え、議論する道徳」に適した教材や指導方法について考え、併せて実践的指導力を身に付ける。以上を教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かして実例等を交えて教授する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	道徳科に必要な知識・指導方法・評価方法について理解し、全体計画と指導案を作成することができる。	定期試験	50	5	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が8割を満たしている。			
				4	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が6割を満たしている。			
				3	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が4割を満たしている。			
				2	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が2割を満たしている。			
				1	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が2割未満である。			
		レポート	10	5	葛藤場面があり、生徒が自己を見つめ、他者との議論の中で多面的・多角的に考えを深め、道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度が高まる指導案である。			
				4	葛藤場面があり、生徒が自己を見つめ、他者との議論の中で考えを深め、道徳的な判断力が高まる指導案である。			
				3	葛藤場面がなく、議論は広がらないが、生徒が個々に自己を見つめ、道徳的な価値観を再認識できる指導案である。			
				2	題材に工夫が見られず、一般的な道徳的価値観を再認識する指導案である。			
				1	授業のねらいや主発問、授業の展開が不明確で、指導案として不十分である。			
思考力	道徳科の全体計画の作成・指導案の作成・模擬授業を通じて、「考え、議論する道徳」に適した教材やより良い指導方法について考え併せて実践的指導力を身に付ける。	レポート	30	5	模擬授業を振り返り、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが題材設定・議論の場の設定・発問等の視点から整理され、詳細に記されている。			
				4	模擬授業を振り返り、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが詳細に記されている。			
				3	模擬授業を振り返り、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが記されている。			
				2	模擬授業の振り返りがあまり反映されず、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが一部しか記されていない。			
				1	模擬授業の振り返りが反映されず、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが記されていない。			
		受講態度	10	5	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで中心になって積極的に検討・協議し、効果的なポイントを導き出すことができる。			
				4	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで積極的に検討・協議し、効果的なポイントを導き出すことができる。			
				3	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで検討・協議し、ポイントを導き出すことができる。			
				2	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで意見を交換しているが消極的である。			
				1	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで意見を交換することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編								
【その他】 課題（レポート等）に対してフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 ※実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 教職課程

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 日本における道徳教育と諸外国における価値教育の変遷	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
2 道徳の本質と道徳教育 ～「道徳」の教科化と必要性～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
3 道徳教育の目標・内容と全体計画 ～模擬授業と道徳科学習指導案作成のポイント～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
4 道徳科学習指導案の作成Ⅰ ～主体的・対話的で深い学びの授業づくり～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 指導案を作成する。	4時間
5 道徳科学習指導案の作成Ⅱ ～主体的・対話的で深い学びの授業づくり～	事前学習： 指導案を作成する。 事後学習： 指導案を完成して提出する。	4時間
6 模擬授業Ⅰ ～指導と評価の一体化～	事前学習： 模擬授業と振り返りレポート作成の準備をする。 事後学習： 本時の模擬授業の振り返りを行い、レポートにまとめて提出する。	4時間
7 模擬授業Ⅱ ～指導と評価の一体化～	事前学習： 模擬授業と振り返りレポート作成の準備をする。 事後学習： 本時の模擬授業の振り返りを行い、レポートにまとめて提出する。	4時間
8 理想の授業を目指して ～模擬授業の振り返り(討論)～	事前学習： 全ての模擬授業を振り返り、意見交換の準備をする。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
ND0006	特別活動の指導法 (教育の方法と技術含む)	白岩 等	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
特別活動は、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決するための資質・能力を育成することを目標としている。授業では、特別活動における基本理念や意義、目標、内容等を読み、特別活動の指導に必要な基礎的な知識と技術を習得する。また、学習指導案の作成や模擬授業を通して、指導における実践的な力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	特別活動の指導と運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	40	5	特別活動についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に十分活かすことができる。			
				4	特別活動についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に活かすことができる。			
				3	特別活動についての知識と技術を学び、指導計画に活かすことができる。			
				2	特別活動についての知識と技術を学んでいるが、指導計画に活かすことができない。			
				1	特別活動についての知識と技術が身につけていない。			
専門的知識・ 技術	特別活動の指導と運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	作品	30	5	特別活動の目標を十分理解し、学習指導案を作成することができる。			
				4	特別活動の目標を理解し、学習指導案を作成することができる。			
				3	特別活動の目標を理解しているが、学習指導案の作成が十分でない。			
				2	特別活動の目標をある程度理解しているが、学習指導案を作成することができない。			
				1	特別活動の目標を理解しておらず、学習指導案を作成することができない。			
思考力	授業で学んだ知識と技術を活用して、模擬授業を行うことができる。	受講態度	30	5	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、模擬授業をよりよく行うことができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を活用して、模擬授業を行うことができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用しようとしているが、模擬授業が十分ではない。			
				2	授業で学んだ知識と技術が不十分で、模擬授業がうまくできない。			
				1	知識と技術が身につけていないため、模擬授業ができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編」文部科学省								
参考書： 授業中に適宜指示する								
【その他】								
学習指導案や小レポート提出後、また模擬授業後にフィードバックを行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 特別活動の目標と内容	事前学習： 小中高等学校で受けてきた特別活動を振り返り、まとめる 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	4
2 学級活動・ホームルーム活動の理論と実践	事前学習： 学級活動・ホームルーム活動について教科書で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	3
3 児童会・生徒会活動とクラブ活動の理論と実	事前学習： 児童会・生徒会活動とクラブ活動について教科書で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	3
4 学校行事の理論と実践	事前学習： 学校行事について教科書で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	3
5 特別活動の指導の実際① 学習指導案を作成する	事前学習： 特別活動の学習指導計画について調べておく 事後学習： 特別活動の学習指導案を作成する	4
6 特別活動の指導の実際② 学習指導案を検討する	事前学習： 特別活動の学習指導案を完成させる 事後学習： 特別活動の学習指導案の修正点を検討する	4
7 特別活動の指導の実際③ 模擬授業（1）	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 模擬授業を振り返る（小レポート）	4
8 特別活動の指導の実際④ 模擬授業（2）	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 模擬授業を振り返る（小レポート）	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0007	生徒指導論	佐野 典行	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 生徒指導の意義と原理について、法制度等にも触れながら理解を深め、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法を身に付ける。 複雑化・多様化する児童生徒をめぐる様々な課題（いじめ、暴力行為、児童虐待、不登校、発達障がいなど）に対する具体的な対応策を考え、事例検討やロールプレイングなどのアクティブラーニングにより、実践的指導力を身に付ける。以上を教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	生徒指導の意義と原理について、法制度等にも触れながら理解を深め、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法を身に付ける。	定期試験	50	5	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が8割を満たしている。			
				4	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が6割を満たしている。			
				3	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が4割を満たしている。			
				2	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が2割を満たしている。			
				1	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が2割未満である。			
		レポート	10	5	生徒指導の原理と法制度等に触れながら、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法が具体的に記されている。			
				4	生徒指導の原理と法制度等に触れながら、理論に裏付けされた指導方法が具体的に記されている。			
				3	生徒指導の原理と法制度等に触れながら、指導方法が具体的に記されている。			
				2	生徒指導の原理に触れながら、指導方法が記されている。			
				1	指導方法は記されているが、生徒指導の原理や根拠が不明確である。			
コミュニケーション力	様々な生徒指導上の課題について主体的に考え、他者と検討・協議し、解決策を導き出す。	レポート	10	5	個人と他者の考えが併記され、グループ内で検討・協議して深まった効果的な課題解決策が具体的に記されている。			
				4	個人と他者の考えが併記され、グループ内で検討・協議した課題解決策が具体的に記されている。			
				3	グループ内で検討・協議した課題解決策が具体的に記されている。			
				2	グループ内で検討した課題解決策が記されているが、解決策として不十分である。			
				1	個人で考えた課題解決策だけが記され、解決策としても不十分である。			
		受講態度	10	5	課題解決のためにグループで中心になって積極的に検討・協議し、より効果的な解決策を導き出すことができる。			
				4	課題解決のためにグループで積極的に検討・協議し、解決策を導き出すことができる。			
				3	課題解決のためにグループで検討・協議し、解決策を考えることができる。			
				2	課題解決のためにグループで意見を交換しているが消極的である。			
				1	課題解決のためにグループで意見を交換することができない。			
実践力	様々な生徒指導上の課題について演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付ける。	レポート	10	5	生徒指導上の課題に関する解決策が、個人と組織の2つの視点から具体的かつ理論的に記され、実際に役立つ実践的指導力に結びつく内容になっている。			
				4	生徒指導上の課題に関する解決策が、具体的かつ理論的に記され、実際に役立つ実践的指導力に結びつく内容になっている。			
				3	生徒指導上の課題に関する解決策が、具体的に記され、実際に役立つ実践的指導力に結びつく内容になっている。			
				2	生徒指導上の課題に関する解決策が記されているが、具体性に欠ける。			
				1	記されている生徒指導上の課題に関する解決策が不明確である。			
		受講態度	10	5	様々な生徒指導上の課題について、中心になって積極的に演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付けようとしている。			
				4	様々な生徒指導上の課題について、積極的に演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付けようとしている。			
				3	様々な生徒指導上の課題について、演習や協議を行うことで、実践的指導力を身に付けようとしている。			
				2	様々な生徒指導上の課題に関する演習や協議に消極的である。			
				1	様々な生徒指導上の課題に関する演習や協議に参加することができない。			
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 「生徒指導提要」（文部科学省）								
【その他】 課題（レポート等）に対してフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 ※実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 教職課程

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 生徒指導の定義と基礎的理論	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
2 生徒指導の意義と原理	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
3 児童生徒理解と教育相談 (ロールプレイング)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
4 学校における生徒指導体制 (事例検討)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
5 児童生徒の心理と児童生徒理解 (事例検討)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
6 生徒指導の具体的な対応 (ロールプレイング)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
7 児童生徒の発達・生徒指導に関する法規	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
8 具体事例から学ぶ生徒指導 (体罰)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0008Q	教育相談	浅田 聡	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 教育相談は、子どもが自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。授業では、子どもの発達の状況に即しつつ、個々の心理的特性や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的な知識と技術を習得するとともに、子どもたちが抱える課題についてグループワークによる事例検討を通して実践的な力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育相談の意義や理論、方法を理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	40	5	教育相談についての知識と技術を積極的に学び、確認テストでは9割以上理解することができる。			
				4	教育相談についての知識と技術を積極的に学び、確認テストでは8割理解することができる。			
				3	教育相談についての知識と技術を学び、確認テストでは7割理解することができる。			
				2	教育相談についての知識と技術を学びが不十分であり、確認テストでは6割しか理解することができない。			
				1	教育相談についての知識と技術が身につけておらず、確認テストでは5割以下しか理解することができない。			
コミュニケーション力	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に積極的に参加する。	受講態度	30	5	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、グループワークによる事例検討に積極的に参加することができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に積極的に参加することができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に参加することができる。			
				2	グループワークによる事例検討への参加が消極的である。			
				1	グループワークによる事例検討への参加することができない。			
実践力	子どもたちが抱える課題を適切に捉え支援する実践的な力を身につける。	レポート	30	5	子どもたちが抱える課題を適切に捉え、支援に結びつく実践的なレポートを作成することができる。			
				4	子どもたちが抱える課題を適切に捉え、支援に結びつくレポートを作成することができる。			
				3	子どもたちが抱える課題について、支援に結びつくレポートを作成することができる。			
				2	子どもたちが抱える課題について、支援に結びつくレポートを作成が十分ではない。			
				1	子どもたちが抱える課題について、支援に結びつくレポートを作成することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 授業時に資料を配布する。 参考書： 授業時に適宜指示する。								
【その他】 レポート提出後とグループワークによる事例検討後にフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 教職課程

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 教育相談の必要性と意義	事前学習： 小中高等学校で行われている教育相談について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
2 教育相談の理論と方法	事前学習： 教育相談の方法について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
3 教育相談におけるカウンセリングマインド	事前学習： 教育相談におけるカウンセリングマインドについて調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
4 教育相談の事例検討(グループワーク) (1) いじめについて考える	事前学習： いじめの現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
5 教育相談の事例検討(グループワーク) (2) 不登校について考える	事前学習： 不登校の現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
6 教育相談の事例検討(グループワーク) (3) 虐待について考える	事前学習： 虐待の現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
7 教育相談の事例検討(グループワーク) (4) 発達障害・保護者対応について考える	事前学習： 発達障害・保護者対応の現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
8 授業のまとめと振り返り(メンタルヘルス・ソーシャルスキルなど) 確認テスト	事前学習： これまでの授業の復習をする 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0009	教職実践演習（栄養教諭）	高橋 恵美子	後期	選択	演習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
教職実践演習は、教育実習の経験を踏まえて、教職実践の観点から教職課程で学んだことを確実に定着させ、教員として必要な知識と技能の習得、資質能力の育成を目標としている。授業では、教職課程の授業科目の履修や様々な活動を通して身につけた知識や技術を確認し、教育現場で直面する諸問題についてのグループ討論や事例研究を通して実践的な指導力やコミュニケーション力を養い、栄養教諭として必要な資質能力を身につける。小中学校及び教育行政の実務経験から得られた栄養教諭の職務に即して、生きる力を育む学校給食や食育について実践的に考える。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養教諭の職務を理解し、教員として必要な知識と技術を身につける。	レポート	40	5	教員として必要な知識と技術を積極的に学び、充実したレポートや学習指導案を作成することができる。			
				4	教員として必要な知識と技術を積極的に学び、レポートや学習指導案を作成することができる。			
				3	教員として必要な知識と技術を学び、レポートや学習指導案を作成することができる。			
				2	教員として必要な知識と技術を学んでいるが、レポートや学習指導案を作成することができない。			
				1	教員として必要な知識と技術の学びが不十分であり、レポートや学習指導案を作成することができない。			
コミュニケーション力	グループ討論を通してコミュニケーション力を身につけ、他者を尊重しつつ、協力して問題解決ができる。	受講態度	30	5	グループ討論に積極的に参加し、他者を尊重しつつ、協力して問題解決ができる。			
				4	グループ討論に積極的に参加し、協力して問題解決ができる。			
				3	グループ討論に参加し、協力して問題解決ができる。			
				2	グループ討論に参加しているが、協力して問題解決しようとする姿勢がみられない。			
				1	グループ討論への参加が消極的であり、協力して問題解決しようとする姿勢がみられない。			
実践力	教育現場で直面する諸問題について、グループ討論や模擬授業を通して実践的な指導力を発揮することができる。	受講態度	30	5	教育現場の諸問題を適切に捉え、グループ討論や模擬授業に積極的に取り組むことができる。			
				4	教育現場の諸問題を適切に捉え、グループ討論や模擬授業に取り組むことができる。			
				3	教育現場の諸問題についてのグループ討論や模擬授業に取り組むことができる。			
				2	教育現場の諸問題についてのグループ討論や模擬授業に取り組む姿勢が消極的である。			
				1	教育現場の諸問題について捉え方が不十分であり、グループ討論や模擬授業に取り組む姿勢が消極的である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： ① 芦川修武「栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート」学建書院								
参考書： ② 藤澤良知「よくわかる栄養教諭 ―食育の基礎知識― 第二版」同文書院 ③ 授業時に適宜指示する。								
【その他】								
学習指導案やレポート提出後にフィードバックを行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目								
実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション・教育実習振り返り・報告書作成 栄養教諭の資質能力の自己点検	事前学習: 教育実習を振り返り、実習日誌をまとめる 事後学習: 栄養教育実習報告書を作成する	4時間
2 食に関する効果的な指導・実習報告と事例研究 (1) 実習で気づいた児童生徒の課題(グループ討論)	事前学習: 子どもの実態と食に関する課題を調べる 事後学習: 課題に基づいた児童生徒への効果的な食育活動を考える	4時間
3 食に関する効果的な指導・課題と対策(討論) (2) 記憶に残る楽しい食育と計画(グループ活動)	事前学習: 教育実習を振り返り、効果的な指導方法を調べる 事後学習: 食育活動の児童生徒へのアプローチと実践計画をまとめる	4時間
4 食に関する効果的な指導・教職員との連携 (3) 食育活動のプレゼンテーション(グループ演習)	事前学習: 食育活動と実践計画のプレゼンの準備をする 事後学習: 児童生徒へのアプローチと教職員の連携についてまとめる	4時間
5 給食従事者の連携と安全安心で美味しい給食とは (1) 作業工程表と作業動線図(講義・演習)	事前学習: 学校給食の衛生管理と作業工程表と作業動線図について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
6 給食従事者の連携と安全安心で美味しい給食とは (2) 食品の選定や給食管理の責任(討論・講義)	事前学習: 栄養士臨地実習の給食施設を基に意見発表の準備をする 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
7 給食に起因した学校事故と子どもに対する責任とは 食物アレルギー対応と教職員の連携(講義・演習)	事前学習: 異物混入、食物アレルギー等、給食に起因した事故について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
8 児童生徒の食に関わる栄養教諭の責任と役割とは (1) 偏食の背景や発達障害等の対応(講義・演習)	事前学習: 偏食や食に関する障害等について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
9 児童生徒の食に関わる栄養教諭の責任と役割とは (2) 児童生徒理解と関わり方(ロールプレイング)	事前学習: 児童生徒との関わり方について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
10 会議の運営 (1) 栄養教育実習報告会の準備(グループ活動)	事前学習: 栄養教育実習報告会の発表の準備をする 事後学習: 栄養教育実習報告会の役割分担・進行の確認	4時間
11 会議の運営 (2) 栄養教育実習報告会の実践(グループ活動)	事前学習: 栄養教育実習報告会の設営 事後学習: 報告会について振り返りまとめる	4時間
12 家庭・地域との連携と栄養教諭の役割 (1) 子どもや家庭へ伝えたい食の情報とは(討論)	事前学習: 子どもや家庭に伝えたい食の情報について調べる 事後学習: 食育だよりのレシピを作成し、検証する	4時間
13 家庭・地域との連携と栄養教諭の役割 (2) 子どもや家庭へ伝える効果的な食育便り(演習)	事前学習: 食育だよりの作成について資料を準備する 事後学習: 食育だよりの発表準備をする	4時間
14 栄養教諭の職務と働き方・メンタルヘルス(講義) 働き方とストレスとの付き合い方を考える(討論)	事前学習: 栄養教諭の業務について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
15 確認テスト 自己の教員資質と今後の進路計画	事前学習: 栄養教諭の任務、使命、食育と献立等のテスト準備する 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
ND0010	栄養教育実習指導	高橋 恵美子	前期	選択	講義	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 実習校で行われる教育実習に先立って、教育実習に対する心構え、技術、態度などを学習し身につける。 実習生として学校の教育活動に参画する意識を高めるとともに、学習指導案の作成や模擬授業等を通して実践的な力を身につける。 小中学校及び教育行政での実務経験から得られた食育授業を基に、子どもたちの思考に合わせた授業のあり方について理解を深める。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識 技術	栄養教諭の職務を理解し、食に関する指導の基礎的な知識と技術を身につける。	作品	50	5	栄養教諭としての知識と技術を積極的に身につけ、充実した学習指導案を作成することができる。			
				4	栄養教諭としての知識と技術を積極的に身につけ、学習指導案を作成することができる。			
				3	栄養教諭としての知識と技術を身につけ、学習指導案を作成することができる。			
				2	栄養教諭としての知識と技術を身につけているが、学習指導案の作成が不十分である。			
				1	栄養教諭としての知識と技術が身につけておらず、学習指導案を作成することができない。			
実践力	栄養教諭として、実際の指導や教材研究等を通して実践的な力を身につける。	受講態度	50	5	教材研究を意欲的に行い、課題や模擬授業に積極的に取り組むことができる。			
				4	教材研究を行い、課題や模擬授業に積極的に取り組むことができる。			
				3	教材研究を行い、課題や模擬授業に取り組むことができる。			
				2	教材研究を行っているが、課題や模擬授業にいかすことができない。			
				1	教材研究が不十分であり、課題や模擬授業にいかすことができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 芦川修貳「栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート」学建書院 参考書： 授業時に適宜指示する								
【その他】 学習指導案や課題提出後にフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 教職課程

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 栄養教育実習ガイダンス(意義・目的・心構え) 教育実習の事前準備と計画及び実習打合せについて	事前学習: 栄養教育実習の意義と目的についてまとめる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
2 学校の特性と児童生徒の理解 発達段階を配慮した指導計画と指導内容のポイント	事前学習: 自分の実習校について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間
3 食に関する指導の実際 (1) 学習指導案及び資料・教材作成のポイント	事前学習: 学習指導案及び資料・教材作成のポイントについて調べる 事後学習: 学習内容を振り返り、模擬授業2の準備をする	4時間
4 食に関する指導の実際 (2) 担任教諭と連携したT.T.授業(模擬授業2)	事前学習: 模擬授業2の準備をする 事後学習: 模擬授業2を振り返り、訂正する	4時間
5 食に関する指導の実際 (3) 学習指導案及び資料・教材作成	事前学習: 模擬授業3の学習指導案及び指導資料と教材の準備をする 事後学習: 模擬授業3の指導資料と教材を作成する	4時間
6 食に関する指導の実際 (4) 教科等における授業実践(模擬授業3)	事前学習: 模擬授業3の準備をする 事後学習: 模擬授業3を振り返り、改善点を考える	4時間
7 食に関する指導の実際 (5) 模擬授業の検討	事前学習: 模擬授業3の検討課題をまとめる 事後学習: 模擬授業検討会の反省をもとに指導案を訂正する	4時間
8 実習計画と研究テーマ・教育実習中の実務 (実習日誌の記入方法、精錬授業について)	事前学習: 教育実習中の実務について調べる 事後学習: 学習内容を振り返りまとめる	4時間

ヘルスケア栄養学科 教職課程

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0011	栄養教育実習	佐野 典行	集中	選択	実習	1	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 教育実習は、教育現場である小・中学校において、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての使命感を持ち、将来教員になる上での能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。指導教員の下で食に関する指導を行う栄養教諭の職務内容を学び、学校教育の実際を体験することで総合的に理解し、教育実践並びに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身につける。 実習時期と期間は、原則として9月中の1週間とし、実習終了後に報告会を行う。事前・事後指導において、教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かして必要な支援を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養教諭の職務を理解し、食に関する指導の基礎的な知識と技術を身につける。	レポート	30	5	栄養教諭の職務を十分理解し、食に関する指導の知識と技術を積極的に身につけ、実習日誌に成果や課題を的確にまとめることができる。			
				4	栄養教諭の職務を十分理解し、食に関する指導の知識と技術を積極的に身につけ、実習日誌に成果や課題をまとめることができる。			
				3	栄養教諭の職務を理解し、食に関する指導の知識・技術を身につけ、実習日誌にまとめることができる。			
				2	栄養教諭の職務や食に関する指導の知識・技術の習得が不十分であり、実習日誌の内容も不十分である。			
				1	栄養教諭の職務や食に関する指導の知識・技術が身につかず、実習日誌も書けていない。			
実践力	栄養教諭として、実際の指導や教材研究等を通して実践的な力を身につける。	受講態度	40	5	教材研究に意欲的に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を展開することができる。			
				4	教材研究に意欲的に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を工夫しようとしている。			
				3	教材研究に取り組み、分かる授業の視点から授業を工夫している。			
				2	教材研究が不十分であり、授業に工夫が見られない。			
				1	教材研究が不十分であり、授業ができない。			
向上心・責任 感	実習校で教師の役割や責任を自覚し、自らの課題を解決しようと努力する。	受講態度	30	5	教師の役割や責任を十分理解し、自らの課題を積極的に解決しようと努力する。			
				4	教師の役割や責任を十分理解し、自らの課題を解決しようと努力する。			
				3	教師の役割や責任を理解し、自らの課題を解決しようと努力する。			
				2	教師の役割や責任を理解するが、自らの課題を解決する姿勢が見られない。			
				1	教師の役割や責任の理解が不十分であり、自らの課題を解決する姿勢が見られない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 教育実習日誌 参考書： 教育実習ガイド（時事通信社）								
【その他】 課題や教育実習日誌に対してフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 ※実務家教員による授業								

ヘルスケア栄養学科 教職課程

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 小中学校における栄養教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
2 小中学校における栄養教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
3 小中学校における栄養教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
4 小中学校における栄養教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
5 小中学校における栄養教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
6 小中学校における栄養教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
7 小中学校における栄養教育実習 ～教育実習日誌の提出～	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめて完成させる。	1時間
8 実習報告会における発表	事前学習： 実習報告書の作成と発表の準備。 事後学習： 実習報告会を振り返り、実習のまとめをする。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0012Q	特別支援教育論	浅田 聡	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 通常の学級にも在籍している発達障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が、授業において学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう支援方法を考える。幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	特別の支援を必要とする子どもの障害の特性や心身の発達を理解するとともに、教育課題や支援方法について、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	50	5	確認テストの得点が9割以上である。			
				4	確認テストの得点が8割以上である。			
				3	確認テストの得点が7割以上である。			
				2	確認テストの得点が6割以上である。			
				1	確認テストの得点が5割以上である。			
思考力	特別の支援を必要とする子どもに対する支援の在り方について、授業で学んだ知識と技術を活用して、自分なりの考えを深めることができる。	レポート	50	5	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、十分に論理的なレポートを作成することができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、論理的なレポートを作成することができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用することはできるが、論理的なレポートの作成が十分ではない。			
				2	授業で学んだ知識と技術を活用することはできるが、論理的なレポートを作成することができない。			
				1	授業で学んだ知識と技術を活用することはせず、論理的なレポートを作成することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 授業時に資料を配布する。 参考書： 授業時に適宜指示する。								
【その他】 レポート提出後にフィードバックを行う。 栄養教諭2種免許状の必修科目 実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 特別に支援を必要とする子どもの現状	事前学習： 特別に支援を必要とする子どもの現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
2 特別支援教育の現状と課題	事前学習： 特別支援教育の現状と課題について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
3 個別の支援計画及び個別の教育支援計画 通級による指導	事前学習： 個別の支援計画及び個別の教育支援計画について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
4 発達障害等の理解と指導、支援	事前学習： 発達障害について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
5 身体障害等の理解と指導、支援	事前学習： 身体障害について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
6 その他の支援が必要な子どもの理解と指導、支援	事前学習： その他の支援が必要な子どもについて調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
7 専門機関の役割と地域・保護者との連携	事前学習： 専門機関の役割と地域・保護者との連携について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
8 授業のまとめと振り返り 確認テスト	事前学習： これまでの授業内容を復習する 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0013	総合的な学習の時間の指導法	白岩 等	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
「総合的な学習の時間」は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指すことを目標としている。授業では、「総合的な学習の時間」が創設された背景を理解するとともに、その基本理念や意義、目標等を学び、教員として「総合的な学習の時間」の指導に必要な基礎的な知識と技術を習得する。また、グループワークによる「総合的な学習の時間」の指導計画や単元展開案の作成とその発表を通して実践的な力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	「総合的な学習の時間」の指導・運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	30	5	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に十分活かすことができる。			
				4	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に活かすことができる。			
				3	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を学び、指導計画に活かすことができる。			
				2	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を学んでいるが、指導計画に十分活かすことができない。			
				1	「総合的な学習の時間」についての知識と技術が身につけていない。			
専門的知識・ 技術	「総合的な学習の時間」の指導・運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	作品	40	5	「総合的な学習の時間」の目標を十分理解し、単元展開案を作成することができる。			
				4	「総合的な学習の時間」の目標を理解し、単元展開案を作成することができる。			
				3	「総合的な学習の時間」の目標を理解しているが、単元展開案の作成が十分でない。			
				2	「総合的な学習の時間」の目標をある程度理解しているが、単元展開案を作成することができない。			
				1	「総合的な学習の時間」の目標を理解しておらず、単元展開案を作成することができない。			
思考力	授業で学んだ知識を活用して、自ら学び自ら考える力や主体的な判断によってよりよく問題を解決しようとする力を身につける。	受講態度	30	5	授業で学んだ知識や技術を十分活用して、主体的な判断によってよりよく問題を解決する意義を提案できる。			
				4	授業で学んだ知識や技術を活用して、よりよく問題を解決する意義を提案できる。			
				3	授業で学んだ知識や技術を活用することはできるが、よりよく問題を解決する意義の提案が十分できない。			
				2	授業で学んだ知識や技術を活用することはできるが、よりよく問題を解決する意義を提案できない。			
				1	授業で学んだ知識や技術を活用することができず、よりよく問題を解決する意義を提案できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」 文部科学省								
参考書： 授業中に適宜指示する								
【その他】								
レポート提出後と単元構想のプレゼンテーション後にフィードバックを行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 総合的な学習の時間の意義と導入経緯 総合的な学習の時間に育む資質・能力	事前学習： 小中高等学校で受けてきた総合的な学習の時間を振り返りまとめる 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4
2 総合的な学習の時間の年間計画の事例とカリキュラムマネジメント	事前学習： 総合的な学習の時間の各学校の年間計画について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	3
3 単元構成の方法と探求的な見方・考え方 教科横断的・体験的な活動の事例	事前学習： 総合的な学習の時間の単元構成について調べておく 事後学習： 今までの学習を復習し、確認テストの準備をする	3
4 総合的な学習の時間の単元づくり (1) テーマ設定のグループワーク 確認テスト	事前学習： 総合的な学習の時間のテーマについて調べておく 事後学習： 総合的な学習の時間のテーマについてまとめる	3
5 総合的な学習の時間の単元づくり (2) 単元展開案のグループワーク	事前学習： 総合的な学習の時間の単元展開例について調べておく 事後学習： 総合的な学習の時間の単元展開案を作成する	4
6 総合的な学習の時間の単元づくり (3) 指導計画のグループワーク	事前学習： 総合的な学習の時間の指導計画について調べておく 事後学習： 総合的な学習の時間の指導計画を作成する	4
7 単元構想のプレゼンテーション①	事前学習： 単元構想のプレゼンテーションの準備をする 事後学習： 単元構想のプレゼンテーションを振り返る	4
8 単元構想のプレゼンテーション② 授業のまとめと振り返り 小レポート	事前学習： 単元構想のプレゼンテーションの準備をする 事後学習： 単元構想のプレゼンテーションを振り返る	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
ND0014	教育原理	白岩 等	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
「教育」という言葉の意味を端緒として、教育に関する思想や制度を辿り、教育の意義・あり方などを考察する。そして、人間にとって教育はなぜ必要なのかという視点を常に持って、教育の必要性を考察する。教育に関する用語や制度・法令などを理解するとともに、それらの知識をふまえて考察する力を身につける。用語などを単に知識として吸収するだけではなく、自らの教育観を確立する手立てとしたい。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育史・教育思想・教育制度 などを理解できる。	定期試験	40	5	該当内容について9割以上理解している。			
				4	該当内容について8割以上理解している。			
				3	該当内容について7割以上理解している。			
				2	該当内容について6割以上理解している。			
				1	該当内容についての理解が6割未満である。			
専門的知識・ 技術	教育史・教育思想・教育制度 などを理解できる。	受講態度	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
思考力	学習内容をふまえて、自分な りの教育観を深めることがで きる。	定期試験	20	5	該当内容について8割以上理解している。			
				4	該当内容について7割以上理解している。			
				3	該当内容について6割以上理解している。			
				2	該当内容について5割以上理解している。			
				1	該当内容についての理解が5割未満である。			
思考力	学習内容をふまえて、自分な りの教育観を深めることがで きる。	受講態度	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 教育の原理 深谷 潤/広岡 義之 編著（ミネルヴァ書房）								
参考書： 「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」、その他テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】								
提出物のフィードバックを行う。								
栄養教諭2種免許状の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 「教育」とは何か	事前学習： シラバスの記述内容を理解する。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、指定図書を読む。	4
2 人間と教育、それを取り巻く文化と社会	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
3 子どもと家庭	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
4 古代から中性にかけての教育	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
5 近代公教育制度の誕生	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
6 現代教育の分析	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
7 西洋教育思想の潮流	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
8 教育思想の転換の始まり	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
9 啓蒙主義・新人文主義時代の教育思想	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 課題に取り組む。	4
10 教育思想の展開	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
11 学校と社会	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
12 学校と学習	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
13 学校と子ども・教師（1）	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
14 学校と子ども・教師（2）	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
15 まとめ	事前学習： これまでの学習内容を振り返る。 事後学習： 学習内容をまとめ、定期試験に臨む。	8

